



国立大学法人

鹿児島大学概要

KAGOSHIMA UNIVERSITY

2009

CONTENTS

はじめに

- 02… 学長からのメッセージ
- 03… 大学憲章
- 04… 大学憲章に基づくプロジェクト事業
- 07… 沿革

組織

- 09… 組織図
- 10… 役職員等
- 13… 役職員数

学部・大学院等

- 14… 学部
- 18… 大学院
- 22… 教育学部附属学校
- 23… 医学部・歯学部附属病院
- 25… 附属図書館
- 27… 学内共同教育研究施設等
- 32… 国際戦略本部／ボランティア支援センター
- 33… 東京リエゾンオフィス／インフォメーションセンター
- 34… 学内風景

学生等

- 35… 入学定員・現員数
- 37… 入学状況
- 39… 卒業・修了数／就職状況
- 40… 学位授与状況／奨学生状況
- 41… 附属学校入学定員・現員数

教育・研究・社会貢献活動

- 42… 教育プログラム等
- 43… 教育研究プロジェクト
- 44… リポジトリ／学術刊行物
- 45… 産学官連携活動
- 46… 公開講座等

国際交流

- 48… 国際共同研究プロジェクト等
- 49… 学術国際交流協定締結状況
- 50… 研究者交流状況／国際共同研究実施件数
- 51… 外国人留学生
- 53… 海外拠点等

財務

- 54… 収入・支出決算額／予算
- 55… 外部資金受入状況

キャンパス

- 57… 土地・建物・船舶
- 58… 福利厚生施設／体育施設等
- 61… 地区別建物等配置図
- 65… 位置図・交通アクセス
- 66… 所在地一覧

学 年 暦

| | |
|-------|-------------------|
| 学 期 | |
| 前 期 | …………… 4月1日～9月30日 |
| 後 期 | …………… 10月1日～3月31日 |
| 入 学 式 | …………… 4月7日 |



休 業 日

| | |
|----------|-------------------|
| 春 季 休 業 | …………… 4月1日～4月10日 |
| 夏 季 休 業 | …………… 8月1日～9月30日 |
| 冬 季 休 業 | …………… 12月25日～1月8日 |
| 鹿児島大学記念日 | …………… 11月15日 |



| | |
|-------|-------------|
| 卒 業 式 | …………… 3月25日 |
|-------|-------------|



〈鹿児島大学学章〉



創立50周年を記念して制定された。
KAGOSHIMAの頭文字『K』をデザインしたものである。
今、まさに飛び立とうとしている姿を『鳳』の形にデザインし、歴史と伝統に輝く鹿児島大学のキャンパスを巣立つ卒業生が世界の舞台を翔ぼうとしている姿をシンボル化したものである。

鹿児島大学は北辰斜めにさす日本列島の南に位置し、古くから海外との交流や文化の先進地としての役割を担ってきた地にあります。桜島や霧島などの活火山、世界自然遺産の屋久島や奄美などの島々と海洋という豊かな自然環境に恵まれ、日本の近代化に大きく寄与した人材を輩出した教育的伝統を受け継いでいます。

鹿児島大学の源は藩学造士館（1773年設立）や医学院（1774年設立）に遡ります。昭和24年5月、第七高等学校、鹿児島師範学校、鹿児島青年師範学校、鹿児島農林専門学校および鹿児島水産専門学校を母体とする文理・教育・農・水産の4学部からなる新制国立大学として発足。現在は8学部10大学院研究科を有し、約9,000名の学部生と約2,000名の大学院生（約300名の留学生）、ならびに約2,400名の教職員が在籍する総合大学です。

平成19年11月、鹿児島大学はあるべき姿を明確に示すために「鹿児島大学憲章」を制定しました。大学憲章では「地理的特性と教育的伝統を踏まえ、自主自律と進取の精神を尊重し、地域とともに社会の発展に貢献する総合大学をめざす」ことを宣言しております。

その実現に向けて「進取の気風にあふれる総合大学」をつくるために、鹿児島大学のめざす方向性を鮮明にしました。教育面では進取の精神を養成するため、倫理観と生涯学習力を高める系統的カリキュラムを提供し、研究面では「島嶼」「環境」「食と健康」など地域の特性を踏まえた特色ある研究を学際的に推進し、全人類の課題の解決に挑戦します。また産学官連携や社会連携の推進を通じて地域社会の活性化に貢献するとともに、アジア・太平洋諸地域との学術交流・教育交流を通じてグローバルに活躍する人材の養成に努めます。

平成21年は新制大学が発足してから60周年、農学部においては前身にあたる鹿児島農林高等学校の開校より100周年という節目の年です。鹿児島大学は長い歴史と伝統を踏まえつつ、21世紀の総合大学に期待される使命を、さらに発展・展開させようとしています。



吉田 浩己 学長

歴 代 学 長

| 氏 名 | 任 期 | 備考 | 氏 名 | 任 期 | 備考 |
|---------|-------------------------|----|---------|-----------------------|----|
| 緒 方 健三郎 | 昭和24年 5月31日～昭和31年 7月31日 | | 石 神 兼 文 | 昭和56年1月12日～昭和60年1月11日 | |
| 福 田 得 志 | 昭和31年 8月 1日～昭和35年 7月31日 | | 〃 | 昭和60年1月12日～昭和62年1月11日 | |
| 〃 | 昭和35年 8月 1日～昭和39年 7月31日 | | 井 形 昭 弘 | 昭和62年1月12日～平成 3年1月11日 | |
| 〃 | 昭和39年 8月 1日～昭和43年 7月31日 | | 〃 | 平成 3年1月12日～平成 5年1月11日 | |
| 町 野 碩 夫 | 昭和43年 8月 1日～昭和44年10月21日 | | 早 坂 祥 三 | 平成 5年1月12日～平成 9年1月11日 | |
| 中 村 末 男 | 昭和44年10月21日～昭和46年 1月11日 | ※ | 田 中 弘 允 | 平成 9年1月12日～平成13年1月11日 | |
| 〃 | 昭和46年 1月12日～昭和50年 1月11日 | | 〃 | 平成13年1月12日～平成15年1月11日 | |
| 蟹 江 松 雄 | 昭和50年 1月12日～昭和54年 1月11日 | | 永 田 行 博 | 平成15年1月12日～平成19年1月11日 | |
| 〃 | 昭和54年 1月12日～昭和56年 1月11日 | | 吉 田 浩 己 | 平成19年1月12日～ | |

※学長事務取扱

鹿兒島大学憲章

鹿兒島大学は、日本列島の南に位置し、アジアの諸地域に開かれ、海と火山と島々からなる豊かな自然環境に恵まれた地にある。この地は、我が国の変革と近代化を推進する過程で、多くの困難に果敢に挑戦する人材を育成してきた。このような地理的特性と教育的伝統を踏まえ、鹿兒島大学は、学問の自由と多様性を堅持しつつ、自主自律と進取の精神を尊重し、地域とともに社会の発展に貢献する総合大学をめざす。

■ 教 育 ■

鹿兒島大学は、学生の潜在能力の発見と適性の開花に努め、幅広い教養教育と高度な専門教育を行うとともに、地域の特性を活かした進取の気風を養う。

鹿兒島大学は、真理を愛し、高い倫理性と社会性を備え、向上心を持って自ら困難に立ち向かい、国際社会で活躍しうる人材を育成する。

■ 研 究 ■

鹿兒島大学は、個々の研究を重視するとともに、種々の学問分野における優れた研究者の連携により、21世紀を先導する研究者を育成する。

鹿兒島大学は、地域の要請に応える研究を展開するとともに、普遍性を求める研究活動を推進し、世界水準の研究拠点をめざす。

■ 社会貢献 ■

鹿兒島大学は、南九州を中心とする地域の産業の振興、医療と福祉の充実、環境の保全、教育・文化の向上など、地域社会の発展と活性化に貢献する。

鹿兒島大学は、アジアや太平洋諸国との連携を深め、研究者や学生の双方向交流および国際共同研究・教育を推進し、人類の福祉、世界平和の維持、地球環境の保全に貢献する。

■ 大学運営 ■

鹿兒島大学は、学長のリーダーシップのもと、全構成員が運営に責任をもって参画することにより、教育研究環境の充実を図る。

鹿兒島大学は、大学の自治を礎とし、常に自己点検・評価を行うとともに、外部からの意見を積極的に反映させ、透明性の高い公正な大学運営を行うことにより、社会への責任を果たす。

(2007年11月15日 制定)

大学憲章に基づくプロジェクト事業

◆ 教育

①「人間力・学士力醸成プログラム」

実施チームリーダー：教育センター長 門 久義 教授
ボランティア支援センター 大坪 治彦 教授(学長補佐)

鹿児島大学は、平成20年度を本学の「ボランティア元年」と位置づけ、共通教育科目における「ボランティア論」の開講や鹿児島大学ボランティア支援センターを開設した。大学憲章に基づいて、本学はこうした取り組みを通して、これまで以上に学生の人間力・学士力を高めることをめざしている。すなわち「ボランティア」もそれ自体が目的ではなく、学生の人間力・学士力を構成する大きな部分であると同時に、それらを高める重要な教育機会として位置づける。

本プログラムでは、特に自己実現に重きをおいて、自発や利他の心情の醸成はもちろん、具体的に地域社会や人々と交流して、地域や人々を支援する活動を主体的に行い、地域社会に役立つ成果を得るとともに、活動の意義を見つめ、自分の知恵・知識・判断力・行動力などを更に発展させる必要性を明確に自覚することを目的としている。

本プログラムを通じて、ボランティア活動への意欲を高め、さらにボランティア支援センターによる活動支援を通して実体験することによって「進取の精神を有する学士」の育成を図る。

実施計画（予定）

| | |
|------|---|
| 21年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア支援データベースの稼働開始 ・学生のボランティア意欲を行動化させる支援の具体化 ・災害時の学生および教職員の支援ボランティア派遣の準備 |
| 22年度 | <p>共通教育における学士力の向上に向けた本格的なプログラム(※自己開発プログラム)の導入</p> <p>※自己開発プログラム 教育センターとボランティア支援センターの連携による「ボランティア論」、「ボランティア・コーディネーター養成」のほか、「手話」や「高齢者介護」、「希少動植物保護」といった技能習得に関わる科目など体験活動を含む多様な拡がりを持つ科目群</p> |



▲学生有志による学内ボランティア清掃

②「地域の特性を活かした進取の気風を養う教養科目群」

実施チームリーダー：大学院理工学研究科 根建 心具 教授
メンバー32名

鹿児島大学は、鹿児島の政治、経済、文化、医療、産業、科学、地理・風土等々、多くの分野で地域を研究し、その成果を蓄積してきた。その知見を教育に反映し、「鹿児島の中に世界をみる教養科目群」を構築した。大学憲章を具現化するため、そこでは鹿児島という地域に固有の情報提供にとどまらず、鹿児島を科学的視野で理解し、そこに内在する本質を見抜く力、さらに鹿児島から世界を理解する力を養成することがこの教育の特徴である。

授業は、「鹿児島探訪」講義シリーズ10科目、体験シリーズ15科目、発展科目12科目からなり、毎年のべ2700名以上の学生が受講している。

鹿児島大学におけるこの教養科目群は、ボランティア教育や国際感覚養成教育と連携した、グローバルな方針に基づく進取の気風を養う教養教育である。

現在、地域の特性を活かす教育理念を更に発展し、鹿児島県の他の高等教育機関や地方自治体・企業・民間組織等に働きかけて、平成21年度から全県の学生が受講できる「グローバル教養教育」を開講し、さらにはICTを活用した高等教育を他大学等の学生のみならず、高校生や社会人に開放する方策などの検討が続いている。また、この文部科学省戦略的大学連携支援事業の持続的な受け皿として「大学地域コンソーシアム鹿児島」が平成21年1月に立ち上がっている。

「鹿児島の中に世界をみる教養科目群」の教育コンセプト

鹿児島大学の地域研究+専門的職業人、鹿児島県、NPO

地域を素材に

自然と社会の本質と普遍性

国際的時空における個性ある教養の構築
社会と歴史認識に基づく展望の構築

基礎的能力の着実な涵養

教養ある専門家への動機づけ

21世紀型地球市民養成

地域貢献

国際貢献



▲「鹿児島探訪」体験シリーズで、鹿児島湾沿いの縄文時代を発掘

大学憲章に基づくプロジェクト事業

◆ 社会貢献

①「鹿児島環境学プロジェクト」

実施チームリーダー：小野寺 浩 学長補佐
メンバー15名

平成20年10月から「鹿児島環境学」プロジェクトを始めた。現代社会最大の問題である環境問題を整理、体系化し、教育と研究の基礎を確立することを目指している。

全学横断型取り組み、平成22年度までの3カ年計画。「環境学」の狙いは、①環境についての基礎的素養を学生が身につける、②恵まれた自然を活かした教育、研究を進める、③環境への最先端の提言を地方から積極的に発信する、などである。

現在、「現場主義」をキーワードに、大学教職員、県庁職員、マスコミ関係者等によるワーキング・グループを組織し、屋久島、奄美など鹿児島の環境、自然、地域の現状分析を鋭意すすめている。また、平成23年度からの環境コース開講に向けて準備中である。

平成21年1月24日には、開始宣言のイベントとして「鹿児島環境学シンポジウム」を開催した。山極寿一京大大学院教授、小林光環境省総合環境政策局長の基調講演、鹿児島大若手研究者らによるパネルディスカッションを実施、市民など300名超が参加し、盛況裏に終えた。

(鹿児島環境学ホームページ：<http://cpi.kagoshima-u.ac.jp/kankyogaku/>)



▲環境学シンポジウム

平成21年度計画

<行事等>

平成21年8月：公開講座（奄美市）

<成果刊行物>

平成21年7月：「鹿児島環境学Ⅰ」及び「鹿児島環境学キーワード事典」

②「地域と大学のローカルシンフォニー」 ～地域社会の発展と活性化のための大学地域貢献～

実施チームリーダー：教育学部 小林 平造 教授
メンバー20名

本プロジェクトは、「南九州を中心とする地域の産業振興、医療と福祉の充実、環境の保全、教育・文化の向上など、地域社会の発展と活性化に貢献する」と謳った鹿児島大学憲章にもとづいて推進されるものである。

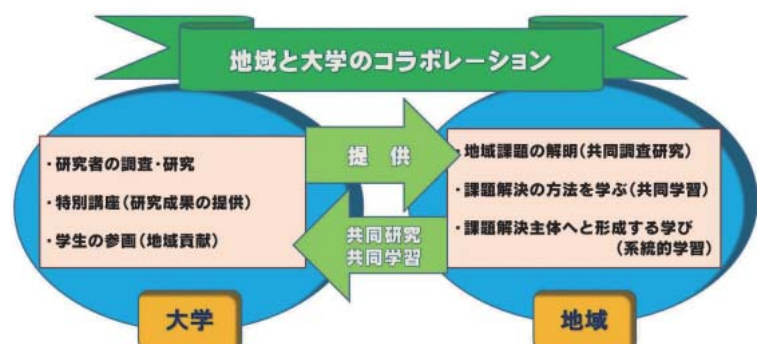
具体的には、地域社会の様々な課題を解決するために、①大学と市民とが共同の取り組みや調査研究を行い、②大学は蓄積した研究を背景に特別講座を提供し、③学生はそれぞれに参画して実体験して学ぶことを進める。これは、地域と大学とが、共同学習・共同研究で響きあうプロジェクトである。また、研究、教育、地域貢献が三位一体となって推進されるプロジェクトである。

プロジェクト1年目は、指宿市と与論町2つの自治体を中心に企画を進め、延べ750名の市民町民が参加し、全学部から計28名の教員、延べ380名の学生参加があり、成功裏に終了した。高校生を含む多様な層が参加し、ワークショップや実践活動などに多くの学生が参加したことも特筆される。20の特別講座も、芸術作品を町民と共に創作した芸術家、工学実験のワークショップで環境問題への取り組みを提起した研究者、『学生（子ども）映画祭IN指宿』を学生と共に手づくり参加してその意味を論じた3研究者、等々豊かであった。

2年目を迎える本年度は、本格的な地域課題調査と分析に基づいた特別講座・共同学習、そして課題に応えるワークショップや実践活動を行う予定である。



▲池川特別講座「しまの素材でしまの豊かさを表現する」



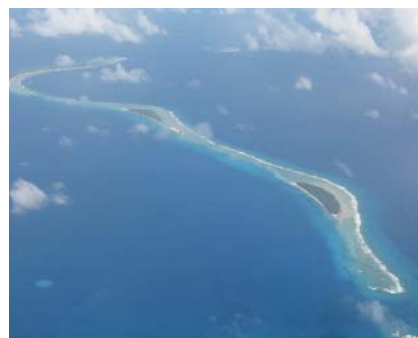
③「島嶼プロジェクト」～豊かな島嶼の発展のために～

実施チームリーダー:多島圏研究センター長 富永 茂人 教授
メンバー55名

国内外島嶼地域の自律的発展のため、多島圏研究センターを中心に学内外のさまざまな分野の研究者が連携して、南西諸島やミクロネシア連邦における人・社会・陸上・海洋生態系の領域を総合した調査・研究を行っている。特に、地球温暖化などの環境変動の象徴的な被害地域である太平洋島嶼の環礁域においては国際連携による協働モニタリング拠点の形成を目指している。鹿児島大学は、当該地域の中核で実績が豊富な南太平洋大学やグアム大学と学術交流協定を締結しており、本プロジェクトはこれらの機関と協力しながら推し進めている。得られた成果は国内外島嶼の発展に貢献している。平成21年度は「国際島嶼教育研究センター(仮称)」の設置に向け、島嶼に関する研究と教育体制の検討も行う。

島嶼プロジェクトに係るこれまでの実績と今後の計画

| | |
|--------|--|
| 平成16年度 | 与論および奄美の調査、薩南諸島データベースの公開(ホームページ)、シンポジウム「南太平洋における人と自然の共生」、公開講座「奄美諸島の農業の現状と将来」 |
| 平成17年度 | 宇治群島調査、シンポジウム「しまうたの未来」、国際シンポジウム「地球温暖化と太平洋島嶼地域」 |
| 平成18年度 | 臥蛇島調査、ミクロネシア連邦チューク州調査、シンポジウム「アジア多島域と鹿児島島の戦略」、国際シンポジウム「地球温暖化とグローバルゼーション:太平洋島嶼域」 |
| 平成19年度 | 硫黄島、与路島調査、ミクロネシア連邦ポンペイ州調査、シンポジウム「闘牛ネットワーク」、シンポジウム「太平洋島嶼域における人と自然の共生」 |
| 平成20年度 | 鹿児島県島嶼統計資料作成・公開、ミクロネシア連邦ヤップ州調査、公開講座「無垢の自然が残るトカラ列島」、シンポジウム「海の生き物たち」 |
| 平成21年度 | 口永良部島および馬毛島周辺海域調査、「離島の自律的発展のための学際的研究」の成果報告書発行、国際島嶼教育研究センター(仮称)設置に向けた島嶼に関する教育と研究体制の検討 |



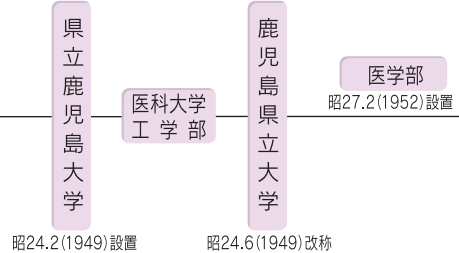
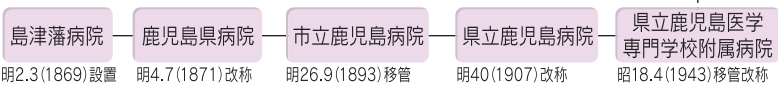
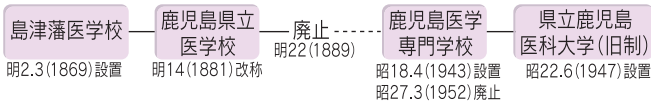
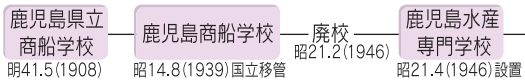
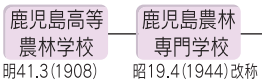
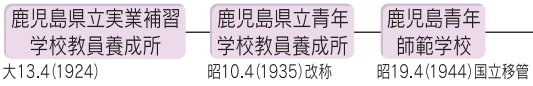
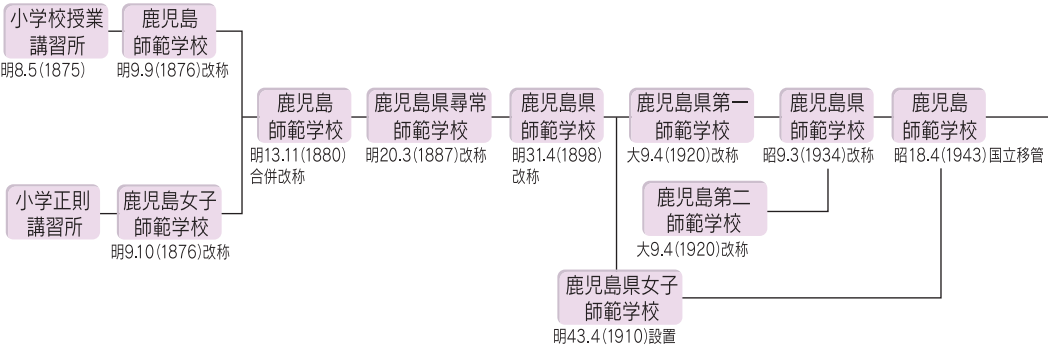
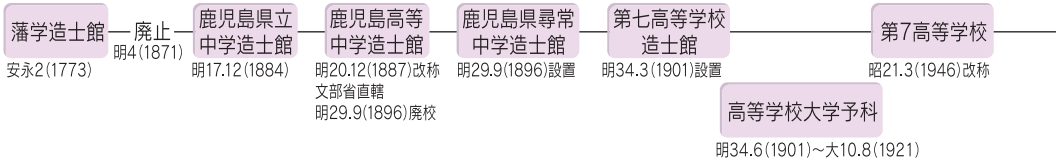
▲上空から見たミクロネシア連邦ウリシー環礁



▲ミクロネシア連邦チューク環礁ピス島での蚊の調査

鹿児島大学

昭24.5(1949)設置



藩学造士館「三国名勝図会」(附属図書館「玉里文庫」所蔵)



第七高等学校造士館前景

はじめに

組織

学部・大学院等

学生等

教育・研究・社会貢献活動

国際交流

財務

キャンパス



はじめに

組織

学部・大学院等

学生等

教育・研究・社会貢献活動

国際交流

財務

キャンパス

はじめに

組織

学部・大学院等

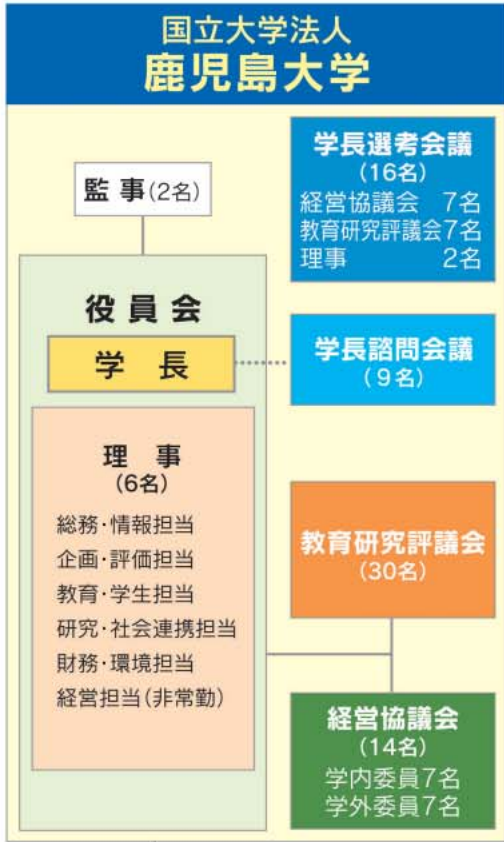
学生等

教育・研究・社会貢献活動

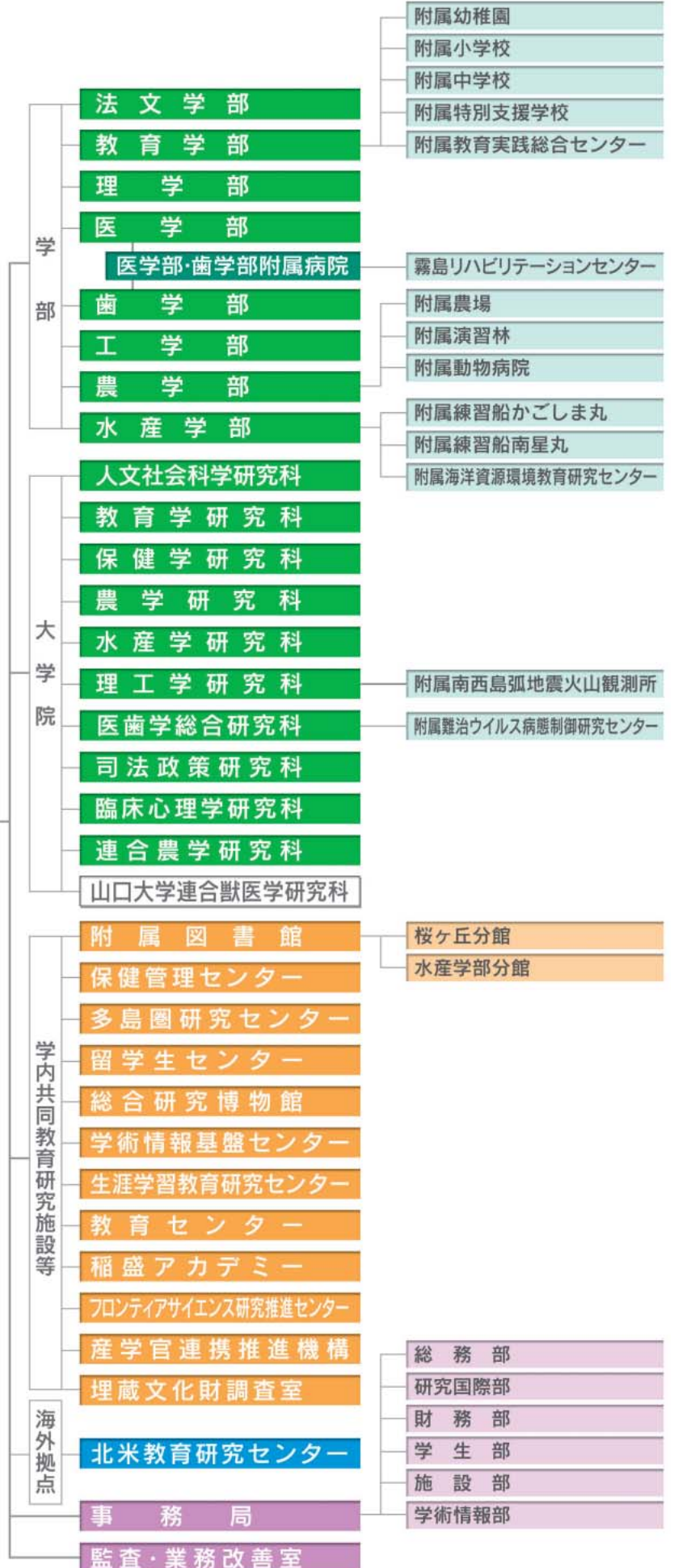
国際交流

財務

キャンパス



鹿児島大学



役員

| | | |
|-----|----------------|---------|
| 学 長 | | 吉 田 浩 己 |
| 理 事 | 総務・情報担当 | 石 田 尚 治 |
| 理 事 | 企画・評価担当 | 島 秀 典 |
| 理 事 | 教育・学生担当 | 中 山 右 尚 |
| 理 事 | 研究・社会連携担当 | 前 田 芳 實 |
| 理 事 | 財務・環境担当(兼事務局長) | 盛 本 力 |
| 理 事 | 経営担当 | 大 野 芳 雄 |
| 監 事 | 業務監査 | 坂 東 義 雄 |
| 監 事 | 会計監査 | 川 崎 孝 雄 |

副学長

| | |
|----------|---------|
| 財務担当 | 仙 波 伊知郎 |
| 教育・国際化担当 | 阿 部 美紀子 |
| 産学官連携担当 | 安 部 淳 一 |
| 附属病院担当 | 高 松 英 夫 |

経営協議会委員

| | |
|----------------------------------|---------|
| 学 長 | 吉 田 浩 己 |
| 消費生活アドバイザー | 石 窪 奈穂美 |
| 鹿児島県副知事 | 岡 積 常 治 |
| 株式会社南日本放送 代表取締役社長 | 中 村 耕 治 |
| 鹿児島県医師会副会長 | 園 田 勝 男 |
| 志學館大学学長 | 辰 村 吉 康 |
| 社団法人日本産業カウンセラー協会 九州支部鹿児島地域責任者 | 林 ユリ子 |
| 元鹿屋体育大学理事(非常勤) 鹿児島大学名誉教授 | 萬 田 正 治 |
| 理 事 | 石 田 尚 治 |
| 理 事 | 島 秀 典 |
| 理 事 | 中 山 右 尚 |
| 理 事 | 前 田 芳 實 |
| 理 事 | 盛 本 力 |
| 医学部・歯学部附属病院長 | 高 松 英 夫 |

教育研究評議会評議員

| | |
|------|--------------------|
| 学 長 | 吉 田 浩 己 |
| 理 事 | 石 田 尚 治 |
| 理 事 | 島 秀 典 |
| 理 事 | 中 山 右 尚 |
| 理 事 | 前 田 芳 實 |
| 事務局長 | 盛 本 力 |
| 法文学部 | 木 部 暢 子 石 川 英 昭 |
| 教育学部 | 河 内 尚 武 内 田 芳 夫 |

| | |
|---------------|--------------------|
| 理学部 | 清 原 貞 夫 宮 嶋 公 夫 |
| 医学部 | 榮 吉 鶴 義 人 田 愛 知 |
| 歯学部 | 植 村 正 憲 長 岡 英 一 |
| 工学部 | 福 井 泰 好 住 吉 文 夫 |
| 農学部 | 岩 元 泉 岡 達 三 |
| 水産学部 | 野 呂 忠 秀 越 塩 俊 介 |
| 医学部・歯学部附属病院長 | 高 松 英 夫 |
| 医歯学総合研究科長 | 松 山 隆 美 |
| 司法政策研究科長 | 采 女 博 文 |
| 臨床心理学研究科長 | 安 部 恒 久 |
| 連合農学研究科長 | 菅 沼 俊 彦 |
| 附属図書館長 | 井 上 佳 朗 |
| 学内共同教育研究施設代表者 | 中 河 志 朗 |
| 教育センター長 | 門 久 義 |

学長諮問会議委員

| | |
|---------------------|-----------|
| 鹿児島県知事 | 伊 藤 祐 一 郎 |
| 京セラ株式会社名誉会長 | 稲 盛 和 夫 |
| 鹿児島大学同窓会連合会会長 | 江 口 正 純 |
| 株式会社南日本新聞社社長 | 逆 瀬 川 尚 文 |
| 鹿児島商工会議所会頭 | 諏 訪 秀 治 |
| 鹿児島大学名誉教授 | 中 村 晋 也 |
| 鹿児島市長 | 森 博 幸 |
| 鹿児島テレビ放送株式会社代表取締役社長 | 山 元 強 |
| 鹿児島県医師会会長 | 米 盛 學 |

学長補佐

| | |
|-------------|---------|
| 広報担当 | 鈴 木 廣 志 |
| 教育・入試担当 | 浅 野 敏 之 |
| 教育・学生担当 | 與 倉 昭 治 |
| 教育・ボランティア担当 | 大 坪 治 彦 |
| 研究担当 | 坪 内 博 仁 |
| 社会連携担当 | 柁 井 和 朗 |
| 国際化担当 | 秋 葉 澄 伯 |
| 企画担当 | 高 津 孝 |
| 評価担当 | 萩 野 誠 |
| 医療・病院担当 | 熊 本 一 朗 |
| 戦略的産学連携支援事業 | 根 建 心 具 |
| 環境プロジェクト担当 | 小 野 寺 浩 |
| 島嶼プロジェクト担当 | 富 永 茂 人 |
| 法務担当 | 前 田 稔 |

はじめに

組
織

学
部・大
学
院
等

学
生
等

教
育・研
究・
社
会
貢
献
活
動

国
際
交
流

財
務

キ
ャ
ン
パ
ス

事務局

| | |
|----------|--------|
| 事務局長 | 盛本 力 |
| 総務部長 | 丸山 謙一 |
| 総務課長 | 鵜飼 高志 |
| 企画評価課長 | 福澤 達弘 |
| 人事課長 | 執行 正一 |
| 広報室長 | 黒木 樹朗 |
| 研究国際部長 | 南須原 正純 |
| 研究協力課長 | 中村 浩二 |
| 国際事業課長 | 竹内 雅雄 |
| 財務部長 | 野崎 講一郎 |
| 財務課長 | 梅津 美昭 |
| 経理課長 | 村尾 忠男 |
| 学生部長 | 大前 弘 |
| 教務課長 | 岩下 清二 |
| 学生生活課長 | 上村 敏 |
| 入試課長 | 向井 豊実 |
| 施設部長 | 山本 隆 |
| 企画課長 | 折田 龍彦 |
| 建築課長 | 村久木 志郎 |
| 設備課長 | 吉武 信男 |
| 学術情報部長 | 長友 良維 |
| 情報企画管理課長 | 森田 博人 |
| 情報サービス課長 | 小川 稔 |

監査・業務改善室

| | |
|-----------|-------|
| 監査・業務改善室長 | 川西 正美 |
|-----------|-------|

学部等

法文学部

| | |
|------|-------|
| 学部長 | 木部 暢子 |
| 副学部長 | 石川 英昭 |
| 副学部長 | 平井 一臣 |
| 事務長 | 南谷 久 |

教育学部

| | |
|---------------|--------|
| 学部長 | 河原 尚武 |
| 副学部長 | 内田 芳夫 |
| 副学部長 | 武隈 晃 |
| 事務長 | 山本 高師 |
| 附属教育実践総合センター長 | 松田 君彦 |
| 附属幼稚園長 | 今林 俊一 |
| 附属小学校長 | 今林 俊一 |
| 附属中学校長 | 林 進 |
| 附属特別支援学校長 | 新名主 健一 |

理学部

| | |
|------|-------|
| 学部長 | 清原 貞夫 |
| 副学部長 | 宮嶋 公夫 |
| 副学部長 | 仲谷 英夫 |
| 副学部長 | 宮町 宏樹 |

医学部

| | |
|------|-------|
| 学部長 | 榮 鶴義人 |
| 副学部長 | 吉田 愛知 |
| 副学部長 | 佐野 輝 |
| 副学部長 | 前田 哲男 |

歯学部

| | |
|------|-------|
| 学部長 | 植村 正憲 |
| 副学部長 | 長岡 英一 |
| 副学部長 | 梶山 加綱 |
| 副学部長 | 伴 清治 |

医学部・歯学部附属病院

| | |
|------------|--------|
| 病院長 | 高松 英夫 |
| 副病院長(医科担当) | 熊本 一朗 |
| 副病院長(歯科担当) | 長岡 英一 |
| 薬剤部長 | 山田 勝士 |
| 看護部長 | 窪田 美行 |
| 臨床技術部長 | 福島 昇 |
| 事務部長 | 上村 孝治 |
| 総務課長 | 田上 豊 |
| 経営企画課長 | 岩村 和彦 |
| 管理課長 | 柴山 昌則 |
| 医務課長 | 水流添 茂登 |

工学部

| | |
|------|--------|
| 学部長 | 福井 泰好 |
| 副学部長 | 住吉 文夫 |
| 副学部長 | 松村 和雄 |
| 副学部長 | 皮籠石 紀雄 |
| 副学部長 | 河野 健二 |

農学部

| | |
|---------|-------|
| 学部長 | 岩元 泉 |
| 副学部長 | 岡 達 三 |
| 副学部長 | 米田 健 |
| 附属農場長 | 坂田 祐介 |
| 附属演習林長 | 遠藤 日雄 |
| 附属動物病院長 | 遠藤 泰之 |
| 事務長 | 松田 孝三 |

水産学部

| | |
|-------------------|--------|
| 学部長 | 野呂 忠秀 |
| 副学部長 | 越 塩 俊介 |
| 副学部長 | 増田 育司 |
| 附属練習船かごしま丸船長 | 東 政 能 |
| 附属練習船南星丸船長 | 内山 正樹 |
| 附属海洋資源環境教育研究センター長 | 小山 次朗 |
| 事務長 | 岩川 孝博 |

大 学 院

| | |
|------------|-------|
| 人文社会科学研究科長 | 木部 暢子 |
| 教育学研究科長 | 河原 尚武 |
| 保健学研究科長 | 吉田 愛知 |
| 農学研究科長 | 岩元 泉 |
| 水産学研究科長 | 野呂 忠秀 |

理工学研究科

| | |
|----------------|-------|
| 研究科長 | 福井 泰好 |
| 副研究科長 | 清原 貞夫 |
| 附属南西島弧地震火山観測所長 | 宮町 宏樹 |

理工学研究科等事務部

| | |
|---------|-------|
| 事務部長 | 肥後 博文 |
| 研究科事務課長 | 深見 直 |
| 理学系事務課長 | 坂口 智子 |
| 工学系事務課長 | 仮屋 誠 |

医歯学総合研究科

| | |
|---------------------|-------|
| 研究科長 | 松山 隆美 |
| 副研究科長 | 秋葉 澄伯 |
| 副研究科長 | 河野 嘉文 |
| 副研究科長 | 島田 和幸 |
| 副研究科長 | 馬嶋 秀行 |
| 附属難治ウイルス病態制御研究センター長 | 馬場 昌範 |

医歯学総合研究科等事務部

| | |
|------|-------|
| 事務部長 | 上村 悦男 |
| 総務課長 | 新屋 克明 |
| 学務課長 | 齋藤 義弘 |

司法政策研究科

| | |
|-------|-------|
| 研究科長 | 采女 博文 |
| 副研究科長 | 小栗 實 |
| 副研究科長 | 米田 健一 |

臨床心理学研究科

| | |
|-------|-------|
| 研究科長 | 安部 恒久 |
| 副研究科長 | 松木 繁 |

連合農学研究科

| | |
|------|-------|
| 研究科長 | 菅沼 俊彦 |
|------|-------|

学内共同教育研究施設等

| | |
|----------------------------|-------|
| ■ 附属図書館 | |
| 附属図書館長 | 井上 佳朗 |
| 桜ヶ丘分館長 | 出雲 周二 |
| 水産学部分館長 | 川村 軍蔵 |
| ■ 保健管理センター所長 | 森岡 洋史 |
| ■ 多島園研究センター長 | 富永 茂人 |
| ■ 留学生センター長 | 大嶋 眞紀 |
| ■ 総合研究博物館長 | 大木 公彦 |
| ■ 学術情報基盤センター長 | 森 邦彦 |
| ■ 生涯学習教育研究センター長 | 下川 悦郎 |
| ■ 教育センター長 | 門 久義 |
| 副センター長 | 萩野 誠 |
| ■ 稻盛アカデミー長 | 吉田 浩己 |
| ■ フロンティアサイエンス 研究推進センター長 | 中河 志朗 |
| ■ 産学官連携推進機構長 | 安部 淳一 |
| ■ 埋蔵文化財調査室長 | 新田 栄治 |

海外拠点

| | |
|-------------|-------|
| 北米教育研究センター長 | 井手 祐二 |
|-------------|-------|

はじめに

組織

学部・大学院等

学生等

教育・研究・
社会貢献活動

国際交流

財務

キャンパス

■現員

(平成21年5月1日現在)

| 部 局 等 | 職 別 | 学 長 | 役 員 | 教 授 | 准 教 授 | 講 師 | 助 教 | 助 手 | 教 諭 | 小 計 | 事 務 職 員 技 術 職 員 等 | 合 計 |
|---------------------------------------|-----|-----|-----|-----|-------|-----|-----|-----|-----|-------|----------------------|-------|
| 学 長 | | 1 | | | | | | | | 1 | | 1 |
| 役 員 | | | 8 | | | | | | | 8 | | 8 |
| 事 務 局 | | | | | | | | | | | 180 | 180 |
| 国 際 戦 略 本 部 | | | | 1 | | | | | | 1 | | 1 |
| 評 価 室 | | | | | 1 | | | | | 1 | | 1 |
| 保 健 管 理 セ ン タ ー | | | | 1 | 1 | | 1 | | | 3 | 2 | 5 |
| 多 島 園 研 究 セ ン タ ー | | | | 3 | 1 | | | | | 4 | | 4 |
| 留 学 生 セ ン タ ー | | | | 2 | 2 | | | | | 4 | | 4 |
| 総 合 研 究 博 物 館 | | | | 1 | 3 | | | 1 | | 5 | | 5 |
| 学 術 情 報 基 盤 セ ン タ ー | | | | 3 | 2 | | | | | 5 | | 5 |
| 生 涯 学 習 教 育 研 究 セ ン タ ー | | | | 1 | 1 | | | | | 2 | | 2 |
| 教 育 セ ン タ ー | | | | 2 | 3 | | | | | 5 | | 5 |
| 稲 盛 ア カ デ ミ ー | | | | 1 | 1 | | | | | 2 | | 2 |
| フ ロ ン テ ィ ア サ イ エ ン ス 研 究 推 進 セ ン タ ー | | | | 4 | 4 | | 2 | | | 10 | 6 | 16 |
| 産 学 官 連 携 推 進 機 構 | | | | 1 | 1 | | | | | 2 | | 2 |
| 埋 蔵 文 化 財 調 査 室 | | | | | 1 | | 1 | | | 2 | | 2 |
| 法 文 学 部 | | | | 52 | 30 | 1 | | 2 | | 85 | 17 | 102 |
| 教 育 学 部 | | | | 48 | 24 | 12 | | | | 84 | 20 | 104 |
| 附 属 幼 稚 園 | | | | | | | | | 4 | 4 | | 4 |
| 附 属 小 学 校 | | | | | | | | | 38 | 38 | 5 | 43 |
| 附 属 中 学 校 | | | | | | | | | 31 | 31 | 2 | 33 |
| 附 属 特 別 支 援 学 校 | | | | | | | | | 27 | 27 | 2 | 29 |
| 附 属 教 育 実 践 総 合 セ ン タ ー | | | | 6 | 4 | | | | | 10 | | 10 |
| 医 学 部 | | | | 21 | 5 | 9 | 20 | | | 55 | 1 | 56 |
| 医 学 部 ・ 歯 学 部 附 属 病 院 | | | | 2 | 6 | 43 | 90 | | | 141 | 876 | 1,017 |
| 農 学 部 | | | | 42 | 46 | 1 | 9 | | | 98 | 22 | 120 |
| 附 属 農 場 | | | | | 1 | | | | | 1 | 19 | 20 |
| 附 属 演 習 林 | | | | 1 | 1 | | | | | 2 | 6 | 8 |
| 附 属 動 物 病 院 | | | | | 1 | | | | | 1 | 2 | 3 |
| 水 産 学 部 | | | | 16 | 15 | 2 | 8 | | | 41 | 17 | 58 |
| 附 属 練 習 船 か ご し ま 丸 | | | | | 1 | 1 | 2 | | | 4 | 22 | 26 |
| 附 属 練 習 船 南 星 丸 | | | | | | 1 | 1 | | | 2 | 11 | 13 |
| 附 属 海 洋 資 源 環 境 教 育 研 究 セ ン タ ー | | | | 2 | 2 | | 1 | | | 5 | 7 | 12 |
| 理 工 学 研 究 科 | | | | 71 | 73 | 3 | 41 | | | 188 | 25 | 213 |
| 附 属 南 西 島 孤 地 震 火 山 観 測 所 | | | | | 1 | | 1 | | | 2 | 1 | 3 |
| 理 工 学 研 究 科 等 事 務 部 | | | | | | | | | | | 33 | 33 |
| 医 歯 学 総 合 研 究 科 | | | | 57 | 43 | 13 | 110 | | | 223 | 18 | 241 |
| 附 属 難 治 ウ イ ル ス 病 態 制 御 研 究 セ ン タ ー | | | | 4 | 3 | 2 | 1 | | | 10 | | 10 |
| 医 歯 学 総 合 研 究 科 等 事 務 部 | | | | | | | | | | | 41 | 41 |
| 司 法 政 策 研 究 科 | | | | 9 | 4 | | | | | 13 | | 13 |
| 臨 床 心 理 学 研 究 科 | | | | 5 | 4 | | | | | 9 | | 9 |
| 連 合 農 学 研 究 科 | | | | 1 | | | | | | 1 | | 1 |
| 計 | | 1 | 8 | 357 | 285 | 88 | 288 | 3 | 100 | 1,130 | 1,335 | 2,465 |

はじめに

組
織

学
部・大
学
院
等

学
生
等

教
育・研
究・
社
会
貢
献
活
動

国
際
交
流

財
務

キ
ャ
ン
パ
ス

法文学部



法文学部は、藩学造士館、旧制第七高等学校の系譜を引く学部で、現在、法政策学科、経済情報学科、人文学科の3学科から構成される文系総合学部となっている。本学部では、社会や文化に関する確かな知識と幅広い教養を有し、現代社会の諸問題に適切に対処できる能力をもつ学生の育成を目指している。

法政策学科では、「実践的法交渉教育」、「政策立案法制化教育」等を充実させた現代型法学教育の展開、経済情報学科では、少人数教育、情報教育を基礎に3つの履修モデルによる問題解決型教育の推進、人文学科では、人間と社会の相互作用の認識や心のケア、多文化社会やメディア文化、地域の理解と文化の育成、国際交流など多方面の教育の充実を図っている。また、3つの学科の個性を生かしながら、キャリア教育やメディア教育など、今日的な課題に積極的に対応した教育を展開している。

学科・講座

法政策学科

- 政策科学
- 市民法
- 法交渉

経済情報学科

- 経済システム
- 経営情報
- 地域計画
- 国際協力

人文学科

- 人間科学
- 地域環境
- 日本・アジア総合文化
- ヨーロッパ・アメリカ総合文化

教育学部



教育学部は、明治初期に源をもつ各師範学校等、教員養成機関としての長い歴史を通じて、鹿児島県はもとより、全国の教育界など広く社会に有為の人材を送り出してきた。現在は、主に小・中学校、高等学校の教員を育成する学校教育教員養成課程、特別支援学校等で活躍する人材を育成する特別支援教育教員養成課程、社会教育分野などの指導者養成に当たる生涯教育総合課程の3課程で構成されており、教育に関する深い理解と指導力、そして豊かな人間性の形成を目指している。

課程・講座（専修）

学校教育教員養成課程

- 国語教育
- 社会科教育
- 数学教育
- 理科教育
- 音楽教育
- 美術教育
- 保健体育
- 技術教育
- 教育学
- 家政教育
- 英語教育
- 心理学

特別支援教育教員養成課程

- 障害児教育

生涯教育総合課程

- 地域社会教育
- 国際理解教育
- 健康教育

附属教育研究施設

- 幼稚園
- 小学校
- 中学校
- 特別支援学校
- 教育実践総合センター
- 寺山自然教育研究施設

理学部



「理学」は、自然現象の中に潜む真理を探究する学問であり、そこで明らかにされた自然法則は人類の英知や文化の中に蓄積され、科学技術の発展を支えてきた。現代社会は豊かなものになったが、豊かさの裏では環境やエネルギーなどに関する新たな課題も生じた。このような問題を解決するためにも、真理の探究と共に、物事の原理を生かしながら、基礎科学を中心とする自然科学の最新の教育・研究を進める。

〈育成する人材像〉

- * 自然科学の専門知識と幅広い教養を併せもち、論理的科学的思考力を身につけた人
- * 学問の高度化や多様化に柔軟に対応できる、創造力のある人
- * 社会性、国際性、学際性が豊かで、先端科学の知識と問題解決能力を身につけた人
- * 高い倫理観をもって人類の幸福と福祉に貢献できる人

学科

数理情報科学科

物理科学科

生命化学科

地球環境科学科

医学部



医学部は、明治2年にウィリアム・ウィリスを校長として設立された島津藩医学校を前身とし、昭和18年に医学科の母体となる県立鹿児島医学専門学校が開校された。その後幾多の変遷をたどり、昭和30年に鹿児島大学医学部に改称された。また、平成10年には保健学科が設置され、現在では医学科と保健学科の2学科で構成されている。この間、多くの人材を輩出し、日本各地で医学・医療の進歩と国民の健康と福祉のため多大な貢献をしている。本学部では、人間性豊かな、地域に貢献する、研究心旺盛な、国際的視野に立つ医学・医療を担う人を育成することを目指している。

学科・学科目等

医学科

- 医学概説学
- 疾病病因学
- 疾病病態学
- 医学実践学
- 臨床実践学

保健学科

- | | | |
|---|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ■ 看護学専攻 総合基礎看護学 臨床看護学 母性・小児看護学 地域看護・看護情報学 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 理学療法学専攻 基礎理学療法学 臨床理学療法学 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 作業療法学専攻 基礎作業療法学 臨床作業療法学 |
|---|---|---|

附属教育研究施設

■ 医学部・歯学部附属病院

歯学部



歯学部は、沖縄を含む南九州全域における歯科医学の教育、研究の中核的役割を果たすべく、昭和52年10月に設置された。本学部では、う蝕、歯周疾患、咬合異常、歯の欠損、口腔領域の外傷・形成不全・疼痛・腫瘍などの原因を究明し、これら症状の予防法と治療法を確立していくとともに、歯科医学を通して地域的にも国際的にも十分に貢献しうる人材を育成することを目標としている。共通・教養教育や基礎医学・隣接臨床医学教育にも力を注ぐとともに、良識ある人間形成に繋がる教育を心掛け、全人的歯科医療人の育成を目指している。

学科・学科目

歯 学 科

■ 歯科常態学 ■ 歯科病態学 ■ 発達育成歯科学 ■ 口腔顎顔面歯科学

附属教育研究施設

■ 医学部・歯学部附属病院

工学部



昭和24年4月鹿児島県立大学の発足に伴い、鹿児島県立工業専門学校を母体として工学部が設置され、同30年県立から国立移管され鹿児島大学工学部となった。

本学部は、工学を支える基礎研究の中核および国際的視野をもった技術者の養成機関として、広い視野と解決能力のある柔軟な頭脳をもつ研究者・技術者の養成を目指している。平成21年4月には、より充実した学部教育を目指し改組を行い、応用化学工学科、情報工学科および生体工学科の3学科を環境化学プロセス工学科、情報生体システム工学科と化学生命工学科に再編し以下の7学科とした。

また、これまで以上に国際的に通用する技術者の養成を目指し、教育課程の見直し等を行い、JABEE(日本技術者教育認定機構)への認定に向けて取り組みを行っており、平成21年5月現在、機械工学科・電気電子工学科・建築学科・応用化学工学科(化学工学コース・応用化学コース)・海洋土木工学科が認定を受けている。なお、環境化学プロセス工学科においては、現在認定を申請中である。

学科

機械工学科

電気電子工学科

建築学科

環境化学プロセス工学科

海洋土木工学科

情報生体システム工学科

化学生命工学科

農学部



農学部は、明治41年開設の鹿児島高等農林学校に始まり、昭和24年鹿児島大学農学部となった。日本の食料生産基地に位置する本学部は、生物生産学科、生物資源化学科、生物環境学科および獣医学科の4学科から構成され、附属施設として、附属農場、附属演習林、附属動物病院を有している。温帯から亜熱帯へ南北数百kmに及ぶ多様な自然環境と生物資源に恵まれた地域の特性を生かして、食、農、地域資源、環境、生命に関する教育を行っている。また、フィールドでの教育、地域産業と連動したキャリア教育を重視し、豊かな人間性、現場での実践力、優れた応用力、広い視野と国際性を備え、地域社会と発展途上国に貢献できる技術者・指導者を養成している。現在は、学部の上に修士課程(農学研究科)および博士課程(連合農学研究科、連合獣医学研究科)が設置されている。

学科・講座

生物生産学科

- 作物生産学
- 園芸生産学
- 病虫害制御学
- 家畜生産学
- 農業経営経済学

生物資源化学科

- 生命機能化学
- 食品機能化学
- 食糧生産化学

生物環境学科

- 森林管理学
- 地域資源環境学
- 環境システム学
- 生産環境工学

獣医学科

- 基礎獣医学
- 病態・予防獣医学
- 臨床獣医学
- 先端獣医科学

寄附講座

- 焼酎学(鹿児島県酒造組合・鹿児島県)

附属教育研究施設

- 農場
- 演習林
- 動物病院

水産学部



水産学部は、鹿児島水産専門学校を母体として昭和24年に誕生した。「海を怖れず、海を愛し、海を拓け」をモットーに、鹿児島から東南アジア・南太平洋を含む海洋や陸水域をフィールドとし、水産資源の持続的生産とその合理的利用、水圏環境の保全、生活文化の創出の分野で、地域社会と国際社会に貢献する人材を育成することを教育の目的としている。食糧生産の確保と海洋環境の保全といった時代の要請に応えるため、高度で先端的教育を受けた技術者を養成し、水産海洋科学の分野から、鹿児島は勿論のこと、熱帯・亜熱帯水域の発展途上国で活躍できる、国際的視野を持った卒業生を送り出している。平成15年には大学教育の分野では初めて、国際的な品質基準であるISO9001認証を取得した。また、平成19年には、カリキュラム改革に伴い、講座を廃止し、教育分野による教育組織を構築した。

学科等・教育分野

水産学科

- 水産生物・海洋学分野
- 養殖学分野
- 食品・資源利用学分野
- 漁業工学分野
- 水産経済学分野

水産教員養成課程

- 水産教員養成課程分野

附属教育研究施設

- 附属練習船かごしま丸(1,297ト)
- 附属練習船南星丸(175ト)
- 附属海洋資源環境教育研究センター
- 東町ステーション
- 食品・資源利用学実習工場
- 回流水槽実験室
- 鴨池海洋生産実験室

人文社会科学研究科

人文社会科学研究科は、平成10年、既に開設されていた法学研究科(昭和54年設置)、人文科学研究科(昭和61年設置)を廃的に解消して設置された。現在は博士前期課程4専攻(法学専攻、経済社会システム専攻、人間環境文化論専攻、国際総合文化論専攻)および博士後期課程1専攻(地域政策科学専攻)からなっている。

本研究科では、各専門分野における高度な研究・教育を行うとともに、プロジェクト研究を中心とする地域に密着した実践的な研究に取り組んでいる。また、昼夜開講制による社会人学生の積極的な受け入れや、奄美サテライト教室(平成16年奄美大島開設、平成19年徳之島分室開設)を通じた離島地域での授業開講など、社会の修士号および博士号取得のニーズに積極的に応えている。さらに、博士前期課程では中学校および高等学校教諭専修免許の資格を取得することができる。

課程・専攻

博士前期課程

法学 ■ 経済社会システム ■ 人間環境文化論 ■ 国際総合文化論

博士後期課程

■ 地域政策科学

教育学研究科

教育学研究科は、平成21年4月、これまでの「学校教育専攻」と「教科教育専攻」の2専攻から「教育実践総合専攻」の1専攻に改組された。すなわち、教科や学問分野に細分化されたコース・専修を融合し、より広範な単位である学修コースを設置することによって、現実の課題に即した総合的な講義や研究方法の指導が可能となり、視野の広い高度の専門的知識・技能を背景に、広く教育の分野において優れた指導力を有する高度専門職業人の養成を図ることとした。

さらに、小学校以外の教員免許状を取得している人においては「小学校教員免許取得プログラム(長期在学履修)」も選択できるようになった。なお、現職教員をはじめとする社会人が夜間でも受講可能で修士の学位を取得することのできる昼夜開講制を実施している。

本研究科「教育実践総合専攻」は、「学校臨床系」、「人間発達系」、「生活・健康系」、「言語・社会系」、「理数・環境系」、「芸術・スポーツ系」の6つの学修コースから構成され、各教科に関する専門的知識に加えて学際的知識も修め、教育・研究能力を高めることをめざしている。

課程・専攻

修士課程

■ 教育実践総合専攻

保健学研究科

保健学研究科は、保健学に関する高度な専門知識・技術をもつ専門職者ならびに優れた教育や研究のできる指導・管理者および離島や国際的な保健・医療に貢献できる人材を養成し、併せて教育研究の成果および情報を社会に広く提供し貢献することを理念として、平成15年4月に博士前期課程、平成17年4月に博士後期課程が設置された。

本研究科では、(1)高度な専門知識・技術を身につけた専門職者、指導・管理者の育成、(2)医療専門職としての質の高い教育・研究者の育成、(3)学生の能力開発に効果的な教育や独自の研究のできる人材の育成、(4)地域の保健・医療において指導・管理者として実践できる人材の育成、(5)離島・へき地の保健・医療に指導者として実践できる人材の育成、(6)国際保健医療活動を推進できる人材の育成などを教育目標としている。

課程・領域と分野、学位

博士前期課程

看護学領域

基礎看護・地域看護学分野
臨床看護学分野

修士(看護学)

理学療法・作業療法学領域

理学療法学分野
作業療法学分野

修士(保健学)

博士後期課程

保健看護学分野

■ 神経運動障害基礎学分野
■ 臨床精神神経障害学分野

博士(保健学)

農学研究科

農学研究科は、昭和41年に開設され、現在、生物生産学専攻、生物資源化学専攻および生物環境学専攻の3専攻が設置されている。わが国有数の食料生産基地を抱え、かつ温帯から亜熱帯に分布する多様な生物資源と自然環境などを生かし、自然環境に調和した食料生産技術の開発、生物機能の解明と応用、自然生態系の保全と修復、農山村社会の活性化などに関する研究に取り組んでいる。また、バイオテクノロジーや先端的技術を導入し、農林食産業分野における新技術の開発の教育研究を行っている。農林・食産業を取り巻く状況を把握し、広い視野と倫理観を持って科学技術を応用し、豊かな専門性と実践力・想像力、地域が抱える特色や課題に積極的に取り組む高度専門技術者の養成、さらに博士後期課程へ進学する発展的研究者を養成している。

課程・専攻

修士課程

■生物生産学 ■生物資源化学 ■生物環境学

水産学研究科

水産学研究科では、水産生物・海洋学、養殖学、食品・資源利用学、漁業工学、水産経済学の分野で高度技術者・研究者を養成するための研究と教育が行われており、修了者は各地の水産試験場や民間の研究機関などで専門的な仕事についている。中国、東南アジアや中東、アフリカ、中南米からの留学生も多く、留学生の多い講義の中では英語が用いられることもある。日本学術振興会のプロジェクトとして、フィリピン大学ピサヤス校とのネガティブインパクト(原油流出)に関する研究や大学院生をマレーシアやインドネシアに派遣する「若手研究者インターナショナル・トレーニング・プログラム(ITP)」も行われている。この修士課程を修了した大学院生の中には、引き続き大学院連合農学研究科(博士課程)に進学する者もいる。

課程・専攻・講座

修士課程

■水産学専攻

理工学研究科

理工学研究科では、「真理を愛し、高い倫理観を備え、自ら困難に挑戦する人格を育成し、時代の要請に対応できる教育研究の体系と枠組みを創成することによって、地域ならびに国際社会の進展に寄与する」という教育研究理念のもとに、理工学の基礎から応用にわたる学術の真理と理論を教授研究し、その深奥を極めて文化の進展に寄与する人材育成を目的とする。

そのために、今日の諸課題に対応できる倫理的判断力および人間生活を取り巻く自然についての総合的知識を有し、自然科学に関する学問の高度化と多様化に幅広く柔軟に対応可能な次世代を担う技術者、研究者、高度専門職業人を養成しつつ、地域社会との連携と世界に開かれた研究科であるように努めている。

博士前期課程に10専攻、博士後期課程に3専攻を設置し、自然科学の深化および理学と工学の融合により科学創成をリードする教育研究活動を提供している。

課程・専攻・コースワーク

博士前期課程

| | | | | |
|---|--|--------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------------|
| ■機械工学専攻 生産工学 エネルギー工学 機械システム工学 | ■電気電子工学専攻 電子物性デバイス工学 電気エネルギー工学 通信システム工学 | ■建築学専攻 建築設計 環境設計 構造設計 | ■化学生命・化学工学専攻 化学工学 応用化学 生命工学 | ■海洋土木工学専攻 環境システム工学 建設システム工学 |
| ■情報生体システム工学専攻 情報システム工学 認知生体システム工学 | ■数理情報科学専攻 数理構造 現象数理 情報数理 | ■物理・宇宙専攻 物理 宇宙 | ■生命化学専攻 分子機能化学 有機生化学 生命機能 | ■地球環境科学専攻 地球科学 環境解析 多様性生物学 |

博士後期課程

■物質生産科学専攻
■システム情報科学専攻
■生命環境科学専攻

附属教育研究施設

■南西島孤地震火山観測所

医歯学総合研究科

医歯学総合研究科は、多様な社会的要請に迅速に対応し、高度な教育と先端的研究を効率的に実施、解決するために、(1)生命科学領域の教育研究のリーダーの育成、(2)地域の特性を生かした生命医療科学領域の教育研究拠点の創出、(3)専門性を備えながら医の倫理観を備えた生命医療人の育成を目標にし、疾病の予防と治療を使命とする医学と歯学が有機的に結合され、より柔軟で広範な生命医療科学の発展が期待できる大学院組織として、平成15年4月に博士課程、平成16年4月には修士課程(医科学専攻)が設置された。

また、平成19年4月には、離島へき地医療に貢献できる医療人の育成を目的とする離島へき地医療人育成センターが設置された。



桜ヶ丘キャンパス全景

課程・専攻・講座

博士課程

健康科学専攻

- 人間環境学
- 社会・行動医学
- 感染防御学
- 発生発達教育学
- 国際島嶼医療学(プロジェクト講座)
- 宇宙環境医学(連携講座)

先進治療科学専攻

- 神経病学
- 感覚器病学
- 運動機能修復学
- 循環器・呼吸器病学
- 生体機能制御学
- 顎顔面機能再建学
- 腫瘍学
- 再生・移植医療学(プロジェクト講座)
- 先端医療学(連携講座)

修士課程

医科学専攻

寄附講座

- 医療関節材料開発(日本メディカルマテリアル)
- 心筋症病態制御(ジェンザイム・ジャパン)

附属教育研究施設

- 難治ウイルス病態制御研究センター

司法政策研究科

司法政策研究科(法科大学院)は、平成16年4月設置の3年制専門職大学院である。司法過疎と呼ばれる南九州に位置する法科大学院として、これからの司法の在り方を構想、実現していく活動的な法曹を養成することを目的としている。修了者には法務博士の学位と新司法試験の受験資格が授与される。専任教員16名(兼任教員10名、兼任教員21名)による徹底した少人数教育を行い、法律実務家をめざす明確な問題意識や関心を育てつつ、21世紀の我が国社会を支える法曹としての能力を鍛えている。



課程・専攻

専門職学位課程(法務博士)

- 法曹実務

はじめに

組織

学部・大学院等

学生等

教育・研究・社会貢献活動

国際交流

財務

キャンパス

臨床心理学研究科

臨床心理学研究科は、高度な臨床心理士養成を目的とする日本で初めての独立研究科として、平成19年4月に設置認可された専門職大学院である。本研究科の教育理念は、(1)個別支援、集団支援、地域支援、危機介入支援のできる人材、(2)地域文化を視野に入れた心理臨床ができる人材を育成することにある。この理念達成のために、国際水準をキャッチアップした実習時間(1,380時間)と個別・少人数指導による教育課程を設定している。平成20年度修了生15名の就職率は100%で、医療・福祉・司法・矯正領域に就職した。難関の国家公務員A種法務省心理技官に3名の合格者を出したのは特筆である。さらに、本研究科は、文部科学省から専門職GPが採択され、実習評価の基準となる項目の抽出と概念化を図り、より客観性・公平性の高い評価基準に基づく臨床実習評価方法を構築する九州大学大学院との共同研究を行っている。

(注) 専門職GP：専門職大学院等における高度職業人養成教育推進プログラム



▲文部科学省専門職GPシンポジウム

課程・専攻

専門職学位課程(臨床心理修士)

臨床心理学

連合農学研究科

連合農学研究科は佐賀大学、琉球大学、鹿児島大学の各農学研究科および水産学研究科の修士課程の連携・協力の基に、それぞれの研究科の特徴と地域特性を生かした農学・水産学系の博士課程の大学院である。先端の生命科学から農・水産学の基本となる生命資源の利用と食糧生産、環境保全など社会貢献、国際貢献を主眼として教育・研究を行っている。先端応用生命科学連合講座には先端バイオテクノロジーの教育・研究を行う連携大学院[タカラバイオ(株)]を設置している。修了者には農学・水産学・学術のいずれかの博士号が付与され、学位付与者は、教育職および研究職など幅広い分野で活躍している。

(注) 連合農学研究科は、3大学(佐賀、琉球、鹿児島)で構成



課程・専攻・連合講座

博士課程

生物生産科学専攻

熱帯資源・植物生産科学
動物資源生産科学
地域・国際資源経済学

応用生命科学専攻

生物機能化学
食品機能科学
先端応用生命科学

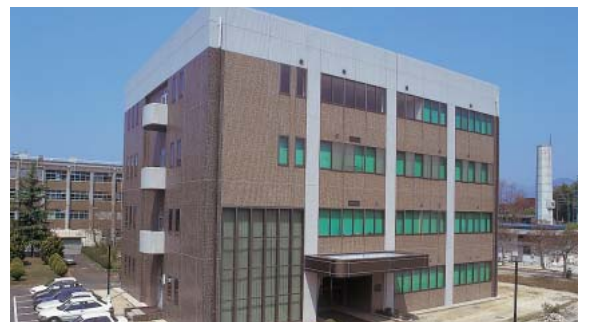
農水圏資源環境科学専攻

生物環境保全科学
地域資源環境工学
水産資源環境科学

山口大学連合獣医学研究科

山口大学連合獣医学研究科は、平成2年4月に鹿児島大学、鳥取大学、山口大学および宮崎大学が連合して設置された修業年限4年の博士課程で、基幹校は山口大学である。

本研究科は、1専攻(獣医学専攻)で、3連合講座から成り、学生の入学定員は12名であり、創造性豊かな研究者や高度の専門的知識と能力を有する人材を養成している。学生1人につき、主指導教員1人、副指導教員2人が指導に当たるが、他大学の教員ならびに学生相互の討論を通して、自己を高めると同時に相互の親睦と連帯感の形成に役立てている。



課程・専攻・連合講座

博士課程

獣医学専攻

基礎獣医学 病態・予防獣医学 臨床獣医学

(注) 山口大学連合獣医学研究科は4大学(鹿児島、鳥取、山口、宮崎)で構成

教育学部附属学校

附属幼稚園

明治12年4月創立の附属幼稚園は、全国で2番目に古い歴史をもつ幼稚園である。今年度は、3歳児20人、4歳児32人、5歳児34人、計3学級86人が在籍している。研究主題に「他とよりよいかかわることを通して、自分らしさを発揮できる子どもの育成Ⅲ～自然とのかかわりを通して～」を掲げて、本県の幼稚園教育の向上の役割を果たしている。そして、学部と連携し研究を深めるとともに、親と子が共に育つ場としての幼稚園をめざしている。



附属小学校

附属小学校は、児童数979名(学級数27)で国立大学法人の附属小学校の中でも全国一の規模を誇る学校である。小学校教育に関する理論的・実践的な研究の推進、教育実習生の指導の充実、研究や実践の公開による本県の小学校教育向上への貢献という3つの使命を持ち、複式教育や外国語活動における先進的な研究、実践でも高い評価を得ている。



附属中学校

附属中学校は、創立59周年を迎え、596名の生徒が在籍している。本校は、学部と一体となり中学校教育に関する理論的・実践的研究を行う。学部の計画に従い、学生の教育実習の場としてその指導に当たる。研究会、共同研究等の教育交流を通して、現職教育の振興に寄与する。という三つの使命を果たすべく日々前進する学校である。



附属特別支援学校

附属特別支援学校は昭和55年に開校し、現在、知的障害を主な障害とする小学部・中学部・高等部の児童生徒60名が在籍している。特別支援教育の理念の下、子どもたちの豊かな生活を目指し、大学をはじめとする関係機関との連携を図りながら一人ひとりのニーズに応じた、きめ細やかな教育実践を積み重ね、地域の特別支援教育のセンター的な役割も担っている。



医学部・歯学部附属病院

医学部・歯学部附属病院は、平成15年10月に医学部附属病院と歯学部附属病院を統合し、診療科を疾患機能別に17のセンターとし診療体制を再編成した。また、病院再開発計画として、平成19年度から約10年間の予定で建物の増築・改修を行い、病院機能や建物を統合・集中化し、病院運営の合理化・省力化、患者サービスの向上、先進医療の積極的導入、地域医療の充実を目指している。平成18年には「都道府県がん診療連携拠点病院」に認定され、鹿児島県におけるがん医療に中心的な役割を果たしている。さらに、平成20年には、医療提供の質が多面的に評価され、九州の国立大学病院として初めて病院機能評価Ver.5の認定を取得した。

教育面では、卒後臨床研修センターが中心となり、協力病院と共同で「卒後臨床研修プログラム」を実施し、優れた医師・歯科医師の人材育成に努めている。

| 診療センター | 部門科 | 中央診療施設等 |
|----------------|-----------------------------------|--|
| 循環器センター | 心臓血管内科 心臓血管外科 | ■検査部 ■手術部 ■放射線部 ■救急部 ■集中治療部 ■輸血部 ■周産母子部 ■全身管理歯科治療部 ■血液浄化療法部 ■病理部 ■光学医療診療部 ■歯科技工室 ■リハビリテーション部 ■中央採液室 ■臨床心理室 ■歯科総合診療部 ■遺伝カウンセリング室 ■外来化学療法室 ■腫瘍センター ■医療器材管理部 ■医療情報部 ■病歴管理室 ■治験管理部 ■卒後臨床研修センター ■医療環境安全部 ■地域医療連携センター ■医療相談室 |
| 消化器センター | 消化器内科 消化器外科 | |
| 脳・神経センター | 神経内科 脳神経外科 | |
| 呼吸器・ストレスケアセンター | 呼吸器内科 呼吸器外科 心身医療科 | |
| 腎臓・泌尿器センター | 腎臓内科 泌尿器科 | |
| 血液・内分泌・糖尿病センター | 血液・膠原病内科 糖尿病・内分泌内科 乳腺・内分泌外科 | |
| メンタルケアセンター | 神経科精神科 | |
| 小児診療センター | 小児科 小児外科 | |
| 女性診療センター | 産科、婦人科 | |
| 整形・運動機能センター | 整形外科・リウマチ外科 | |
| 感覚器センター | 皮膚科 眼科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 | |
| 放射線診療センター | 放射線科 顎顔面放射線科 | |
| 麻酔全身管理センター | 麻酔科 歯科麻酔科 | |
| リハビリテーションセンター | リハビリテーション科 | |
| 発達系歯科センター | 口腔保健科 矯正歯科 小児歯科 | |
| 成人系歯科センター | 保存科 歯周病科 冠・ブリッジ科 義歯補綴科 | |
| 口腔顎顔面センター | 口腔外科 口腔顎顔面外科 | |
| | | ■薬 剤 部 |
| | | ■看 護 部 |
| | | ■臨床技術部 |
| | | ■事 務 部 |

はじめに

組
織

学
部
・
大
学
院
等

学
生
等

教
育
・
研
究
・
社
会
貢
献
活
動

国
際
交
流

財
務

キ
ャ
ン
パ
ス

医学部・歯学部附属病院患者数

(平成20年度)

| 医 科 部 門 | | | | 歯 科 部 門 | | | |
|---------------------|----------------|----------------|------------|-----------------------------------|---------------|---------------|-------|
| 診 療 科 名 | 患 者 数 | | 病 床 数 | 診 療 科 名 | 患 者 数 | | 病 床 数 |
| | 入 院 | 外 来 | | | 入 院 | 外 来 | |
| 内 科 | 48,866 | 70,430 | 145 | 口 腔 保 健 科 | — | 5,675 | 40 |
| 神 経 科 精 神 科 | 13,229 | 13,945 | 45 | 保 存 科 | — | 10,267 | |
| 小 児 科 | 13,287 | 9,533 | 45 | 歯 周 病 科 | — | 16,217 | |
| 外 科 | 40,365 | 15,126 | 106 | 冠・ブリッジ科 | — | 12,878 | |
| 脳 神 経 外 科 | 11,071 | 5,826 | 28 | 義 歯 補 綴 科 | — | 12,770 | |
| 整 形 外 科・リウマチ外科 | 18,094 | 12,600 | 50 | 口 腔 外 科 | 4,613 | 7,980 | |
| 皮 膚 科 | 10,251 | 15,266 | 25 | 口 腔 顎 顔 面 外 科 | 5,568 | 10,513 | |
| 泌 尿 器 科 | 9,731 | 8,665 | 29 | 矯 正 歯 科 | — | 7,080 | |
| 眼 科 | 12,081 | 21,397 | 39 | 小 児 歯 科 | 71 | 7,209 | |
| 耳 鼻 咽 喉 科・頭 頸 部 外 科 | 10,148 | 13,449 | 34 | 顎 顔 面 放 射 線 科 | — | 4,244 | |
| 放 射 線 科 | 8,656 | 6,947 | 23 | 歯 科 麻 醉 科 | — | 855 | |
| 産 婦 人 科 | 15,690 | 14,962 | 50 | 全 身 管 理 歯 科 治 療 部 | — | 81 | |
| 麻 酔 科 | 631 | 4,855 | 4 | 歯 科 総 合 診 療 部 | — | 3,743 | |
| 小 児 外 科 | 3,939 | 3,086 | 8 | 計 | 10,252 | 99,512 | |
| 心 身 医 療 科 | 1,105 | 4,483 | 5 | | | 40 | |
| リハビリテーション科 | 16,780 | 10,040 | 50 | (注) 共通 内訳(結核13床、感染7床、特別室6床、共通12床) | | | |
| 放 射 線 治 療 室 | — | — | 3 | 内科…心臓血管内科、消化器内科、神経内科、呼吸器内科、腎臓内科、 | | | |
| 集 中 治 療 室 | — | — | 8 | 血液・膠原病内科、糖尿病・内分泌内科 | | | |
| 共 通 | — | — | 38 | 外科…心臓血管外科、消化器外科、呼吸器外科、乳腺・内分泌外科 | | | |
| 計 | 233,924 | 230,610 | 735 | 産婦人科…産科、婦人科 | | | |

(注) 共通 内訳(結核13床、感染7床、特別室6床、共通12床)
 内科…心臓血管内科、消化器内科、神経内科、呼吸器内科、腎臓内科、
 血液・膠原病内科、糖尿病・内分泌内科
 外科…心臓血管外科、消化器外科、呼吸器外科、乳腺・内分泌外科
 産婦人科…産科、婦人科



▲医科診療棟



▲歯科診療棟



▲霧島リハビリテーションセンター

はじめに

組織

学部・大学院等

学生等

教育・研究・
社会貢献活動

国際交流

財務

キャンパス

附属図書館

附属図書館は、中央図書館(郡元地区)、桜ヶ丘分館(桜ヶ丘地区)および水産学部分館(下荒田地区)の3館で組織されており、教育・研究に必要な学術資料を広い分野にわたり収集し、利用に供している。3館とも、本学の学生・教職員はもとより、地域住民に対しても開放されている。

また、文献情報データベース、電子ジャーナル等の電子情報資料の整備充実に努めるほか、本学で作成された電子的学術研究成果を収集・保存し、無償で国内外に発信する鹿児島大学リポジトリを運用している。

なお、島津久光および玉里島津家の旧蔵書である「玉里文庫」等の貴重書や古書籍等のコレクションも所蔵し、毎年その一部を公開している。

【中央図書館】

開館時間

| 月～金曜日 | 土・日曜日 |
|------------|-------------|
| 8:30～21:30 | 10:00～18:00 |

休館日

- 国民の祝日
- 年末年始等(12月27日～1月3日)

施設

鉄筋地上5階地下2階建
(平成8年12月竣工)

| | |
|----------|----------------------|
| 延床面積 | 12,697m ² |
| 閲覧スペース | 4,876m ² |
| サービススペース | 1,808m ² |
| 収蔵スペース | 2,359m ² |
| 事務室等 | 775m ² |
| その他 | 2,879m ² |
| 総座席数 | 940席 |
| 収容可能冊数 | 945,000冊 |



【桜ヶ丘分館】

開館時間

| 月～金曜日 | 土・日曜日 |
|------------|-------------|
| 8:30～21:00 | 10:00～18:00 |

(偶数月の第1土曜日は14:00～18:00)

休館日

- 国民の祝日
- 年末年始等(12月27日～1月3日)

施設

鉄筋3階建
(昭和52年4月竣工、昭和56年5月増築)

| | |
|----------|---------------------|
| 延床面積 | 1,980m ² |
| 閲覧スペース | 1,229m ² |
| サービススペース | 181m ² |
| 収蔵スペース | 189m ² |
| 事務室等 | 238m ² |
| その他 | 143m ² |
| 総座席数 | 131席 |
| 収容可能冊数 | 192,000冊 |



【水産学部分館】

開館時間

| 月～金曜日 | 土曜日 |
|------------|-------------|
| 8:30～20:00 | 10:00～17:00 |

休館日

- 日曜日、国民の祝日
- 年末年始等(12月27日～1月3日)

施設

鉄筋2階建
(昭和45年2月竣工)

| | |
|----------|-------------------|
| 延床面積 | 849m ² |
| 閲覧スペース | 307m ² |
| サービススペース | 47m ² |
| 収蔵スペース | 248m ² |
| 事務室等 | 113m ² |
| その他 | 134m ² |
| 総座席数 | 74席 |
| 収容可能冊数 | 41,000冊 |



【平成20年度利用状況】

| 区 分 | 開館日数 | 総 入 館 者 数 | | | | |
|--------|------|-----------|---------|---------|-------------|---------|
| | | 平 日 | | | 土・日 及び祝日 | 合 計 |
| | | 17:00まで | 17:00以降 | 計 | | |
| 中央図書館 | 321 | 283,709 | 93,887 | 377,596 | 48,521 | 426,117 |
| 桜ヶ丘分館 | 346 | 71,944 | 32,335 | 104,279 | 16,317 | 120,596 |
| 水産学部分館 | 295 | 23,027 | 4,438 | 27,465 | 2,650 | 30,115 |
| 合 計 | | 378,680 | 130,660 | 509,340 | 67,488 | 576,828 |

【蔵 書】

図書(冊)

(平成21年4月1日現在)

| 区 分 | 総 記 | 哲 学 | 歴 史 | 社会科学 | 自然科学 | 技 術 | 産 業 | 芸 術 | 言 語 | 文 学 | 合 計 | |
|-----|--------|--------|--------|---------|---------|---------|--------|--------|--------|---------|-----------|---------|
| 和漢書 | 中央図書館 | 64,856 | 42,913 | 76,469 | 203,819 | 107,557 | 69,432 | 54,252 | 29,042 | 26,926 | 69,455 | 744,721 |
| | 桜ヶ丘分館 | 981 | 1,823 | 687 | 5,220 | 91,141 | 1,161 | 360 | 613 | 1,703 | 1,360 | 105,049 |
| | 水産学部分館 | 1,712 | 411 | 1,379 | 9,639 | 11,981 | 6,479 | 12,934 | 785 | 1,099 | 619 | 47,038 |
| | 小 計 | 67,549 | 45,147 | 78,535 | 218,678 | 210,679 | 77,072 | 67,546 | 30,440 | 29,728 | 71,434 | 896,808 |
| 洋書 | 中央図書館 | 15,409 | 18,785 | 16,714 | 52,630 | 82,802 | 19,246 | 19,602 | 4,555 | 13,453 | 32,984 | 276,180 |
| | 桜ヶ丘分館 | 755 | 357 | 114 | 665 | 76,714 | 94 | 74 | 77 | 418 | 424 | 79,692 |
| | 水産学部分館 | 454 | 101 | 235 | 704 | 5,722 | 2,195 | 4,052 | 229 | 275 | 65 | 14,032 |
| | 小 計 | 16,618 | 19,243 | 17,063 | 53,999 | 165,238 | 21,535 | 23,728 | 4,861 | 14,146 | 33,473 | 369,904 |
| 合 計 | 84,167 | 64,390 | 95,598 | 272,677 | 375,917 | 98,607 | 91,274 | 35,301 | 43,874 | 104,907 | 1,266,712 | |

雑誌(種類数)

| 区 分 | 和雑誌 | 洋雑誌 | 合 計 |
|--------|--------|--------|--------|
| 中央図書館 | 16,801 | 7,783 | 24,584 |
| 桜ヶ丘分館 | 3,450 | 2,238 | 5,688 |
| 水産学部分館 | 2,342 | 1,078 | 3,420 |
| 合 計 | 22,593 | 11,099 | 33,692 |



▲玉里文庫所蔵資料

【貴重書・古書籍等コレクション】

| 文庫名 | 内 容 等 | | | | | |
|----------|---|------|--------|---------|--------|------|
| 玉里文庫 | 島津久光及び玉里島津家の旧蔵書 久光の直筆本、島津家編輯本、和漢書の写本類、薩摩藩関係史誌、幕末洋学関係翻訳書の写本等 18,730冊 | | | | | |
| 岩元文庫 | 旧制第一高等学校教授であった岩元禎氏の旧蔵書 漢籍と文学・哲学関係の洋書 漢籍4,515冊、洋書826冊 | | | | | |
| 松本文庫 | 旧制第八高等学校漢文学教授であった松本亦一氏の旧蔵書 漢籍と和書、医書を多く含む 2,186冊 | | | | | |
| 小北文庫 | 旧制鹿児島高等農林学校長小出満二氏が渡豪中に実業家北村寅之助氏の助力を得て収集し、後に同校図書館に寄贈したオーストラリア、太平洋諸島関係洋書 686冊 | | | | | |
| 小野文庫 | 元法政大学教授小野武夫博士の旧蔵書 農業経済、農業史、地方史を中心とするコレクション 4,127冊 | | | | | |
| 鹿児島県地券台帳 | 明治15年鹿児島県における地券発行原簿のコレクション 出水、川辺、揖宿、肝属、大隅、熊本、馭謨、臼杵の各郡が比較的まとまっている。附属資料として共有地台帳、地価修正一筆限帳等が含まれる 2,944冊 | | | | | |
| 諸家文書 | 市来家文書 | 105点 | 川田家文書 | 116点 | 木脇家文書 | 18点 |
| | 山田家文書 | 30点 | 寺尾家文書 | 387点 | 伊集院家文書 | 17点 |
| | 有馬家文書 | 61点 | 志々目家文書 | 37点 | 長野家文書 | 141点 |
| | 斑目家文書 | 17点 | 伊勢家文書 | 695点 | 新納家文書 | 122点 |
| | 肝付家文書 | 65冊 | 八田家文書 | 2巻(13点) | | |

はじめに

組織

学部・大学院等

学生等

教育・研究・
社会貢献活動

国際交流

財務

キャンパス

保健管理センター

保健管理センターは、学生および教職員の心身の健康の保持ならびにその増進を図ることを目的とし、保健管理に関する実施計画の立案等を行っている。

センターでは、専任の医師3名、看護師および保健師各1名のほか、学医として学内の各科の専門医(内科、精神神経科、整形外科、眼科、耳鼻科、婦人科、歯科)による健康相談業務を行い、さらにカウンセラーとして法文学部と教育学部の心理学の教員および非常勤の臨床心理士が心理相談やカウンセリングにあっている。

また、禁煙サポートプログラムの開発、定期健康診断の予約システムの確立や診断結果のデータのデジタル化およびその結果解析など、調査研究も活発に行っている。

【業務内容】

- 定期健康診断ならびに臨時健康診断と事後指導
- 心理相談ならびに学生相談
- 一般診療、急性疾患に対する短期的投薬、他医療施設への紹介・受診指導
- 健康診断証明書発行
- 健康教育活動(学生・教職員への健康啓発講演会開催など)
- 保健管理に関する調査研究
- 環境衛生および伝染病予防に関する指導
- 保健管理センター年報の発行
- 禁煙サポート
- 救急蘇生講習会



多島圏研究センター

多島圏研究センターでは、アジア・太平洋の島嶼から我が国の南西諸島までの多島域において、地域の人々の生活や文化についての学際的な調査研究を学内外の協力者と連携協力しながら実施し、学術の国際交流と地域貢献を目的とした活動を行っている。得られた結果は共通教育やシンポジウム・フォーラムなどで学内外の教育・研究に生かしている。



▲ミクロネシア連邦ヤップ州ファイス島における島民との打ち合わせの様子

留学生センター

留学生センターは、外国人留学生および海外留学を希望する本学の学生に、必要な教育および指導助言等を行うことにより、本学における国際交流の推進に寄与することを目的として、平成12年4月に設置された。この目的のために、外国人留学生に対する、日本語日本文化教育、学習カウンセリング、地域社会との交流推進や、海外留学を希望する学生への情報提供などを行っている。



総合研究博物館

総合研究博物館は、学内の貴重な学術資料を一元的に整理・管理・展示公開して研究や教育に効果的に利用し、さらに広く一般社会へ情報を発信することを目的として平成13年4月に設置された。平成16年5月には常設展示室を開設し、学術資料や研究の成果を一般に広く公開している。毎年、秋には特別展を開催し、年に数回市民講座・研究交流会などを行っている。そのほか、「News Letter」の発行など学内外に向けた活動を行っている。学術標本・資料は、これまでに学内外から多数の使用申請があり、その一部は学術論文として報告されているほか学生の論文等にも活用されている。

また、常設展示室の建物は、平成18年に国の登録有形文化財に登録された。昭和3(1928)年に建てられた展示室は、鹿児島県に現存する初期の鉄筋コンクリートの建物で、学校施設としても歴史的な価値を持っていることが評価された。常設展示室では600点ほどの標本・資料を展示し、市民に公開するとともに、学内の教育にも利用されている。



▲総合研究博物館常設展示室



▲標本作成指導を受ける公開講座の参加者

学術情報基盤センター

学術情報基盤センターは、鹿児島大学の情報基盤を担う中核的組織として、教育研究用計算機システムおよびキャンパス情報ネットワークの運用管理、大学全体の情報セキュリティ対策支援、情報システムの企画・開発・運用、IT相談等、教育研究全般の情報化支援に積極的に取り組んでいる。

センターには、情報メディア基盤部門、学術情報処理研究部門、情報システム開発部門の3部門がおかれ、それぞれの部門に属する専任教員が情報通信技術に関する研究開発、情報通信技術を生かした地域との連携、マルチメディア教材の研究開発、情報教育支援体制の整備による学内部局との連携、学術情報データの蓄積と発信に関する研究開発を推進すると共に、学内の教育研究の高度情報化に指導的な役割を果たしている。



生涯学習教育研究センター

生涯学習教育研究センターでは、大学が蓄積する知的財産を活用した公開講座、セミナー、シンポジウム等を企画・提供している。また、指導者の養成、地域の生涯学習への支援、公開授業による大学開放を推進している。

これと併行して、各地域の特性に基づく生涯学習の課題とその解決方法を探るため、生涯学習に関する研究活動を行っている。



▲公開講座「親子で冒険 海と山」

はじめに

組織

学部・大学院等

学生等

教育・研究・
社会貢献活動

国際交流

財務

キャンパス

教育センター（共通教育）

教育センターは、平成15年10月に設置され、その任務は「鹿児島大学の教育の充実・発展」と「共通教育の実施」である。

共通教育は、旧制第七高等学校時代以来、連綿と引き継がれてきた学士課程教育で、幅広い知識・教養・技能等を有するとともに、進取の精神、自主自律の精神に富み、深い歴史感覚、鋭い現実感覚、高い公共意識に裏付けられた判断力と構想力を有する個性豊かな人材の育成を目指している。どの学部の学生にも必要な大学教育の大きな柱の一つとなっている。

教育センターは、全学共通教育（基礎教育を含む）と外国語教育の企画・運営、ならびに学士課程教育の充実・推進と全学的フアカルティ・ディベロップメント（FD）の企画・促進を目的としている。

教育センターの組織構成

【共通教育企画実施部】

共通教育科目（教養科目、情報科学科目、外国語科目、体育・健康科目、日本語・日本事情科目）と、基礎教育科目の研究開発・実施

【高等教育研究開発部】

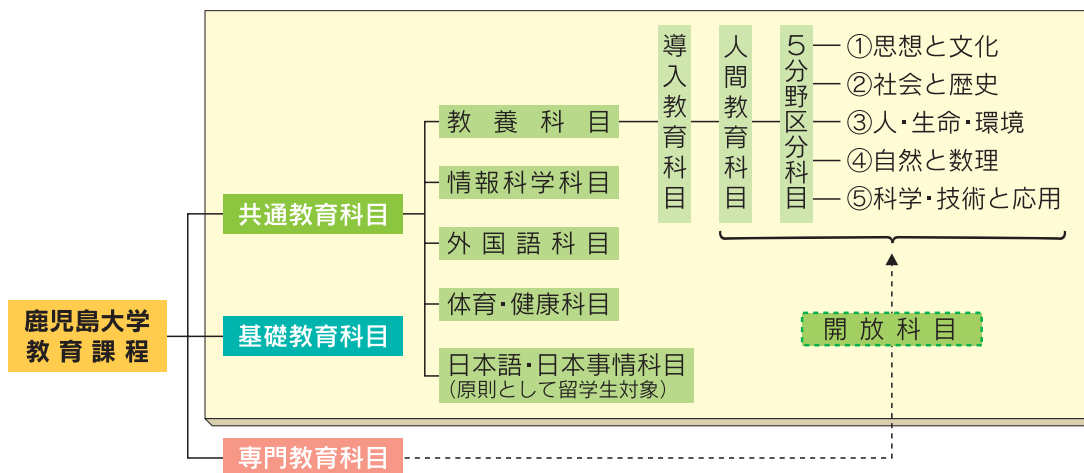
高等教育の教育方法・教育支援・FDの研究開発、授業改善・教育評価・自己点検などの研究開発

【外国語教育推進部】

全学の外国語教育の研究・改善・提言およびカリキュラム開発

鹿児島大学教育課程

（大きな枠内が教育センターの教育）



▲共通教育科目「インテンシブ英語1B」授業風景



▲共通教育棟1号館

稲盛アカデミー

工学部の卒業生である京セラ株式会社名誉会長の稲盛和夫氏および京セラ(株)からの寄附により、平成17年に、全学共同教育研究施設『稲盛経営技術アカデミー』として設置し、平成20年4月に、『稲盛アカデミー』へ改組した。

稲盛アカデミーは、「世のため、人のために尽くす高い倫理観を持った『21世紀型市民』の輩出を目標に掲げ、地域社会から望まれるリーダーを育成する」を基本理念として、倫理や哲学に関する授業科目等を開発し、全学共通教育に提供する一方、様々な体験の場を提供し、その中で学生が自らの理念やビジョンを模索し、真のリーダーのあるべき姿を探求しつつ、実行力と責任感を体得させることで、人間力の総合的育成をめざしている。



部門

【人間教育部門】

【経営教育部門】

【地域・国際連携部門】

開講科目

稲盛アカデミーにおける開講科目は、稲盛和夫氏の「豊かな人間力をもった次世代を担う若者」を育てたいという思いから、全学的な共通教育の教育・学習目標に整合させて開講され、以下の「重点科目」「教員科目」「提供科目」から構成される。

| 重点科目<10科目> | 教員科目<11科目> | 提供科目<22科目> |
|---|---|---|
| 稲盛アカデミーの設立に当たり、寄附金の出資者である稲盛和夫氏の経営理念、経営哲学、人間観などを、人類的視野から学問的に発展させたものを重点的に学べる講義。主として、稲盛アカデミーの教員が担当する。 ●稲盛セミナー●ベトナム農村体験学習●経営管理入門●経営哲学●生き方と道徳●先人に学ぶリーダーシップ I・II●人間力経営●20歳からのハローワーク I・II | 稲盛アカデミーの教員による開講科目。稲盛アカデミー創設の精神に沿って、主に、それぞれの教員が専攻する学問分野を中心に開講され、そのうち3科目は、若手教員によるゼミ形式の授業科目。 ●陽明学入門●エネルギー環境教育論●薩摩とカリフォルニアの交流史●地域経営入門●経世済民の公共政策学入門●持続可能な開発と東洋の環境思想●環境教育・ESD入門 I・II●教育学概論●新しい公共性と協働●アメリカのベンチャー文化●アメリカのビジネスと文化 | 学部や学内共同教育研究施設等の教員によって提供される科目で、幅広く、人文・社会・自然科学分野の科目を用意。 ●循環と共生の技術●南北問題と世界の未来●地域づくりとリーダー論●異文化理解とコミュニケーション●食料と農の人間教育●アジアの日本語教育●知的障害児の心理と病理●仮説実験授業 I●連帯による新エネルギー革命●現代社会と環境教育●科学教育入門●イスラーム社会と宗教●職業人と実践倫理●環境汚染昨日・今日・明日●二宮尊徳に学ぶ●コミュニケーションと音楽●薩摩藩の教育史●海が運んだ中世・近世の鹿児島●技術と文化●国際平和と有徳●森・ひと・体験●大野ESD自然学校 I・II |

フロンティアサイエンス研究推進センター

フロンティアサイエンス研究推進センターは、学内の教育研究活動を支える教育研究支援部門と、鹿児島大学における重点的研究課題を推進する生命科学研究推進部門とから構成されている。

教育研究支援部門

機器分析施設は、大型・高性能機器の計画的導入および集中管理による各種計測・分析機器の有効かつ円滑な共同利用を図っている。遺伝子実験施設は、遺伝子に関連する教育研究および安全管理を行い、物理的封じ込めP3レベルまでの実験室や放射性同位元素(RI)を使用できる各種実験室等も整備されている。動物実験施設は、実験動物および動物実験に関する教育研究、実験動物の品質管理および安全管理を行い、動物実験の適正化を図っている。アイソトープ総合実験施設は、放射性同位元素および放射線を利用する教育研究を推進するとともに、本学の放射線施設の安全管理を担っている。

生命科学研究推進部門

本学における重点的研究課題を遂行するために、三つの研究分野が設置されている。これらの研究分野は、種々の先端医療の開発を目的としたトランスレーショナルリサーチを推進している。その中でも、医用ミニプタを用い、再生移植医療におけるドナーの臓器不足の解決をめざす『異種移植』の研究が重点課題として推進されている。



▲遺伝子実験施設

はじめに

組織

学部・大学院等

学生等

教育・研究・社会貢献活動

国際交流

財務

キャンパス

産学官連携推進機構

産学官連携部門

鹿児島大学で生まれた研究シーズと社会ニーズのマッチングを図り、民間企業等との共同研究等を通じた研究成果の社会還元、技術移転を推進している。

産学共同研究のコーディネート他、地域産業界等からの技術相談への対応、公募事業等の獲得支援、自治体と共同した産学官プロジェクトの企画・立案などを行い、また大学の研究成果等の情報発信や、産学官交流活動を支援する。

知的財産部門

教育研究活動の中で生まれた発明等の知的財産を一元的に取り扱うとともに戦略的な推進を図っている。このため、各学部・研究科と連携して知的財産の創出、権利化および活用を積極的に行い、更に、研究者および学生に対する教育啓発活動を展開し、知的財産を通じた産学官連携活動により本学の社会貢献に寄与することを目指している。

ベンチャービジネス部門

ベンチャー企業や産学官連携事業のためのインキュベーション機能を有する教育研究施設。インキュベーションプロジェクトとしては、ナノバイオ関連および社会科学関連の研究テーマも受け入れている。

ベンチャー創業時に必要な実践ビジネス教育プログラムを大学院科目として、開講している。

管理部門

機構の学内外総合窓口、機構の会議および各種事務業務等を担う管理部門を置き、研究国際部研究協力課が担当している。



▲県内大学等地域貢献シンポジウム



▲産学官連携推進機構棟

埋蔵文化財調査室

埋蔵文化財調査室では、学内の施設整備に伴うキャンパス内遺跡の発掘調査を行い、そこから得られた埋蔵文化財の整理、研究、報告書作成を行っており、調査時には、一般市民向けの体験発掘や、遺跡見学会を開催している。



▲遺跡説明会

国際戦略本部

国際戦略本部(KUCIP:Kagoshima University Center for International Planning)は、本学の教育研究の国際交流および研究成果を基盤とした国際社会への貢献を戦略的に推進することにより、教育研究の国際的通用性の向上を図ることを目的とした中枢的組織として、平成17年9月に設置された。

国際戦略本部は、副学長(教育・国際化担当)を本部長とし、専任職員2名および学内の兼任職員を配置しており、組織的国際展開への求心力を高めるための国際戦略の策定とそれに必要なプログラム事業遂行のため、次の機能を有している。

- ① 教育研究に関する国際戦略の策定
- ② 教育研究の国際展開の企画・支援および手法の開発
- ③ 国際開発協力事業の企画・支援
- ④ 世界の学術動向に関する調査
- ⑤ 国際機関、海外大学等との連携強化
- ⑥ 職員の国際業務のスキルアップ

平成18年度から4年間の計画で、国際戦略本部の主導により、本学の置かれた地域特性を活かした分野に関する国際連携教育プログラム開発を目的とした「水圏環境・食資源・島嶼医療分野で国際的に活躍できる高度専門能力および技術経営能力を備えた人材の養成」プロジェクトを実施している。

また、これらの事業を推進するにあたり、適切な助言を得るため、国際経験豊富な学外有識者を「国際戦略アドバイザー」として委嘱している。

ボランティア支援センター

ボランティア支援センターは、本学学生のボランティア活動の推進およびその支援を図ることを目的として、平成20年7月に設置された。

同センターは、学生が様々なボランティアに参加し、地域との関わりを持つことで人間力を高め、学生による地域貢献や地域の活性化を図るため、ボランティア教育への支援や災害等発生時の復旧支援活動、ボランティアに関する情報の収集・提供、ボランティア関係機関・団体との連絡調整などの業務を行う。

また、同センターは、従来のボランティア活動に加え、次のようなボランティアプロジェクトを計画し、支援する。

- ① 教育補助等ボランティア
- ② 災害ボランティア
- ③ 観光ボランティア
- ④ 限界集落支援ボランティア
- ⑤ 希少生物保護ボランティア
- ⑥ キャンパスクリーンボランティアなど



▲ プロジェクトの一つとして大学院生がフィリピン大学での授業を受講



▲ 看板上掲式

東京リエゾンオフィス

東京リエゾンオフィスは、首都圏における活動、情報の収集および発信等を活発に行うため、平成16年12月に東京都港区芝浦のキャンパス・イノベーションセンター（CIC）内に設置された。

主に、鹿児島大学の各種情報（大学概要・広報誌等）の提供、入試情報（各学部・研究科案内および募集要項等）の提供、首都圏における学生の就職支援および企業との技術相談・共同研究等に関する連絡調整、各同窓会との連絡調整を行っている。

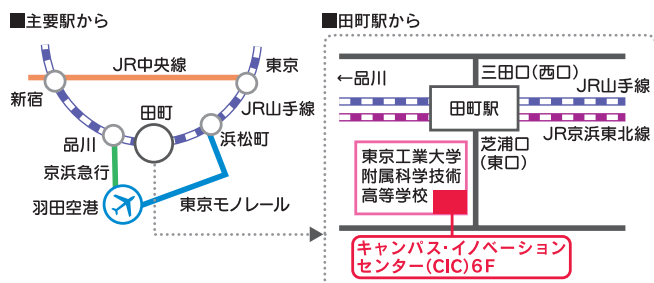
■交通アクセス

1.所在地

〒108-0023 東京都港区芝浦三丁目3番6号
キャンパス・イノベーションセンター（CIC）607号室

2.アクセス

JR田町駅 芝浦口（東口）から徒歩1分



▲ オフィスの様子



▲ キャンパス・イノベーションセンター（CIC）

インフォメーションセンター

インフォメーションセンターは、一般市民、受験生や企業の方々との交流拠点として平成19年4月、正門に付設された。鹿児島大学の教育・研究・社会貢献活動の概要の紹介、各種イベント等の案内、研究成果物の展示を行っている。スタッフが常駐し、市民が利用できる施設の案内、学部・研究科等の概要や広報誌等の配布、入試問題の閲覧、大学オリジナルグッズの販売を行うほか、大学紹介DVD等の視聴が可能。

開館：月～金曜日（祝祭日等除く） 9時00分～17時30分



| | |
|----------------|---|
| <p>主 販 売 物</p> | <p>大学オリジナルグッズ（クリアファイル、ボールペン、ブックカバー、キーホルダー、ペンケース、トートバック、ネクタイピン、バッジ）、びわ茶（ティーバッグ、ペットボトル、サプリメント）、竹炭ブロック入花籠、竹炭ボードフォトフレーム、竹炭ボード製壁掛けフォトフレーム、竹炭押し花、竹炭ブロック、教育学部附属特別支援学校の生徒作品、DVD（北辰斜にさすところ）、鹿大ブランド焼酎（「春秋謳歌」、「きばいやんせ」、「天翔宙」）、屋久杉盆、屋久杉ハガキ、附属農場生産物（野菜・穀類・果物等）</p> |
| <p>主 展 示 物</p> | <p>水産学部ツナ缶詰、絵葉書</p> |



▲大学オリジナルグッズ



▲びわ茶



▲大学ブランド焼酎



理工系総合研究棟



緒方通りのモミジバフウ



北辰通り



共通教育棟前



農学部共通棟

■学 部

(平成21年5月1日現在)

| 学 部 | 学科・課程 | 入学定員 | 3年次編入学員 | 現 員 | | | | | | 計 |
|------|-----------------------|------|-------------|-------------|-------------|-------------|-----------|----------|--------------|--------------|
| | | | | 1 年 | 2 年 | 3 年 | 4 年 | 5 年 | 6 年 | |
| 法文学部 | 法 政 策 学 科 | 95 | 10 | 103 (46) | 104 (43) | 106 (49) | 142 (59) | - | - | 455 (197) |
| | 経 済 情 報 学 科 | 145 | | 151 (77) | 152 (76) | 159 (76) | 207 (90) | - | - | 669 (319) |
| | 人 文 学 科 | 155 | | 160 (140) | 160 (125) | 169 (129) | 217 (164) | - | - | 706 (558) |
| | 小 計 | 395 | | 414 (263) | 416 (244) | 434 (254) | 566 (313) | - | - | 1,830(1,074) |
| 教育学部 | 学校教育教員養成課程 | 225 | | 237 (127) | 239 (111) | 231 (118) | 290 (144) | - | - | 997 (500) |
| | 特別支援教育教員養成課程 | 15 | | 15 (10) | 15 (8) | 16 (11) | - | - | - | 46 (29) |
| | 養護学校教員養成課程 | - | | - | - | - | 21 (17) | - | - | 21 (17) |
| | 生涯教育総合課程 | 35 | | 36 (25) | 38 (26) | 39 (26) | 51 (30) | - | - | 164 (107) |
| | 小 計 | 275 | | 288 (162) | 292 (145) | 286 (155) | 362 (191) | - | - | 1,228 (653) |
| 理学部 | 数理情報科学科 | 40 | | 41 (8) | 45 (9) | 50 (6) | 43 (6) | - | - | 179 (29) |
| | 物 理 科 学 科 | 45 | | 48 (8) | 48 (6) | 56 (6) | 46 (9) | - | - | 198 (29) |
| | 生 命 化 学 科 | 50 | | 51 (19) | 51 (26) | 58 (24) | 50 (24) | - | - | 210 (93) |
| | 地 球 環 境 科 学 科 | 50 | | 52 (22) | 55 (30) | 60 (19) | 52 (22) | - | - | 219 (93) |
| | 小 計 | 185 | | 192 (57) | 199 (71) | 224 (55) | 191 (61) | - | - | 806 (244) |
| 医学部 | 医 学 科 | 95 | 10 | 95 (25) | 91 (34) | 103 (33) | 108 (37) | 90 (30) | 103 (35) | 590 (194) |
| | 保 健 学 科 | 120 | 20 | 122 (93) | 121 (89) | 134 (100) | 139 (96) | - | - | 516 (378) |
| | 小 計 | 215 | 30 | 217 (118) | 212 (123) | 237 (133) | 247 (133) | 90 (30) | 103 (35) | 1,106 (572) |
| 歯学部 | 歯 学 科 | 55 | | 60 (27) | 57 (19) | 56 (25) | 52 (21) | 53 (11) | 57 (25) | 335 (128) |
| 工学部 | 機 械 工 学 科 | 94 | 20 | 110 (3) | 108 (3) | 118 (3) | 92 (2) | - | - | 428 (11) |
| | 電 気 電 子 工 学 科 | 78 | | 96 (3) | 98 (7) | 97 (2) | 88 (3) | - | - | 379 (15) |
| | 建 築 学 科 | 55 | | 62 (15) | 73 (24) | 59 (15) | 56 (16) | - | - | 250 (70) |
| | 応 用 化 学 工 学 科 | - | | 3 (0) | 64 (16) | 63 (15) | 72 (12) | - | - | 202 (43) |
| | 海 洋 土 木 工 学 科 | 48 | | 52 (7) | 58 (6) | 46 (6) | 52 (5) | - | - | 208 (24) |
| | 情 報 工 学 科 | - | | 9 (1) | 84 (10) | 67 (9) | 51 (3) | - | - | 211 (23) |
| | 生 体 工 学 科 | - | | 5 (1) | 72 (28) | 73 (20) | 65 (21) | - | - | 215 (70) |
| | 環 境 化 学 プ ロ セ ス 工 学 科 | 35 | | 37 (6) | - | - | - | - | - | 37 (6) |
| | 情 報 生 体 シ ス テ ム 工 学 科 | 80 | | 80 (19) | - | - | - | - | - | 80 (19) |
| | 化 学 生 命 工 学 科 | 50 | | 52 (16) | - | - | - | - | - | 52 (16) |
| 小 計 | 440 | 20 | 506 (71) | 557 (94) | 523 (70) | 476 (62) | - | - | 2,062 (297) | |
| 農学部 | 生 物 生 産 学 科 | 80 | | 85 (37) | 83 (35) | 85 (45) | 104 (40) | - | - | 357 (157) |
| | 生 物 資 源 化 学 科 | 60 | | 64 (32) | 62 (27) | 59 (30) | 88 (40) | - | - | 273 (129) |
| | 生 物 環 境 学 科 | 65 | | 66 (21) | 68 (22) | 73 (16) | 75 (26) | - | - | 282 (85) |
| | 獣 医 学 科 | 30 | | 31 (14) | 31 (14) | 32 (13) | 32 (12) | 33 (14) | 38 (17) | 197 (84) |
| | 小 計 | 235 | | 246 (104) | 244 (98) | 249 (104) | 299 (118) | 33 (14) | 38 (17) | 1,109 (455) |
| 水産学部 | 水 産 学 科 | 130 | | 132 (39) | 135 (41) | 137 (31) | 152 (38) | - | - | 556 (149) |
| | 水産教員養成課程 | 10 | | 10 (4) | 9 (1) | 9 (3) | 14 (5) | - | - | 42 (13) |
| | 小 計 | 140 | | 142 (43) | 144 (42) | 146 (34) | 166 (43) | - | - | 598 (162) |
| 合 計 | 1,940 | 60 | 2,065 (845) | 2,121 (836) | 2,155 (830) | 2,359 (942) | 176 (55) | 198 (77) | 9,074(3,585) | |

- (注)1. ()は女子で内数。
 2. 現員には外国人留学生を含む。
 3. 医学部医学科の編入学定員は2年次後期の編入学定員。

<東京海洋大学水産専攻科>

| 入学定員 | 現 員 |
|------|-----|
| 10 | 4 |

- (注)1. 水産学部の学生は連携により東京海洋大学水産専攻科に進学することができる。
 2. この専攻科を修了した者は、海技士として船舶運航に従事するために必要な資格を得ることができる。

■大学院

(平成21年5月1日現在)

| 研究科 | 入学定員 | 現 員 | | | | | | | | |
|--------------|------|------------|----------|------------|---------------------|----------|----------|----------|----------|-------------|
| | | 修士課程(博士前期) | | | 博士課程(博士後期)又は専門職学位課程 | | | | | 合 計 |
| | | 1 年 | 2 年 | 計 | 1 年 | 2 年 | 3 年 | 4 年 | 計 | |
| 人文社会科学研究科 | 28 | 28 (9) | 38 (17) | 66 (26) | - | - | - | - | - | 66 (26) |
| | 6 | - | - | - | 6 (3) | 6 (3) | 11 (3) | - | 23 (9) | 23 (9) |
| 教育学研究科 | 38 | 39 (21) | 49 (16) | 88 (37) | - | - | - | - | - | 88 (37) |
| 保健学研究科 | 22 | 23 (15) | 29 (14) | 52 (29) | - | - | - | - | - | 52 (29) |
| | 6 | - | - | - | 6 (2) | 5 (4) | 14 (9) | - | 25 (15) | 25 (15) |
| 理工学研究科 | 286 | 318 (36) | 303 (37) | 621 (73) | - | - | - | - | - | 621 (73) |
| | 24 | - | - | - | 24 (5) | 23 (4) | 37 (4) | - | 84 (13) | 84 (13) |
| 農学研究科 | 69 | 63 (17) | 74 (24) | 137 (41) | - | - | - | - | - | 137 (41) |
| 水産学研究科 | 32 | 42 (7) | 31 (5) | 73 (12) | - | - | - | - | - | 73 (12) |
| 医歯学総合研究科 | 20 | 23 (11) | 22 (11) | 45 (22) | - | - | - | - | - | 45 (22) |
| | 94 | - | - | - | 50 (17) | 57 (16) | 58 (18) | 210 (51) | 375(102) | 375 (102) |
| 医学研究科※ | | - | - | - | - | - | - | 44 (7) | 44 (7) | 44 (7) |
| 司法政策研究科 | 30 | - | - | - | 23 (6) | 19 (0) | 29 (9) | - | 71 (15) | 71 (15) |
| 臨床心理学研究科 | 15 | - | - | - | 15 (7) | 15 (10) | - | - | 30 (17) | 30 (17) |
| 連合農学研究科 | 23 | - | - | - | 37 (9) | 38 (14) | 46 (10) | - | 121 (33) | 121 (33) |
| 計 | 693 | 536(116) | 546(124) | 1,082(240) | 161 (49) | 163 (51) | 195 (53) | 254 (58) | 773(211) | 1,855 (451) |
| 山口大学連合獣医学研究科 | 12 | - | - | - | 6 (1) | 3 (0) | 2 (0) | 8 (1) | 19 (2) | 19 (2) |

(注)1. ()は女子で内数。

- 現員には外国人留学生を含む。
- 司法政策研究科(法科大学院)、臨床心理学研究科は専門職学位課程である。
- 山口大学連合獣医学研究科の現員数は、鹿児島大学(指導教員)に属する学生数である。
- 印は旧研究科である。

■大学院の社会人選抜入学者数

(平成21年5月1日現在)

| 研究科 | 平成21年度 | |
|-----------|--------|----|
| 人文社会科学研究科 | 博士前期 | 9 |
| | 博士後期 | 2 |
| 教育学研究科 | | 7 |
| 保健学研究科 | 博士前期 | 11 |
| | 博士後期 | 3 |
| 理工学研究科 | 博士前期 | - |
| | 博士後期 | 6 |
| 農学研究科 | | 5 |
| 水産学研究科 | | - |
| 医歯学総合研究科 | 修士課程 | 5 |
| | 博士課程 | 15 |
| 司法政策研究科 | | - |
| 臨床心理学研究科 | | - |
| 連合農学研究科 | | 4 |
| 計 | | 67 |

(注)現職教員を含む。

はじめに

組織

学部・大学院等

学生等

教育・研究・社会貢献活動

国際交流

財務

キャンパス

学部

(平成21年度)

| 学 部 | 入学定員 | 志 願 者 数 | 入 学 者 数 | 入学者の出身地別割合 (%) | |
|---------|-------|---------------|-------------|----------------|------|
| | | | | 県 内 | 県 外 |
| 法 文 学 部 | 395 | 1,462 (867) | 413 (262) | 61.3 | 38.7 |
| 教 育 学 部 | 275 | 1,024 (582) | 288 (162) | 67.7 | 32.3 |
| 理 学 学 部 | 185 | 587 (201) | 190 (55) | 41.6 | 58.4 |
| 医 学 学 部 | 215 | 1,180 (566) | 217 (118) | 53.0 | 47.0 |
| 歯 学 学 部 | 55 | 172 (81) | 55 (27) | 23.6 | 76.4 |
| 工 学 学 部 | 440 | 1,604 (235) | 450 (66) | 49.8 | 50.2 |
| 農 学 学 部 | 235 | 614 (262) | 246 (104) | 33.3 | 66.7 |
| 水 産 学 部 | 140 | 607 (190) | 140 (41) | 27.9 | 72.1 |
| 合 計 | 1,940 | 7,250 (2,984) | 1,999 (835) | 50.0 | 50.0 |

(注)1. ()内は女子を内数で表す。

2. 私費外国人学部留学生を除く。

○入学者出身地別内訳(出身高校等所在地による)

(注) その他は、高等学校卒業程度認定試験合格(従前の大学入学資格検定合格を含む。)

及び在外教育施設出身の入学者を表す。

九州地区

| | 法 | 教 | 理 | 医 | 歯 | 工 | 農 | 水 | 合計 |
|-----|-----|-----|-----|-----|----|-----|-----|----|-------|
| 鹿児島 | 253 | 195 | 79 | 115 | 13 | 224 | 82 | 39 | 1,000 |
| 沖縄 | 0 | 0 | 2 | 2 | 0 | 0 | 2 | 0 | 6 |
| 宮崎 | 39 | 24 | 32 | 24 | 5 | 51 | 17 | 2 | 194 |
| 大分 | 20 | 6 | 8 | 2 | 2 | 13 | 9 | 3 | 63 |
| 熊本 | 37 | 26 | 14 | 13 | 9 | 56 | 38 | 9 | 202 |
| 長崎 | 21 | 12 | 16 | 15 | 3 | 31 | 15 | 11 | 124 |
| 佐賀 | 9 | 1 | 6 | 3 | 1 | 19 | 10 | 3 | 52 |
| 福岡 | 24 | 14 | 18 | 26 | 10 | 37 | 48 | 15 | 192 |
| 合計 | 403 | 278 | 175 | 200 | 43 | 431 | 221 | 82 | 1,833 |

北海道地区

| | |
|---|---|
| 法 | 0 |
| 教 | 0 |
| 理 | 0 |
| 医 | 1 |
| 歯 | 0 |
| 工 | 1 |
| 農 | 0 |
| 水 | 7 |

中部地区

| | |
|---|----|
| 法 | 1 |
| 教 | 1 |
| 理 | 3 |
| 医 | 3 |
| 歯 | 2 |
| 工 | 3 |
| 農 | 4 |
| 水 | 12 |

東北地区

| | |
|---|---|
| 法 | 0 |
| 教 | 0 |
| 理 | 1 |
| 医 | 1 |
| 歯 | 0 |
| 工 | 1 |
| 農 | 0 |
| 水 | 1 |

中国地区

| | |
|---|----|
| 法 | 2 |
| 教 | 4 |
| 理 | 4 |
| 医 | 5 |
| 歯 | 2 |
| 工 | 4 |
| 農 | 6 |
| 水 | 10 |

関東地区

| | |
|---|----|
| 法 | 1 |
| 教 | 0 |
| 理 | 4 |
| 医 | 2 |
| 歯 | 1 |
| 工 | 2 |
| 農 | 5 |
| 水 | 10 |

その他

| | |
|---|---|
| 法 | 2 |
| 教 | 0 |
| 理 | 2 |
| 医 | 1 |
| 歯 | 0 |
| 工 | 0 |
| 農 | 3 |
| 水 | 0 |

近畿地区

| | |
|---|----|
| 法 | 3 |
| 教 | 2 |
| 理 | 1 |
| 医 | 4 |
| 歯 | 3 |
| 工 | 5 |
| 農 | 6 |
| 水 | 13 |

四国地区

| | |
|---|---|
| 法 | 1 |
| 教 | 3 |
| 理 | 0 |
| 医 | 0 |
| 歯 | 4 |
| 工 | 3 |
| 農 | 1 |
| 水 | 5 |

沖縄

6

192 52 124 1,000 194 17 37 37 29 4 25 37 37

6

■大学院(志願者・受験者・合格者状況)

【修士課程・博士前期課程】

(平成21年度)

| 研究科 | 専攻等 | 入学定員 | 志願者数 | | | | 受験者数 | | | | 合格者数 | | | | 入学者数 | | | |
|-----------|------------|------|------|-----|-----|----|------|-----|-----|-----|------|-----|-----|-----|------|-----|-----|-----|
| | | | 一般 | 社会人 | 留学生 | 推薦 | 計 | 一般 | 社会人 | 留学生 | 推薦 | 計 | 一般 | 社会人 | | 留学生 | 推薦 | 計 |
| 人文社会科学研究科 | 法学 | 5 | 4 | 3 | - | 7 | 4 | 3 | - | 7 | 2 | 3 | - | 5 | 5 | | | |
| | 経済社会システム | 10 | 13 | 2 | 3 | 18 | 13 | 2 | 3 | 18 | 7 | 2 | 2 | 11 | 10 | | | |
| | 人間環境文化論 | 5 | 6 | 2 | 3 | 11 | 6 | 2 | 3 | 11 | 4 | 2 | 2 | 8 | 7 | | | |
| | 国際総合文化論 | 8 | 6 | 2 | 1 | 9 | 6 | 2 | 1 | 9 | 4 | 2 | 1 | 7 | 6 | | | |
| | 計 | 28 | 29 | 9 | 7 | 45 | 29 | 9 | 7 | 45 | 17 | 9 | 5 | 31 | 28 | | | |
| 教育学研究科 | 教育実践総合 | 38 | 36 | 7 | 8 | 51 | 35 | 7 | 8 | 50 | 31 | 7 | 6 | 44 | 39 | | | |
| 保健学研究科 | 看護学 | 12 | | 8 | - | 8 | | 8 | - | 8 | | 8 | - | 8 | 8 | | | |
| | 理学療法・作業療法 | 10 | 12 | 3 | - | 15 | 12 | 3 | - | 15 | 12 | 3 | - | 15 | 15 | | | |
| | 計 | 22 | 12 | 11 | - | 23 | 12 | 11 | - | 23 | 12 | 11 | - | 23 | 23 | | | |
| 理工学研究科 | 機械工学 | 50 | 54 | | 3 | 9 | 66 | 52 | | 3 | 9 | 64 | 46 | 2 | 9 | 57 | 56 | |
| | 電気電子工学 | 45 | 36 | | 4 | 10 | 50 | 34 | | 4 | 10 | 48 | 34 | 4 | 10 | 48 | 46 | |
| | 建築学 | 25 | 20 | | | 6 | 26 | 20 | | | 6 | 26 | 20 | | 5 | 25 | 22 | |
| | 化学生命・化学工学 | 42 | 71 | | 1 | 9 | 81 | 68 | | 1 | 9 | 78 | 67 | | 1 | 9 | 77 | 71 |
| | 海洋土木工学 | 18 | 20 | | 1 | 1 | 22 | 20 | | 1 | 1 | 22 | 19 | | 1 | 1 | 21 | 20 |
| | 情報生体システム工学 | 42 | 39 | | 3 | 9 | 51 | 37 | | 3 | 9 | 49 | 31 | | 2 | 9 | 42 | 41 |
| | 数理情報科学 | 14 | 15 | | | 1 | 16 | 12 | | | 1 | 13 | 12 | | | 1 | 13 | 11 |
| | 物理・宇宙 | 15 | 22 | | | 1 | 23 | 22 | | | 1 | 23 | 15 | | | 1 | 16 | 16 |
| | 生命化学 | 18 | 19 | | | - | 19 | 18 | | | - | 18 | 17 | | | - | 17 | 16 |
| | 地球環境科学 | 17 | 22 | | 1 | - | 23 | 20 | | 1 | - | 21 | 20 | | 1 | - | 21 | 19 |
| | 計 | 286 | 318 | | 13 | 46 | 377 | 303 | | 13 | 46 | 362 | 281 | | 11 | 45 | 337 | 318 |
| 農学研究科 | 生物生産学 | 26 | 18 | 1 | 3 | - | 22 | 18 | 1 | 3 | - | 22 | 17 | 1 | 2 | - | 20 | 18 |
| | 生物資源化学 | 21 | 25 | 1 | 1 | 4 | 31 | 25 | 1 | 1 | 4 | 31 | 24 | 1 | 1 | 4 | 30 | 22 |
| | 生物環境学 | 22 | 25 | 3 | | 7 | 35 | 22 | 3 | | 7 | 32 | 18 | 3 | | 7 | 28 | 23 |
| | 計 | 69 | 68 | 5 | 4 | 11 | 88 | 65 | 5 | 4 | 11 | 85 | 59 | 5 | 3 | 11 | 78 | 63 |
| 水産学研究科 | 水産学 | 32 | 25 | 2 | 5 | 25 | 57 | 25 | 2 | 5 | 25 | 57 | 25 | 2 | 5 | 17 | 49 | 42 |
| 医歯学総合研究科 | 医科学 | 20 | 22 | 5 | 1 | - | 28 | 21 | 5 | 1 | - | 27 | 21 | 5 | 1 | - | 27 | 23 |
| | 合計 | 495 | 510 | 39 | 38 | 82 | 669 | 490 | 39 | 38 | 82 | 649 | 446 | 39 | 31 | 73 | 589 | 536 |

(注)教育学研究科の「社会人」は、「現職教員等」を表す。

【博士課程・博士後期課程】

(平成21年度)

| 研究科 | 専攻 | 入学定員 | 志願者数 | | | | 受験者数 | | | | 合格者数 | | | | 入学者数 |
|-----------|-----------|------|------|-----|-----|-----|------|-----|-----|-----|------|-----|-----|-----|------|
| | | | 一般 | 社会人 | 留学生 | 計 | 一般 | 社会人 | 留学生 | 計 | 一般 | 社会人 | 留学生 | 計 | |
| 人文社会科学研究科 | 地域政策科学 | 6 | | 2 | | 6 | | 2 | | 6 | | 2 | | 6 | 6 |
| | | | | 4 | | 4 | | 4 | | 4 | | 4 | | 4 | |
| 保健学研究科 | 保健学 | 6 | 3 | 3 | | 6 | 3 | 3 | | 6 | 3 | 3 | | 6 | 6 |
| 理工学研究科 | 物質生産科学 | 8 | 2 | 1 | | 3 | 2 | 1 | | 3 | 2 | 1 | | 3 | 3 |
| | システム情報科学 | 8 | 3 | 1 | 4 | 8 | 2 | 1 | 4 | 7 | 2 | 1 | 4 | 7 | 7 |
| | 生命環境科学 | 8 | 8 | 4 | 2 | 14 | 8 | 4 | 2 | 14 | 8 | 4 | 2 | 14 | 14 |
| | 計 | 24 | 13 | 6 | 6 | 25 | 12 | 6 | 6 | 24 | 12 | 6 | 6 | 24 | 24 |
| 医歯学総合研究科 | 健康科学 | 36 | 9 | 6 | 2 | 17 | 9 | 6 | 2 | 17 | 9 | 6 | 2 | 17 | 17 |
| | 先進治療科学 | 58 | 20 | 8 | | 28 | 20 | 8 | | 28 | 20 | 8 | | 28 | 26 |
| | 計 | 94 | 29 | 14 | 2 | 45 | 29 | 14 | 2 | 45 | 29 | 14 | 2 | 45 | 43 |
| 連合農学研究科 | 生物生産科学 | 7 | 1 | 1 | 8 | 10 | 1 | 1 | 8 | 10 | 1 | 1 | 8 | 10 | 10 |
| | 応用生命科学 | 8 | 1 | 3 | 3 | 7 | 1 | 3 | 3 | 7 | 1 | 3 | 3 | 7 | 7 |
| | 農水圏資源環境科学 | 8 | 7 | | 9 | 16 | 7 | | 9 | 16 | 7 | | 9 | 16 | 16 |
| | 計 | 23 | 9 | 4 | 20 | 33 | 9 | 4 | 20 | 33 | 9 | 4 | 20 | 33 | 33 |
| | 合計 | 153 | - | - | - | 115 | - | - | - | 114 | - | - | - | 114 | 112 |

(注)人文社会科学研究科の下段は、進学者選考の数を表す。

【専門職学位課程】

(平成21年度)

| 研究科 | 専攻等 | 入学定員 | 志願者数 | | | | 受験者数 | | | | 合格者数 | | | | 入学者数 |
|----------|-------|------|------|-----|-----|----|------|-----|-----|----|------|-----|-----|----|------|
| | | | 一般 | 社会人 | 留学生 | 計 | 一般 | 社会人 | 留学生 | 計 | 一般 | 社会人 | 留学生 | 計 | |
| 司法政策研究科 | 法曹実務 | 30 | 51 | - | - | 51 | 42 | - | - | 42 | 27 | - | - | 27 | 14 |
| 臨床心理学研究科 | 臨床心理学 | 15 | 42 | | | 42 | 37 | | | 37 | 17 | | | 17 | 15 |
| | 合計 | 45 | 93 | | | 93 | 79 | | | 79 | 44 | | | 44 | 29 |

はじめに

組織

学部・大学院等

学生等

教育・研究・社会貢献活動

国際交流

財務

キャンパス

■卒業生数・就職状況

(平成21年5月1日現在)

| 学部 | 卒業生数 (累計) | 平成 20年度 卒業生数 | 就 職 状 況 | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------|--------------|--------------------|-------------|---------|--------------|--------------|--|--|-------|-----|-----|-------|-----|-----|-----|-----|-----|--------------|-----|
| | | | 就 職 希 望 者 数 | 就 職 者 数 | 就 職 率 (%) | 業 種 別 | | | | | | 地 区 別 | | | | | | | |
| | | | | | | 農 林 業 漁 業 | 建 設 製 造 電 気 ガ ス 水 道 情 報 通 信 運 送 卸 売 ・ 小 売 | 金 融 保 険 医 療 福 祉 教 育 学 習 サ ー ビ ス | 公 務 員 | 教 員 | 其 他 | 関 東 | 中 部 | 近 畿 | 中 国 | 四 国 | 九 州 | 鹿 児 島 県 内 | 其 他 |
| 法文学部 | 13,387 | 419 | 332 | 313 | 94.3 | | 130 | 119 | 30 | 7 | 27 | 79 | 6 | 15 | | | 78 | 135 | |
| 教育学部 | 17,028 | 273 | 213 | 169 | 79.3 | 1 | 17 | 35 | 20 | 90 | 6 | 11 | 3 | 1 | 2 | 1 | 35 | 116 | |
| 理学部 | 5,828 | 186 | 96 | 85 | 88.5 | | 39 | 25 | 12 | 6 | 3 | 20 | 4 | 2 | | | 30 | 28 | 1 |
| 医学部 | 5,533 | 219 | 112 | 109 | 97.3 | | 1 | 99 | 9 | | | 14 | 6 | 2 | 1 | 1 | 36 | 49 | |
| 歯学部 | 1,639 | 48 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 工学部 | 15,216 | 521 | 243 | 236 | 97.1 | | 187 | 38 | 10 | | 1 | 76 | 22 | 28 | 5 | 1 | 56 | 44 | 4 |
| 農学部 | 11,135 | 239 | 158 | 148 | 93.7 | 12 | 48 | 44 | 19 | 3 | 22 | 40 | 2 | 15 | 5 | 2 | 39 | 38 | 7 |
| 水産学部 | 6,748 | 145 | 94 | 89 | 94.7 | 7 | 49 | 14 | 11 | 2 | 6 | 26 | 3 | 9 | 5 | 4 | 23 | 19 | |
| (文理学部) | 2,651 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合 計 | 79,165 | 2,050 | 1,248 | 1,149 | 92.1 | 20 | 471 | 374 | 111 | 108 | 65 | 266 | 46 | 72 | 18 | 9 | 297 | 429 | 12 |

(注)1. 卒業生数(累計)は昭和24年5月本学設置以降の全数を計上した。ただし、医・工学部については昭和30年国立移管以降について計上した。
 2. 卒業生数は9月卒業生を含む。
 3. 医学部の就職状況は保健学科を表す。

■大学院修了生数

(平成21年5月1日現在)

| 研究科 | 修士課程・博士前期課程 | | 博士課程・博士後期課程 | | 専 門 職 学 位 課 程 | |
|------------|------------------|----------------|------------------|----------------|------------------|----------------|
| | 修 了 生 数 (累 計) | 平成20年度 修了生数 | 修 了 生 数 (累 計) | 平成20年度 修了生数 | 修 了 生 数 (累 計) | 平成20年度 修了生数 |
| 人文社会科学部研究科 | 381 | 33 | 8 | 2 | - | - |
| 教育学部研究科 | 522 | 32 | - | - | - | - |
| 保健学部研究科 | 113 | 13 | - | - | - | - |
| 医学部研究科※ | - | - | 563 | 9 | - | - |
| 工学部研究科 | 4,343 | 278 | 281 | 22 | - | - |
| 農学部研究科 | 1,697 | 68 | - | - | - | - |
| 水産学部研究科 | 967 | 29 | - | - | - | - |
| 医歯学総合研究科 | 63 | 18 | 63 | 27 | - | - |
| 司法政策研究科 | - | - | - | - | 68 | 22 |
| 臨床心理学研究科 | - | - | - | - | 15 | 15 |
| 連合農学研究科 | - | - | 547 | 32 | - | - |
| 法学研究科※ | 123 | - | - | - | - | - |
| 人文科学研究科※ | 120 | - | - | - | - | - |
| 理学研究科※ | 539 | - | - | - | - | - |
| 歯学研究科※ | - | - | 112 | - | - | - |
| 計 | 8,868 | 471 | 1,574 | 92 | 83 | 37 |

(注)1. 博士課程については、単位取得後退学した者は含まない。
 2. 印は旧研究科である。

はじめに

組織

学部・大学院等

学生等

教育・研究・
社会貢献活動

国際交流

財務

キャンパス

■学位授与状況

(平成21年5月1日現在)

| 研究科 | 修士課程・博士前期課程 | | 博士課程・博士後期課程 | | | | 専門職学位課程 | |
|-----------|-------------|----------|-------------|----------|-------|----------|---------|----------|
| | 累計 | 平成20年度授与 | 課程 | | 論文 | | 累計 | 平成20年度授与 |
| | | | 累計 | 平成20年度授与 | 累計 | 平成20年度授与 | | |
| 人文社会科学研究科 | 381 | 33 | 12 | 3 | - | - | - | - |
| 教育学研究科 | 522 | 32 | - | - | - | - | - | - |
| 保健学研究科 | 113 | 13 | - | - | - | - | - | - |
| 医学研究科 | - | - | 678 | 13 | 1,461 | 7 | - | - |
| 歯学研究科 | - | - | 136 | - | 71 | 1 | - | - |
| 理工学研究科 | 4,343 | 278 | 313 | 22 | 56 | 5 | - | - |
| 農学研究科 | 1,697 | 68 | - | - | - | - | - | - |
| 水産学研究科 | 967 | 29 | - | - | - | - | - | - |
| 医歯学総合研究科 | 63 | 18 | 66 | 27 | 1 | - | - | - |
| 司法政策研究科 | - | - | - | - | - | - | 68 | 22 |
| 臨床心理学研究科 | - | - | - | - | - | - | 15 | 15 |
| 連合農学研究科 | - | - | 656 | 44 | 117 | 10 | - | - |
| (法学研究科) | 123 | - | - | - | - | - | - | - |
| (人文科学研究科) | 120 | - | - | - | - | - | - | - |
| (理学研究科) | 539 | - | - | - | - | - | - | - |
| 計 | 8,868 | 471 | 1,861 | 109 | 1,706 | 23 | 83 | 37 |

(注)医学研究科については、昭和30年国立移管後の数を計上した。

■奨学生状況

(平成21年5月1日現在)

| 学部・研究科等 | 在学生数 | 日本学生支援機構 | | 各種団体 育英会 | 計 | 在学生に対する 百分率 | |
|--------------------------|-----------|----------|--------|-------------|-------|----------------|------|
| | | 第一種奨学生 | 第二種奨学生 | | | | |
| 学部 | 法文学部 | 1,830 | 291 | 610 | 41 | 942 | 51.5 |
| | 教育学部 | 1,228 | 155 | 404 | 16 | 575 | 46.8 |
| | 理学部 | 806 | 147 | 281 | 16 | 444 | 55.1 |
| | 医学部 | 1,106 | 135 | 356 | 25 | 516 | 46.7 |
| | 歯学部 | 335 | 46 | 103 | 2 | 151 | 45.1 |
| | 工学部 | 2,062 | 296 | 704 | 42 | 1,042 | 50.5 |
| | 農学部 | 1,109 | 140 | 354 | 26 | 520 | 46.9 |
| | 水産学部 | 598 | 67 | 198 | 8 | 273 | 45.7 |
| 計 | 9,074 | 1,277 | 3,010 | 176 | 4,463 | 49.2 | |
| 大学院 (修士課程・ 博士前期課程) | 人文社会科学研究科 | 66 | 8 | 2 | 10 | 15.2 | |
| | 教育学研究科 | 88 | 14 | 2 | 16 | 18.2 | |
| | 保健学研究科 | 52 | 6 | 1 | 7 | 13.5 | |
| | 理工学研究科 | 621 | 115 | 69 | 184 | 29.6 | |
| | 農学研究科 | 137 | 24 | 11 | 35 | 25.5 | |
| | 水産学研究科 | 73 | 7 | 9 | 16 | 21.9 | |
| | 医歯学総合研究科 | 45 | 7 | 3 | 10 | 22.2 | |
| | 計 | 1,082 | 181 | 97 | 278 | 25.7 | |
| 大学院 (博士課程・ 博士後期課程) | 人文社会科学研究科 | 23 | - | - | - | - | |
| | 保健学研究科 | 25 | - | 1 | 1 | 4.0 | |
| | 理工学研究科 | 84 | 18 | 2 | 20 | 23.8 | |
| | 医歯学総合研究科 | 375 | 21 | 7 | 28 | 7.5 | |
| | 連合農学研究科 | 121 | 17 | - | 17 | 14.0 | |
| | 医学研究科 | 44 | - | - | - | - | |
| 計 | 672 | 56 | 10 | 66 | 9.8 | | |
| 大学院 (専門職学位課程) | 司法政策研究科 | 71 | 22 | 16 | 38 | 53.5 | |
| | 臨床心理学研究科 | 30 | 4 | 3 | 7 | 23.3 | |
| 合計 | 10,929 | 1,540 | 3,136 | 176 | 4,852 | 44.4 | |

<備考：奨学金月額>

日本学生支援機構(平成21年度入学者)

- 第一種奨学生 学部生：自宅通学30,000・45,000円/自宅外通学30,000・51,000円
大学院生：修士・博士前期課程50,000・88,000円/博士後期課程80,000・122,000円
- 第二種奨学生 学部生：30,000・50,000・80,000・100,000円・120,000円
大学院生：50,000・80,000・100,000・130,000円・150,000円
- 各種団体育英会 10,000～55,000円

はじめに

組織

学部・大学院等

学生等

教育・研究・
社会貢献活動

国際交流

財務

キャンパス

■附属学校

【教育学部附属幼稚園】

(平成21年5月1日現在)

| 附属幼稚園 | 入園定員 | 現 員 | | | | 学 級 数 |
|-------|------|-----|-----|-----|----|--------------------------|
| | | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 計 | |
| 3年保育 | 20 | 20 | 32 | 34 | 86 | 3歳児、4歳児、5歳児 各1学級 計3学級 |
| 2年保育 | 15 | | | | | |
| 計 | | | | | | |

(注)4歳児は3年保育進級児と2年保育入園児、5歳児は4歳児の進級児

【教育学部附属小学校】

(平成21年5月1日現在)

| 附属小学校 | 学級区分 | 入学定員 | 現 員 | | | | | | 学 級 数 | |
|-------|------|------|-----|-----|-----|-----|-----|----------|-------|--------------|
| | | | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | | 計 |
| 単式学級 | | 160 | 159 | 160 | 158 | 150 | 153 | 151 | 931 | 各学年4学級 計24学級 |
| 複式学級 | 1年 | 8 | 8 | | | | | | 48 | 1・2年で1学級 |
| | 2年 | 8 | | 8 | | | | | | |
| | 3年 | 8 | | | 8 | | | 5・6年で1学級 | | |
| | 4年 | 8 | | | | 8 | | | | |
| | 5年 | 8 | | | | | 8 | | | |
| | 6年 | 8 | | | | | | | | 8 |
| 計 | | 168 | 167 | 168 | 166 | 158 | 161 | 159 | 979 | 計27学級 |

【教育学部附属中学校】

(平成21年5月1日現在)

| 附属中学校 | 学級区分 | 入学定員 | 現 員 | | | 学 級 数 | |
|-------|------|------|-----|-----|-----|-------|--------------|
| | | | 1年 | 2年 | 3年 | | 計 |
| 普通学級 | | 200 | 200 | 199 | 197 | 596 | 各学年5学級 計15学級 |

【教育学部附属特別支援学校】

(平成21年5月1日現在)

| 附属特別支援学校 | 学級区分 | 入学定員 | 現 員 | | | | | | 学 級 数 | |
|----------|------|------|-----|----|----|----|----|----|-------|--|
| | | | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | | 計 |
| 小学部 | | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 18 | 1・2学年で1学級 3・4学年で1学級 計3学級 5・6学年で1学級 |
| 中学部 | | 6 | 6 | 6 | 6 | - | - | - | 18 | 各学年1学級 計3学級 |
| 高等部 | | 8 | 8 | 8 | 8 | - | - | - | 24 | 各学年1学級 計3学級 |

はじめに

組織

学部・大学院等

学生等

教育・研究・
社会貢献活動

国際交流

財務

キャンパス

■文部科学省教育支援プログラム等

| プログラム名 | テーマ | 部局名(事業実施) | 平成21年度配分予定額(単位:千円) | 年度 |
|----------------------------|--|--|---------------------|-----------|
| 戦略的大学連携支援事業 | 鹿児島はひとつのキャンパス ～地域のリーダー養成のための大学連携 と総合教育の構築～ | 学生部 (参加校:鹿屋体育大学、 鹿児島国際大学、鹿児島純 心女子大学、志学館大学、 第一工業大学、鹿児島県立 短期大学、鹿児島国際大学 短期大学部、鹿児島純心女 子短期大学、鹿児島女子短 期大学、第一幼児教育短期 大学、鹿児島工業高等専門 学校) | 85,000 | 平成20～22年度 |
| 質の高い大学教育支援プログラム | 学生主導型ゼミによる地域課題政策教育 | 法文学部 (主管大学:熊本大学) | 19,000 (グループ全体) | 平成20～22年度 |
| 理数学生応援プロジェクト | インテンシブ理数教育 特別プログラム推進事業 | 理学部 | 15,980 | 平成20～23年度 |
| 派遣型高度人材育成協同プラン | 食の安全マネージャー養成プログラム | 農学研究科 | 8,284 | 平成17～21年度 |
| 社会人の学び直しニーズ対応 教育推進プログラム | 高度林業生産システムを実現する「林業 生産専門技術者」養成プログラム | 農学研究科 | 14,553 | 平成19～21年度 |
| がんプロフェSSIONAL養成プラン | 九州がんプロフェSSIONAL養成プラン | 医歯学総合研究科等 (主管大学:九州大学) | 125,506 (グループ全体) | 平成19～23年度 |
| 専門職大学院等教育推進プログラム | 臨床心理実習における客観的評価方法の 構築 | 臨床心理学研究科 | 19,000 | 平成20～21年度 |

■独立行政法人科学技術振興機構理数教育支援

| 事業名 | テーマ | 部局名 | 平成21年度配分予定額(単位:千円) | 年度 |
|---------------------------------------|---|---|--------------------|-----------|
| 理数系教員 (コアサイエンス・ティーチャー) 養成拠点構築事業 | 実践的コア・サイエンス・ ティーチャー養成スクールと 活動拠点構築プロジェクト | 理工学研究科、農学研究科、水産学研究 科、教育学研究科、鹿児島県教育委員会、 鹿児島県総合教育センター、鹿児島市 教育委員会 | 27,900 | 平成21～24年度 |

■特別教育研究経費

| 区分 | 事業名 | 部局名(実施主体) | 平成21年度 運営費交付金予算額 (単位:千円) | 事業期間 |
|------|--|-----------|--------------------------------|-----------|
| 教育改革 | 水圏環境・食資源・島嶼医療分野で国際的に活 躍できる高度専門能力及び技術経営能力を備え た人材の育成 | 国際戦略本部 | 20,402 | 平成18～21年度 |
| | 県教育委員会との連携による新しい教員養成力 リキュラムの開発・実施 | 教育学部 | 4,151 | 平成19～21年度 |
| | 離島へき地医療人育成センターの設置 | 医歯学総合研究科 | 36,286 | 平成19～23年度 |
| 研究推進 | 麹の機能性解明と健康食品素材への応用開発 | 農学部 | 43,200 | 平成21～23年度 |
| | 「運び屋」による動く遺伝子ゲノム侵入機構の解 明と汎用型遺伝子導入ベクターの開発 | 農学部 | 10,000 | 平成21～25年度 |
| | HTLV-1 関連疾患に対する発症予防と治療法 確立に関する研究 | 医歯学総合研究科 | 26,000 | 平成20～22年度 |
| | 連携機能を活用した口腔からQOL向上を目指す 研究 | 医歯学総合研究科 | 10,000 | 平成21～24年度 |

はじめに

組織

学部・大学院等

学生等

教育・研究・
社会貢献活動

国際交流

財務

キャンパス

■拠点形成教育研究プロジェクト

| プロジェクト名 (研究分野) | 担当・部局 | 事業担当 教員数 | 概要 |
|---|--|-------------|---|
| ディシプリンとしての “シマ学”の創出 (地域研究) | 人文社会科学研究科 研究科長 木部 暢子 拠点リーダー 教授 木部 暢子 | 11 | 本プログラムは、「鹿児島大学憲章」に謳われる「海と火山と島々からなる豊かな自然環境に恵まれた地にある」という地理的特性を踏まえ、“シマ学”という総合的な学の創出を通して、混迷する現代社会に的確な現状理解と未来展望を提言しうる、国際的な島嶼研究の拠点形成を目指すものである。そのために、1.「シマ」のもつ可能性と魅力の全体を内と外から複眼的に解明する、「総合」的な研究体系(ディシプリン)としての“シマ学”を創出する、2. 国内外から広く若手研究者を公募し、“シマ学”のもつ総合的・複眼的な問題認識・方法論の訓練(ディシプリン)を行う、3. 研究機関・研究者だけでなく、地域および世界に対して研究の成果を積極的に発信する、という3つの目的を設定し、これを実行する。 |
| 環境エネルギー工学教育 研究拠点 (総合工学) | 理工学研究科 研究科長 福井 泰好 拠点リーダー 教授 甲斐 敬美 | 11 | 環境とエネルギーの問題は深く関わっており、これらの問題を解決するには、双方の分野の知識を身につけた上で新しい発想ができる工学技術者が不可欠である。また、さまざまな現象を解析し、最適なシステムの構築ができる力を養わなければ、現実の問題を解決することはできない。本拠点は、持続可能な社会の構築に向けたエネルギーおよび環境の問題解決に関する教育研究を行うための学術大系の構築と、実践的な行動により問題解決ができる技術者等の人材を育成する教育研究拠点形成を目的とする。そのために、環境と調和した化学プロセスの開発、エネルギー資源を有効利用するシステムの構築、高度な機能をもつ材料の開発の3分野において、実証研究を中心に教育研究を推進する。 |
| 「海洋環境の知的デザイン」 ～海洋科学と土木工学の 融合・先鋭化戦略～ (土木工学) | 理工学研究科 研究科長 福井 泰好 拠点リーダー 教授 武若 耕司 | 23 | 18世紀の産業革命以降の人類の過剰な生産活動は、生活の水準を大きく向上させる一方で、地球規模での生態系の大きな歪みをもたらしており、特に、海洋環境の大きな変化がその最大の原因であるといわれている。理工学研究科海洋土木工学専攻では、同研究科の理系専攻、連合農学研究科、水産学研究科、人文社会科学研究科、ならびに外部連携機関である(独)港湾空港技術研究所の協力を得て、海洋科学と土木工学を融合・先鋭化した新たな研究・教育分野として「海洋総合理工学」を構築し、人間活動と自然環境との共存を実現する真の「海洋環境の知的デザイン」を達成する拠点形成を目指している。また、インドやマレーシアなどの大学とも連携し、学際的かつグローバルなセンスを持つ新たな人材を育成するとともに、得られた研究成果を環境悪化が懸念されるアジア沿岸環境の知的デザインに活用することも目指す。 |
| 宇宙と生命 ー銀河生命環境の探求 (宇宙科学・天文学) | 理工学研究科 研究科長 福井 泰好 拠点リーダー 教授 面高 俊宏 | 23 | 私たちが住む天の川銀河系を、VERA(銀河系広域精密測距儀)および国内外の巨大天体観測装置群を用いて精密に探査し、銀河構造と進化および活動の解明を行う。 これら天体観測データと解析のもとで、銀河天文学・宇宙科学の高度な研究教育を推進する。また銀河系における星間物質の研究、恒星進化についての研究を行う。天文学・天体物理学の基礎に立って、惑星形成と、惑星における宇宙生命の発生環境について考察し、太陽系と惑星地球における生命起源を解明する。さらに、人類の宇宙移住という壮大な夢の実現に向けて宇宙空間環境における宇宙医学および宇宙生命科学の研究教育を推進する。 |
| ポストゲノム時代の 心と体のリハビリ拠点 ー地域・都市交流による 健康社会創生 (内科系臨床医学) | 医歯学総合研究科 研究科長 松山 隆美 拠点リーダー 教授 乾 明夫 | 16 | 鹿児島大学は温暖な気候、特色ある自然、豊かな食文化、スローライフなどを背景に、心身医学、リハビリテーション、島嶼医療の拠点として活動してきた。本プロジェクトでは、ポストゲノム時代にふさわしい心と体の癒し・食・創薬研究のために、産・官・学が連携した国際拠点を形成する。霊長類を用いた食・情動の分子レベルの解析、分子・行動・心理や先端脳画像から見た心身症の病態解析、ロボット工学の医療応用など、異分野融合の先端研究・個別化医療を推進する。自然科学、社会・人文、医学系にまたがるグローバルな拠点形成にふさわしい多様な人材を育成する目的で、大学院に統合生命、統合医療のダブルコースを有する国際統合生命科学研究コースを設置している。 |
| 熱帯林生物資源の 持続的利用による 地方自立学の構築 (森林生態学) | 連合農学研究科 研究科長 菅沼 俊彦 拠点リーダー 教授 米田 健 | 16 | アジア熱帯圏においては、経済のグローバル化と高い人口増加率を背景に、森林資源への依存度が高止まりし、熱帯林の劣化スパイラルが続いている。木材資源の枯渇、未利用有用資源の消失は、温暖化問題とともに世界が直面している深刻な問題である。熱帯林資源を持続的に利用する生産基盤の構築により、劣化から再生スパイラルへ切り替えることが重要である。森林生態系の構成者である植物、動物、微生物、土壌の専門家、さらには利用面から木材生産・加工、非木材林産物さらに社会学の専門家が連携し、1) 熱帯生物資源の持続的利用の推進を担える人材養成と、2) 熱帯林の保全研究、資源利用技術開発、資源開発研究の拠点形成により、熱帯林資源の持続的利用に根ざした地方自立学の構築を目指す。 |
| 環境変動に適應する 島嶼環境学の 教育研究拠点形成 (農学) | 連合農学研究科 研究科長 菅沼 俊彦 拠点リーダー 教授 野呂 忠秀 | 24 | 鹿児島以南の南西諸島に代表される島嶼域は、環境や社会経済活動の影響を最も受けやすく、地球温暖化のように人類が直面している諸問題を研究するために最適なフィールドである。本プロジェクトは大学内の学部や研究センターが協力してこの問題に取り組み、新たな「新島嶼環境学」の構築を目指すものである。具体的には、①多様性維持機構の解明【多様性システム研究領域】、②環境変動が島嶼に与える影響の検討と適応策の提言【環境変動共生研究領域】、③その適応策を島嶼で実践する【島嶼適応研究領域】の学融的研究領域が連携して、奄美諸島や南太平洋諸国などの持続的発展を見据えた研究を行なう。 |

はじめに

組織

学部・大学院等

学生等

教育・研究・社会貢献活動

国際交流

財務

キャンパス

■リポジトリ

(平成21年4月1日現在)

| 学 部 等 | 論 文 数 |
|-------------------------|-------|
| 法 文 学 部 | 313 |
| 教 育 学 部 | 1,264 |
| 理 学 部 | 566 |
| 歯 学 部 | 106 |
| 工 学 部 | 270 |
| 農 学 部 | 2,051 |
| 水 産 学 部 | 146 |
| 理 工 学 研 究 科 | 27 |
| 医 歯 学 総 合 研 究 科 | 41 |
| 連 合 農 学 研 究 科 | 23 |
| 学 内 共 同 教 育 研 究 施 設 等 | 145 |
| 山 口 大 学 連 合 獣 医 学 研 究 科 | 2 |
| 計 | 4,954 |

(注)鹿児島大学の研究成果(学術論文、紀要論文、博士論文等)をデータベース(機関リポジトリ)に恒久的に保存し、インターネットを通じて一般公開している。
<http://ir.kagoshima-u.ac.jp>

■学術刊行物

| 学 部 | 刊 行 物 | 発 行 回 数 |
|-------------------------|--|---------|
| 法 文 学 部 | 鹿児島大学法文学部紀要(法学論集、経済学論集、人文学科論集) | 年 2 回 |
| | 鹿児島大学法文学部国語国文学会誌(国語国文薩摩路) | 年 1 回 |
| | 鹿大史学会誌(鹿大史学) | 年 1 回 |
| | 鹿児島大学英文学会誌(鹿大英文学) | 年 1 回 |
| | 地域政策科学研究 | 年 1 回 |
| 教 育 学 部 | 鹿児島大学教育学部研究紀要(人文・社会科学編、自然科学編、教育学編) | 年 1 回 |
| | 鹿児島大学教育学部教育実践研究紀要 | 年 1 回 |
| | 鹿児島大学教育学部附属幼稚園研究誌 | 年 1 回 |
| | 鹿児島大学教育学部附属小学校研究紀要 | 年 1 回 |
| | 鹿児島大学教育学部附属中学校研究紀要 | 年 1 回 |
| | 鹿児島大学教育学部附属特別支援学校研究紀要 | 隔 年 1 回 |
| 理 学 部 | 鹿児島大学理学部紀要 | 年 1 回 |
| 医 学 部 | 鹿児島大学医学雑誌 | 年 3 回 |
| | 鹿児島大学医学部保健学科紀要 | 年 1 回 |
| 歯 学 部 | 鹿児島大学歯学部紀要 | 年 1 回 |
| 工 学 部 | 鹿児島大学工学部研究報告 | 年 1 回 |
| 農 学 部 | 鹿児島大学農学部学術報告 | 年 1 回 |
| | Memoirs of the Faculty of Agriculture Kagoshima University | 不 定 期 |
| | 鹿児島大学農学部農場研究報告 | 年 1 回 |
| | 鹿児島大学農学部農場技術調査報告書 | 隔 年 1 回 |
| | 鹿児島大学農学部農場年報 | 年 1 回 |
| 鹿児島大学農学部演習林研究報告 | 年 1 回 | |
| 水 産 学 部 | 鹿児島大学水産学部紀要 | 年 1 回 |
| 多 島 圏 研 究 セ ン タ ー | 南太平洋研究 | 年 2 回 |
| | 南太平洋海域調査研究報告 | 不 定 期 |
| 留 学 生 セ ン タ ー | 年報 | 年 1 回 |
| 総 合 研 究 博 物 館 | 鹿児島大学総合研究博物館研究報告 | 不 定 期 |
| | 鹿児島大学総合研究博物館モノグラフ | 不 定 期 |
| 学 術 情 報 基 盤 セ ン タ ー | 年報 | 年 1 回 |
| 生 涯 学 習 教 育 研 究 セ ン タ ー | 年報 | 年 1 回 |
| 教 育 セ ン タ ー | 年報 | 年 1 回 |

はじめに

組 織

学 部・大 学 院 等

学 生 等

教 育・研 究・社 会 貢 献 活 動

国 際 交 流

財 務

キ ャ ン パ ス

協定

| 協定名 | 協定締結年月日 |
|--|-------------|
| 与論町地域再生計画に伴う旧与論町立診療所の施設設備等の活用に係わる施設の賃貸借料に関する協定 | 平成17年 2月14日 |
| 社団法人鹿児島県工業倶楽部との包括連携協力協定 | 平成17年10月21日 |
| 鹿児島県酒造組合連合会との包括連携協力協定 | 平成18年 3月 9日 |
| 奄美市との包括連携協定 | 平成18年 3月13日 |
| 日本政策投資銀行との連携協定 | 平成18年 5月31日 |
| 徳之島町と国立大学法人鹿児島大学とのヘルシーブランド事業計画の実施に関する協定 | 平成19年11月19日 |
| 鹿児島市と国立大学法人鹿児島大学との包括連携に関する協定 | 平成19年11月30日 |
| 株式会社鹿児島銀行と国立大学法人鹿児島大学との農業経営管理システム開発事業に関する連携協定 | 平成20年11月28日 |
| 社団法人鹿児島青年会議所と国立大学法人鹿児島大学との包括連携に関する協定 | 平成20年12月26日 |
| 垂水市と国立大学法人鹿児島大学との包括連携に関する協定 | 平成21年 1月27日 |
| 財団法人横浜企業経営支援財団との産学連携に関する協定 | 平成21年 5月28日 |

寄附講座

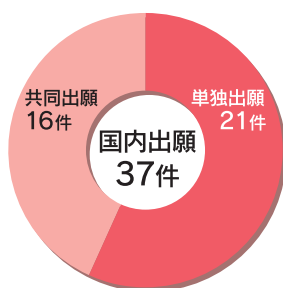
| 部局名 | 講座名 | 設置期間 | 寄付者名 | 主な研究内容等 |
|----------|------------|------------------------|------------------|--|
| 医歯学総合研究科 | 医療関節材料開発講座 | 平成18年6月1日～平成23年5月31日 | 日本メディカルマテリアル(株) | ●人工股関節の開発 ●人工骨頭手術におけるQOL評価 ●最小侵襲手術手技(MIS)の確立と器具の開発 |
| | 心筋症病態制御講座 | 平成18年11月1日～平成21年10月31日 | ジェンザイム・ジャパン(株) | ●心筋症の疫学、病態、診断および治療に関する研究 |
| 農学部 | 焼酎学講座 | 平成18年4月1日～平成23年3月31日 | 鹿児島県 鹿児島県酒造組合 | ●焼酎文化と技術の継承者の育成 ●薩摩焼酎の継続的発展 ●焼酎クラスターの発展 |

文部科学省科学技術振興調整費「地域再生人材創出拠点の形成」プログラム

| 課題名(年度) | 平成21年度配分予定額(単位:千円) | 概要等 |
|----------------------------|--------------------|--|
| かごしまルネッサンスアカデミー(平成18～22年度) | 49,400 | <p>(目的等) 食産業従事者等の社会人を対象として、鹿児島県の醸造や発酵を中心とする食文化の創造と食産業の発展に寄与し、地域の再生に資する人材を育成する。本アカデミーは、鹿児島県や県内の多くの企業・団体の協力を得て運営している。</p> <p>(カリキュラム)</p> <p>食の安全管理コース(定員:10名) ●醸造・発酵関連の食品産業における安全と品質管理等に関する高度技術を持つ人材の養成</p> <p>経営管理コース(定員:10名) ●急速な技術革新や市場ニーズの変化に戦略的に対応できる技術マネジメント力を持つ人材の養成</p> <p>健康・環境・文化コース(定員:30名) ●歴史・文化、環境をはじめ、健康・長寿の基礎知識など、食を中心とした鹿児島の魅力を情報発信できる人材の養成</p> |

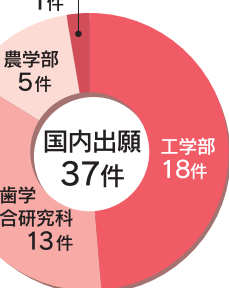
知的財産管理状況

〈平成20年度 出願状況〉

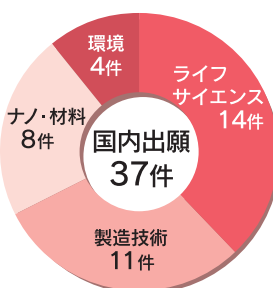


〈単独出願・共同出願別〉

理学部 1件



〈学部別〉



〈研究分野別〉

〈平成20年度末 特許保有件数〉

| | 登録済 | 出願中 | 合計 |
|----|-----|-----|-----|
| 国内 | 18 | 265 | 283 |
| 外国 | 12 | 112 | 124 |

〈平成20年度 ライセンス実績件数〉

| | |
|-----------|----------|
| 特許 | 4 |
| ソフトウェア | 1 |
| マテリアル | 2 |
| 合計 | 7 |

■平成21年度公開講座等実施計画

(平成21年4月1日現在)

| 講座名 | 学部 | 開催期間 | 時間帯 | 時間数 | 講習料(円) | 受講対象者 | 募集人員(人) | 開催場所 |
|---|-------------------------|--------------------------------------|----------------------------|-----|----------------------|-----------------------------------|---------|----------------------------|
| ヨーロッパ社会の現在(仮) | 法文学部 | 8/29~9/19 (各土曜日=予定) | 13:00~14:30 | 6 | 無料 | 社会人 | 50 | 総合教育研究棟(予定) |
| 足下に埋まった鹿児島の歴史 ~鹿児島をめぐる考古学の世界~ | 法文学部 | 12/5(土) | 13:00~16:30 | 3.5 | 無料 | 高校生 | 150 | 総合教育研究棟 102号教室 |
| 授業に活かすコンピュータとインターネット | 教育学部 | 8/3(月)~8/4(火) | 9:00~16:20 | 12 | 6,400 | 現場教員等の教育関係者 | 35 | 教育学部附属教育 実践総合センター |
| 教育臨床実践セミナー | 教育学部 | 8/5(水)~8/6(木) (2日間) | 9:00~16:20 | 12 | 6,400 | 現職教員を中心とした教育関係者 | 60 | 鹿児島大学 都元キャンパス |
| 理学療法士・作業療法士のためのやさしい生体力学 | 医学部 | 6/20(土) 7/4(土) | 13:30~16:30 | 6 | 3,200 | 理学療法士、作業療法士など | 30 | 医学部保健学科共通教育棟 4階402講義室 |
| 子どもの虐待と支援のあり方 | 医学部 | 6/26(金) | 13:00~16:00 | 3 | 無料 | 児童虐待に関心のある方 (一般、専門職、学生など) | 50 | 医学部保健学科共通教育棟 インテリジェント教室 |
| ストーマリハビリテーションの基本 | 医学部 | 7/4(土) | 9:00~17:00 | 6.5 | 5,400 | 保健師、助産師、看護師、准看護師 | 50 | 医学部保健学科 共通教育棟・研究棟 |
| Active Aging-リハビリテーションからケアまで- (霧島市牧園町) | 医学部 | 8/2(日) | 9:30~16:30 | 6 | 5,200 | 医師、看護師、保健師、理学・ 作業療法士、ヘルパー、市民 | 100 | 霧島リハビリテー ションセンター |
| 『高齢者の介護』 | 医学部 | 8/29(土) | 13:00~18:00 | 5 | 5,000 | 医療従事者・福祉関係者 | 40 | 医学部保健学科 東研究棟2F |
| 筋萎縮性側索硬化症(ALS)療養者の在宅支援 | 医学部 | 9/12(土) | 9:30~17:00 | 6.5 | 5,400 | 看護職者 | 40 | 医学部保健学科 研究棟:601号教室 |
| リハビリテーション看護- "最後までその人らしく"を支える | 医学部 | 9/5(土) | 9:30~16:30 | 6 | 5,200 | 看護職者 | 30 | 医学部保健学科 研究棟 |
| Active Aging-リハビリテーションからケアまで- (鹿児島市) | 医学部 | 9/27(日) | 9:30~16:30 | 6 | 5,200 | 医師、看護師、保健師、理学・作 業療法士、ヘルパー、市民一般 | 100 | 医学部鶴陵会館 |
| 看護研究の基礎およびデータ解析入門 | 医学部 | 10/24(土) | 13:00~17:00 | 4.5 | 5,000 | 看護職者 | 30 | 医学部保健学科 研究棟 |
| Active Aging-リハビリテーションからケアまで- (那覇市) | 医学部 | 11/8(日) | 9:30~16:30 | 6 | 5,200 | 医師、看護師、保健師、理学・作 業療法士、ヘルパー、市民 | 100 | 沖縄県立看護大学 (予定) |
| 歯科臨床における インфекションコントロールのレベルアップ | 歯学部 | 11/29(日) | 13:00~18:00 | 5 | 歯科医3,000 衛生士1,000 | 歯科医師、歯科衛生士 | 未定 | 鹿児島県 歯科医歯会館 |
| 我々の暮らしを支える土木 | 工学部 | 8/5(水) | 8:50~16:00 | 6 | 未定 | 一般 | 20 | 工学部 海洋土木工学科 |
| 森林環境教育ワークショップinたかくま | 農学部 | 8/4(火)~8/6(木) (2泊3日) | 8/4 9:30~ 8/6 15:30 | 20 | 無料 | 教員および森林環境教育に関心のある方 | 23 | 高隈演習林 |
| 動物の生命(いのち)と人との係わり | 農学部 | 8/6(木)~8/8(土) | 10:30~12:00 | 6 | 無料 | 高校生(一般社会人も可) | 参加自由 | 農学部共通教育棟 204号教室 |
| 生物学から見た食の安全と危険 (遺伝子導入作物とクローン家畜) | 農学部 | 10/3(土) | 13:30~17:00 | 4 | 無料 | 高校生から一般社会人 | 50 | 農学部共通教育棟 2階201号教室 |
| 第5回 海岸へ行こう | 水産学部 | 10/17(土)~11/8(日) (休日(1日)を予定) | 9:00~17:00 | 8 | 無料 | 小学生とその保護者 | 50 | 県内の海岸 |
| 原始古代の南島墓 | 埋蔵文化財調査室 | 8/8(土) | 13:30~15:30 | 2 | 未定 | 中学生以上の学生および社会人 | 50 | 未定 |
| 夏休み体験学習「放射線ってどんなもの？」 | フロンティアサイエンス 研究支援センター | 8/8(土) | 10:00~15:00 | 4 | 無料 | 小・中学生・保護者・教員 | 20 | FSRC遺伝子実験施設 |
| 子育てママのためのしいものづくり講座 おためし編(託児付き) | 生涯学習教育 研究センター | 4/3(金) | 10:00~11:30 | 1.5 | 無料 | 子育て中の母親 | 15 | サンエールかごしま |
| 親子孫で分子の模型をつくろう | 生涯学習教育 研究センター | 4/11(土)・5/9(土) 6/13(土)・7/11(土) | 10:00~11:30 | 6 | 2,000 | 小中学生とその保護者 | 12 | かごしま環境未来館 |
| 子育てママのためのしいものづくり講座 (託児付き) | 生涯学習教育 研究センター | 5/15(金)・6/19(金) 7/31(金)・8/21(金) | 10:00~11:30 | 6 | 2,000 | 子育て中の母親 | 15 | サンエールかごしま |
| 親子孫でたのしい仮説実験講座 in霧島 | 生涯学習教育 研究センター | 7/25(土)~26(日) | 10:00~11:30 | 6 | 3,200 | 小中学生とその保護者 | 20 | 霧島市シビックセンター |
| 親子孫でたのしい仮説実験講座 | 生涯学習教育 研究センター | 7/29(水) | 10:00~13:00 | 3 | 3,200 | 小中学生とその保護者 | 20 | 鹿児島市立科学館 |
| たのしい授業入門講座 | 生涯学習教育 研究センター | 8/17(月)~18(火) | 10:00~12:30 | 5 | 3,000 | 小中高校の教員および一般社会人 | 50 | 鹿児島大学 都元キャンパス |
| 親子孫でたのしい仮説実験講座 | 生涯学習教育 研究センター | 8/22(土)~8/23(日) | 10:30~15:00 | 6 | 3,200 | 小中学生とその保護者 | 14 | 鹿児島大学 都元キャンパス |
| 親子孫で分子の模型をつくろう(中級編) | 生涯学習教育 研究センター | 10/10(土)・11/14(土) 12/12(土) | 10:00~11:30 | 4.5 | 3,000 | 小中学生とその保護者 | 12 | 鹿児島大学 都元キャンパス |
| 大道仮説実験1 | 生涯学習教育 研究センター | 4/12(日)・5/10(日) 6/14(日)・7/12(日) | 14:00~14:30 15:00~15:30 | 4 | 無料 | 小中学生とその保護者 | 20 | 鹿児島市立科学館 |
| 大道仮説実験2 | 生涯学習教育 研究センター | 10/11(日)・11/8(日) 12/13(日)・1/10(日) | 14:00~14:30 15:00~15:30 | 4 | 無料 | 小中学生とその保護者 | 20 | 鹿児島市立科学館 |
| コミュニケーションスキルアップ公開講座1 | 生涯学習教育 研究センター | 4月~9月(全2回) | 9:00~12:00 | 6 | 5,000 | 一般社会人 | 20 | 垂水市役所 |
| コミュニケーションスキルアップ公開講座2 | 生涯学習教育 研究センター | 4月~9月(全2回) | 13:00~16:30 | 6 | 5,000 | 一般社会人 | 20 | 垂水市役所 |
| 住民の豊かな暮らしと地域づくり (リカレント講座) | 生涯学習教育 研究センター | 4月~9月(全3回) | 13:00~16:30 | 9 | 5,800 | 一般社会人 | 10 | 垂水市役所 |
| 住民の豊かな暮らしと地域づくり1 (リカレント講座) | 生涯学習教育 研究センター | 未定(全1回) | 13:30~15:30 | 2 | 2,400 | 一般社会人 | 20 | 大野地区公民館 |
| 住民の豊かな暮らしと地域づくり2 (リカレント講座) | 生涯学習教育 研究センター | 未定(全1回) | 13:30~15:30 | 2 | 2,400 | 一般社会人 | 20 | 大野地区公民館 |
| 住民の豊かな暮らしと地域づくり3 (リカレント講座) | 生涯学習教育 研究センター | 未定(全1回) | 13:30~15:30 | 2 | 2,400 | 一般社会人 | 20 | 大野地区公民館 |
| 住民の豊かな暮らしと地域づくり (基礎教養講座) | 生涯学習教育 研究センター | 未定(全1回) | 13:30~16:30 | 3 | 2,600 | 一般社会人 | 35 | 大野地区公民館 |
| 親子で冒険 かごしまの海と山 | 生涯学習教育 研究センター | 山編 7/29(水) 海編 7/31(金) | 9:30~16:30 | 14 | 4,800 | 子どもとその保護者 (小学生4年生以上) | 10 | 錦江湾、高隈演習林 |

はじめに

組織

学部・大学院等

学生等

教育・研究・
社会貢献活動

国際交流

財務

キャンパス

シニア短期留学

「シニア短期留学」は、県外の50歳以上の社会人を対象にした特別講座で、参加者は鹿児島に2週間滞在し、鹿児島の文化、歴史、地理を学ぶ。午前中は主に学内で講義を受講し、午後からは現地での巡検を行う。県外のシニア層を対象としたこの特別講座は、平成17年に琉球大学が初めて実施し、本学においても、翌平成18年度から生涯学習教育研究センターが主管となって実施し、毎回、南九州を代表する総合大学・鹿児島大学としての特色を活かしたプログラムを提供している。

平成21年度は、鹿児島県、鹿児島市、地元NPO法人、旅行企画会社などと連携して、11月に開催の予定。今年は、南国、鹿児島の自然と歴史を、〈食〉を切り口に講義する。鹿児島の焼酎や地元の伝統料理、鹿児島の地質と農業、市内の銭湯のほとんどが温泉という温泉めぐりなど、「鹿児島自慢」も体験してもらう。地元のNPO法人「鹿児島探検の会」や、鹿児島大学で学ぶ社会人学生「かごしまルネッサンスアカデミー」の案内で、天文館の散策、郷土料理の実習、武家屋敷と特攻基地だった知覧への訪問など、午後からのアクティビティーも多彩に取り入れる。



シニア短期留学▶



鹿児島大学大学院奄美サテライト教室(奄美市・徳之島町)

平成16年度、全国にも例のない離島でのサテライト教室が奄美市(旧名瀬市)に設置された。離島地区に高度専門教育サービスを提供することを目的として、平成19年度には徳之島町に分室を展開している。平成21年度は、人文社会科学部研究科の教員を中心に農学研究科および水産学研究科の教員も参画している。

科目等履修生を中心にした受講生とサテライト教室出身の正規大学院生が集まり、熱心な授業がおこなわれている。特に、人文社会科学部研究科では、サテライト独自の講義科目「奄美プロジェクト研究」を開設し、離島の受講生のキャリアアップに役立てるような講義テーマを設定している。



▲奄美市における授業風景

大学地域コンソーシアム鹿児島

「大学地域コンソーシアム鹿児島」は、鹿児島県内13の高等教育機関が相互に連携・協力し、高等教育の質的向上を推進することにより、地域の教育および学術研究の充実・発展を図るとともに、魅力ある高等教育づくりと活力ある地域づくりに貢献することを目的として、平成21年1月6日に設立された。現在、「単位互換」「職員研修」「教員免許状更新講習」「産学官連携」「ガイダンスセミナーおよび短期大学の教育を語る会」の5事業部会を設置して、活動を行っている。

〈構成大学等〉

鹿児島大学、鹿屋体育大学、鹿児島国際大学、鹿児島純心女子大学、志学館大学、第一工業大学、鹿児島県立短期大学
鹿児島国際大学短期大学部、鹿児島純心女子短期大学、鹿児島女子短期大学、第一幼児教育短期大学、鹿児島工業高等専門学校
放送大学鹿児島学習センター

■文部科学省「大学教育の国際化推進プログラム」

【長期海外留学支援】

| 採択年度 | 取組名称 | 概要 |
|--------|------------------------|---|
| 平成19年度 | 鹿兒島大学 長期海外留学支援プログラム | 派遣国：ラオス 派遣期間：H19.9.1～H21.8.31 大学院学生のアジア地域への長期間の留学を推進するプログラムのもとに、研究の向上を図るばかりでなく、留学先においては本学の活動内容を紹介する大使として、また、帰国後は留学先とのパイプ役として本学の国際戦略「ASEAN」(apan)」や、留学生センターにおけるアドバイザーとしての役割を担うことで、本学とアジア諸国の学生や若手研究者の交流をより強化し、国際舞台でアジアを代表して活躍する本学出身の人材の育成を目指す。 |

【海外先進教育研究実践支援（研究実践型）】（平成19年度までは、「海外先進研究実践支援」）

| 採択年度 | 大学としての取組名称 | 取組み名称 |
|--------|--------------------|---|
| 平成18年度 | 融合科学による消化器癌の予防と治療 | ・癌予防食品の高度研究の実践 ・分子生物学的診断による消化器癌個別化治療 |
| 平成19年度 | 人類の健全な生活維持と地球環境の持続 | ・「健康と地域」の格差社会学 ・運動制御の認知脳内情報処理過程の研究 ・造礁サンゴの起源と礁形成環境の時代変遷 |
| 平成20年度 | 研究実践拠点構築に向けての調査研究 | ・研究実践拠点形成事業についての調査研究 ・北欧型漁業生産システムに関する研究 |

■日本学術振興会

| 事業名 | 課題 | 事業期間 | 実施主体部局 | 概要 |
|-----------------------------------|---|----------------------------|----------|---|
| 若手研究者インターナショナル・トレーニング・プログラム (ITP) | 熱帯域における生物資源の多様性保全のための国際教育プログラム | 平成19 ～ 24年度 (10月) | 理工学研究科 | 世界でも最も生物多様性が高い地域の一つであるアジア熱帯地域において、生物多様性を保全するための分類学、生態学、生理学、環境科学等の研究分野で、国際的に活躍できる若手研究者を養成することを目的とする。そのために、大学院学生（博士課程、修士課程）、助教等が、マレーシア、インドネシア、タイのパートナー機関と連携して数ヶ月の現地での経験を積み、国内での研修とあわせて教育研究のレベルアップを図る。 |
| アジア研究教育拠点事業 | 東南アジア沿岸域の水産資源に対するネガティブインパクト対策に関する研究拠点形成 | 平成20 ～ 24年度 | 水産学部 | 水産資源に対するネガティブインパクト（負の影響）の中でも特に石油流出による影響に焦点をあて、その影響の程度の総合的評価と回復技術の開発を図ると同時に、ネガティブインパクト問題への取り組み手法のモデルを構築することを目標とする。 水産学部とフィリピン大学ヴィサヤス校との間での拠点大学交流事業を通して実施した「沿岸海域における水圏環境・資源の利用」に関する共同研究を継承・発展させ、水圏環境に排出される有害化学物質や魚病などを含むネガティブインパクトの水産資源や漁場保全に対する影響と対策に関する研究に取り組む。 |
| アジア・アフリカ学術基盤形成事業 | 東アジアにおけるシトリン欠損症の診断・治療ネットワーク構築 | 平成21 ～ 23年度 | 医歯学総合研究科 | 東アジアに保因者が高頻度に存在するシトリン欠損症は、多くの謎に包まれ、解決すべき課題が多く残っている遺伝性疾患である。 シトリン欠損症では、診断そのものが1つの予防法であり、現在、変異遺伝子診断を確実に実践できる段階にきている。 本事業では、中国・ベトナム・韓国の拠点機関との共同研究・研究者交流・セミナー開催などにより若手研究者の活性化を図り、国際研究協力体制を構築するとともに、中核的研究拠点としてアジアのみならず世界へ向けた情報発信を目指す。 |
| 二国間交流事業共同研究・セミナー | フランスとの共同研究(CNRS)窒素固定細菌フランキアと植物との共生の分子基盤 | 平成21 ～ 22年度 | 理工学研究科 | 窒素は全ての生物に必須な元素であるが、窒素分子の2つの窒素原子は強固な3重結合で結合しており、ほとんどの生物はこれを資化できない。 一部の植物は根の根粒と呼ばれる器官に窒素固定細菌を共生させることにより大気中の窒素分子をアンモニアに還元（固定）し、自らの養分として利用できる。 共生窒素固定を行うバクテリアの一つであるフランキア-アクチノリザル植物共生の研究は大きく立ち遅れている。本課題では、ゲノム情報を利用して、フランキアと宿主植物との共生の分子メカニズムを遺伝子レベルで解明することを目的とする。 若手研究者・大学院生の相互派遣も、本共同研究の大きな特徴である。 |

はじめに

組織

学部・大学院等

学生等

教育・研究・社会貢献活動

国際交流

財務

キャンパス

■大学間学術交流協定校(15カ国・地域・46機関)

(平成20年度実績)

| 国・地域 | 締結機関名 | 受入数 | 派遣数 | 共同研究 |
|--------|---------------|--------|--------|------|
| 中国 | 湘潭大学 | 7(6) | 5(1) | |
| | 雲南農業大学 | 5(5) | 2 | |
| | 湖南農業大学 | 2 | 10(1) | 2 |
| | 中南民族大学 | 1 | | 1 |
| | 中国医科大学 | 4(3) | 2 | 3 |
| | 湖南师范大学 | | | |
| | 北京工業大学 | | 2 | |
| | 東北師範大学 | 3(3) | 1(1) | 1 |
| | 中国人民大学 | | 1 | 2 |
| | 中国科学院昆明植物研究所 | 2 | | 2 |
| 韓国 | 重慶大学 | | | |
| | 中国社会科学院日本研究所 | | 1 | |
| | 中東北大学 | 1(1) | | |
| | 釜慶大学 | 8(8) | 1 | |
| | 全北大学 | 3(3) | 1(1) | |
| | 群山大学 | | | |
| | 済州大学 | 5(5) | 17 | |
| | 群山看護大学 | 1(1) | | |
| | 圓光大学 | | | |
| | 江陵原州大学 | 21(20) | 15(12) | 1 |
| インドネシア | 江原大学 | 3(3) | | |
| | 公州大学 | 1(1) | 19(17) | |
| | インドネシア | 18(1) | 12(5) | 1 |
| | マレーシア | 3(2) | 11(5) | |
| | マレーシア | 3(2) | 6(2) | |
| | マレーシア | | 8(2) | 1 |
| | 台湾 | 1(1) | | |
| | フィリピン | | 7(5) | |
| | フィリピン | 5(4) | 5 | 2 |
| | フィリピン | 5(4) | 34(14) | 3 |
| ベトナム | ハノイ農業大学 | 1(1) | | |
| | ハノイ貿易大学 | 2(2) | | |
| | ベトナム社会科学院 | 3 | 2 | |
| | 南太平洋12カ国・地域 | 1(1) | | 2 |
| | パプアニューギニア | 1(1) | | |
| | オーストラリア | 2(2) | 2(2) | |
| | シドニー工科大学 | 1(1) | 4(3) | |
| | 西オーストラリア大学 | | | |
| | 西オーストラリア地質調査所 | | | |
| | シヨージア大学 | 1(1) | 7(5) | |
| アメリカ | マイアミ大学 | | 9(9) | 1 |
| | グアム大学 | | | |
| | アルフレッド大学 | | 1 | |
| | 西シヨージア大学 | 10 | 3 | |
| | コロンビア | 1(1) | | |
| | スベイン | 3(3) | 3(3) | |

(注)受入数・派遣数欄の()は、学生交流数で内数。

■部局間学術交流協定校(12カ国・地域・24機関)

(平成20年度実績)

| 国・地域 | 締結機関名 | 受入数 | 派遣数 | 共同研究 |
|---------|---------------------------|------|------|------|
| 法文 | ミュンヘン大学東アジア研究部 | 1(1) | | |
| ルーマニア | ブカレスト大学外国語学部 | | | |
| 韓国 | 釜山大学社会科学部 | 2(2) | 2(1) | |
| 教育 | ボソン大学哲学部 | 4(4) | 2(1) | |
| インドネシア | インドネシア科学院生物学研究センター | 1(1) | 5(2) | 3 |
| 歯学 | 王立ブリンズオブソクラー大学歯学部 | | | 2 |
| 工学 | 南開大学情報技術科学学院 | | | |
| 台湾 | 成功大学工学部 | | 1 | |
| タイ | チュロンコン大学石油及石油化学大学院 | | | |
| イラン | イラン理工科大学 | | | |
| インドネシア | テイボネゴロ大学農畜産学部 | 3(3) | | |
| タイ | 国立モンクット王トンプリ工科大学生物資源工学研究科 | | | |
| タンザニア | ソコイネ農科大学 | 4(4) | | |
| 水産 | 大連水産学院 | 5(5) | 2(1) | |
| 韓国 | 韓国海洋洋研究所 | | | |
| タイ | 東南アジア漁業開発センター | | 1 | |
| インドネシア | ハサヌティン大学海洋科学水産学部 | | | |
| 台湾 | 国立高雄海洋科技大学水圏学院 | | | |
| 医歯学総合研究 | スペイン自然科学博物館古生物部門 | | | |
| インドネシア | ジェンパー大学医学部 | | | |
| インドネシア | セアリフヒタイトラ州イスラム大学医学部 | | | |
| インドネシア | テイボネゴロ大学医学部 | 1 | 1 | |
| パキスタン | キングエドワード医科大学公衆衛生学部 | | 1 | 1 |
| ベトナム | ハノイ医科大学 | | 1 | |

(注)受入数・派遣数欄の()は、学生交流数で内数。

はじめに

組織

学部・大学院等

学生等

教育・研究・社会貢献活動

国際交流

財務

キャンパス

■外国人研究者受入状況

(平成20年度)

| 区 分 | 法文学部 | 教育学部 | 理学部 | 医学部 | 工学部 | 農学部 | 水産学部 | 理工学研究科 | 医歯学総合研究科 | 学 共 施 設 等 | 合 計 |
|---------------------------|------|------|-----|-----|-----|-----|------|--------|----------|--------------|-----|
| 外国人研究員 | | | | | | | | | 2 | 1 | 3 |
| 外国人教員等 | 4 | 1 | 1 | 1 | 3 | 1 | 2 | | 2 | 4 | 19 |
| 国際協力機構(JICA)による研修員 | | 10 | | | | | 11 | | 4 | | 25 |
| 国際協力銀行(JBIC)等による研修員 | | 1 | | | | | 5 | 1 | 1 | | 8 |
| 日本学術振興会(JSPS) 科学研究費補助金 | | | 7 | | 1 | 7 | 2 | | 6 | | 23 |
| 日本学生支援機構(JASSO) | | | | | | | 1 | | | | 1 |
| 外国政府・機関等支弁による研究員 | 2 | 4 | 9 | | 15 | 6 | 3 | 4 | 2 | 1 | 46 |
| その他の研究員 | | | 5 | 3 | 2 | 12 | 3 | 2 | 13 | 3 | 43 |
| 視察・来訪等 | 3 | 11 | | | | 3 | | | 29 | 65 | 111 |
| 合 計 | 9 | 27 | 26 | 4 | 21 | 29 | 27 | 7 | 59 | 74 | 283 |

■教職員の海外渡航状況

【地域別】

(平成20年度)

| 区 分 | 法文学部 | 教育学部 | 理学部 | 医学部 | 医・歯学 附属病院 | 工学部 | 農学部 | 水産学部 | 理工学研究科 | 医歯学総合研究科 | 司法政策 研究科 | 臨床心理 学研究科 | 学 共 施 設 等 | 合 計 |
|------|------|------|-----|-----|--------------|-----|-----|------|--------|----------|-------------|--------------|--------------|-----|
| アジア | 42 | 16 | 34 | 12 | 28 | 40 | 54 | 30 | 11 | 45 | 2 | | 30 | 344 |
| 中近東 | | | 1 | | | 1 | 1 | | 1 | | | | | 4 |
| 大洋州 | 4 | 2 | 4 | 1 | 3 | 2 | 3 | 2 | | 4 | | | 8 | 33 |
| アフリカ | | | 2 | | | 1 | 2 | | | | | | 1 | 6 |
| 欧州 | 17 | 17 | 26 | | 22 | 15 | 18 | 8 | 9 | 29 | 1 | 6 | 6 | 174 |
| 北米 | 4 | 10 | 13 | 6 | 42 | 16 | 10 | 2 | 5 | 47 | | 2 | 17 | 174 |
| 中南米 | | | 1 | | 1 | | 1 | 1 | | 5 | | | | 9 |
| 合 計 | 67 | 45 | 81 | 19 | 96 | 75 | 89 | 43 | 26 | 130 | 3 | 8 | 62 | 744 |

【経費別】

(平成20年度)

| 経費の種類 | 法文学部 | 教育学部 | 理学部 | 医学部 | 医・歯学 附属病院 | 工学部 | 農学部 | 水産学部 | 理工学研究科 | 医歯学総合研究科 | 司法政策 研究科 | 臨床心理 学研究科 | 学 共 施 設 等 | 合 計 |
|---------------|------|------|-----|-----|--------------|-----|-----|------|--------|----------|-------------|--------------|--------------|-----|
| 文部科学省 | 6 | 2 | | 1 | | 1 | 8 | 4 | | 2 | 1 | 6 | 8 | 39 |
| その他の省庁 | | | | | 7 | | | 1 | | 3 | | | | 11 |
| 国際協力機構(JICA) | | | | | | | 1 | 1 | | 2 | | | | 4 |
| 日本学術振興会(JSPS) | | 1 | 10 | | 2 | 1 | 6 | 10 | 2 | 4 | | | 1 | 37 |
| 科学研究費補助金 | 27 | 14 | 21 | 6 | 13 | 15 | 17 | 3 | 6 | 29 | | 2 | 12 | 165 |
| 科学技術振興機構(JST) | | | 5 | | 1 | 1 | | | 1 | | | | | 8 |
| 鹿児島大学研究費 | 16 | 19 | 9 | 10 | 3 | 9 | 23 | 9 | 5 | 6 | 1 | | 10 | 120 |
| 奨学寄附金等 | | 1 | 11 | 1 | 55 | 35 | 25 | 11 | 8 | 50 | | | 3 | 200 |
| 外国の機関等 | 1 | 1 | 6 | | | | | | | | | | 1 | 9 |
| その他 | 17 | 7 | 19 | 1 | 15 | 13 | 9 | 4 | 4 | 34 | 1 | | 27 | 151 |
| 合 計 | 67 | 45 | 81 | 19 | 96 | 75 | 89 | 43 | 26 | 130 | 3 | 8 | 62 | 744 |

■部局別国際共同研究実施件数

(平成20年度)

| 法文学部 | 教育学部 | 理学部 | 医・歯学 附属病院 | 工学部 | 農学部 | 水産学部 | 理工学研究科 | 医歯学総合研究科 | 学 共 施 設 等 | 合 計 |
|------|------|-----|--------------|-----|-----|------|--------|----------|--------------|-----|
| 7 | 7 | 26 | 3 | 10 | 18 | 9 | 12 | 46 | 26 | 164 |

はじめに

組織

学部・大学院等

学生等

教育・研究・
社会貢献活動

国際交流

財務

キャンパス

■出身国(地域)別(36カ国・地域272名)(36カ国・地域277名※山口大学連合獣医学研究科を含めた場合) (平成21年5月1日現在)

| 地域 | 国(地域) | 法文学部 | 教育学部 | 理学部 | 医歯学 | 工学部 | 農学部 | 水産学部 | 連合農学研究科 | 留学生センター | 教育センター | 合計 | 連合獣医学研究科 |
|---------|----------|------|------|-----|-----|-----|-----|------|---------|---------|--------|------|----------|
| アジア | インド | | | | | | | 1① | 1① | 1① | | 3③ | |
| | インドネシア | 1 | | 4② | 2② | 4② | 1 | 2 | 9⑤ | | | 23⑪ | |
| | スリランカ | | | | | | | | 5③ | | | 5③ | |
| | タイ | | | 1 | | | | | 3① | | | 4① | |
| | パキスタン | | | | 2② | 1 | | | 1① | | | 4③ | |
| | バングラディシュ | | | 2② | | | 1 | 1① | 7⑥ | | | 11⑨ | 2② |
| | フィリピン | | | | | 3③ | 1① | 1① | 4④ | 2② | | 11⑪ | |
| | ベトナム | | | | | | | 1 | 3② | 1① | | 5③ | |
| | マレーシア | | | 2 | | | 10 | | 1 | | | 13 | |
| | ミャンマー | | | 2 | | | 1 | 2② | 1① | 3③ | | 9⑥ | 1① |
| 中国 | 韓国 | 8 | 7 | 2① | 7 | 4② | 3 | | 3② | | | 34⑤ | |
| | 台湾 | 3 | | | 3 | | | | 1 | | | 7 | |
| | 中国 | 21① | 22① | 5 | 6 | 25 | 4 | 9 | 7② | | 1 | 100④ | |
| | ネパール | | | | 1① | 1 | | | 2① | 1① | | 5③ | |
| 大洋州 | ブータン | | | | | | | | 1 | | | 1 | 1 |
| | オーストラリア | 1 | 1 | | | | | | | | | 2 | |
| | トンガ | | | | | | | 1① | | | | 1① | |
| アフリカ | フィジー | | | | | | | | | 1① | | 1① | |
| | エジプト | | | | 3① | 1① | | | | | | 4② | |
| | カメルーン | | | 1① | | | | | | | | 1① | |
| | ケニア共和国 | | | | | | | | 2② | | | 2② | |
| | ゼネガル | | | | | | | | | 1① | | 1① | |
| | タンザニア | | | | | | 1 | | 4③ | | | 5③ | 1① |
| | チュニジア | | | | | | | | 1 | | | 1 | |
| 北中南アメリカ | ナイジェリア | | | | | | | | | 1① | | 1① | |
| | モリタニア | | | | | | | 1① | | | | 1① | |
| | オーストラリア | 1 | | | | | | | | | | 1 | |
| | ドイツ | 1 | 2 | | | | | | | | | 3 | |
| 欧州 | スペイン | | | | | 3① | | | | | | 3① | |
| | ブルガリア | 1① | | | | | | | | | | 1① | |
| | 英国 | | 1① | | | | | | | | | 1① | |
| 北中南アメリカ | アメリカ | 1 | | | | | 2 | | | | | 3 | |
| | ジャマイカ | | | | 1① | | | | | | | 1① | |
| | コロンビア | | | | 1① | | | | | | | 1① | |
| | ブラジル | | | | 1 | 1 | | | | | | 2 | |
| | パラグアイ | | | | | 1① | | | | | 1① | | |
| 合計 | | 38② | 33② | 19⑥ | 27⑧ | 55⑩ | 15③ | 18⑥ | 58⑬ | 8⑧ | 1 | 272⑮ | 5④ |

(注) 印内は内数で国費留学生(日韓共同理工系学部留学生含む)を示す。

■在籍別 (平成21年5月1日現在)

| 在籍 | 法文学部 | 教育学部 | 理学部 | 医歯学 | 工学部 | 農学部 | 水産学部 | 連合農学研究科 | 留学生センター | 教育センター | 合計 | 連合獣医学研究科 |
|--------------|------|------|-----|-----|-----|-----|------|---------|---------|--------|------|----------|
| 大学院 博士[博士後期] | 4 | | | 4③ | | | | | | | 4③ | 1① |
| “ “ | 3 | 2① | | 5③ | 6② | 4③ | | 16⑬ | | | 33⑳ | 1① |
| “ “ | 2 | 2 | 1① | 3① | 4③ | | | 19⑫ | | | 29⑰ | 1 |
| “ “ | 1 | | 4① | 4② | 2① | | | 23⑪ | | | 33⑮ | 2② |
| “ 修士[博士前期] | 2 | 6 | 5 | 2 | 8② | 3② | 4① | | | | 28⑤ | |
| “ “ | 1 | 5 | 6 | 1 | 9 | 3① | 5④ | | | | 30⑤ | |
| 学部 | 6 | | | 1 | | 1 | | | | | 2 | |
| “ “ | 5 | | | | | 1 | | | | | 1 | |
| “ “ | 4 | 1 | | 2 | 11① | | 1 | | | | 15① | |
| “ “ | 3 | 1 | 1 | 2 | 4 | | 1 | | | | 11 | |
| “ “ | 2 | 1① | 1 | 1 | 3 | 5 | | | | | 11① | |
| “ “ | 1 | 1 | | 2① | 1 | 4 | 2 | | | | 10① | |
| 研究生 | 8 | 8① | 1 | | 1 | 1 | 3① | | | | 22② | |
| 科目等履修生 | | | | | | | | | | 1 | 1 | |
| 特別研究学生 | | | | | | 1 | | | | | 1 | |
| 特別聴講学生 | 11 | 12① | | | 3 | 5 | 2 | | | | 33① | |
| 日本語研修コース生 | | | | | | | | | 8⑧ | | 8⑧ | |
| 合計 | 38② | 33② | 19⑥ | 27⑧ | 55⑩ | 15③ | 18⑥ | 58⑬ | 8⑧ | 1 | 272⑮ | 5④ |

(注) 1. 連合農学研究科58名の内訳(鹿大33⑭ 宮大1 佐大11 琉大13)

2. 印内は内数で国費留学生(日韓共同理工系学部留学生含む)を示す

■経費種別36カ国・地域272名(36カ国・地域277名※山口大学連合獣医学研究科を含めた場合)

(平成21年5月1日現在)

| 種 別 | 大学院生 | 学部学生 | 研 究 生 | 科目等履修生 | 特別研究学生 | 特別聴講学生 | 日本語研修コース生 | 合 計 |
|-----------------|---------|--------|-------|--------|--------|--------|-----------|----------|
| 国 費 留 学 生 | 67(22) | 1 | 2 | | | 1(1) | 8(3) | 79(26) |
| 日韓共同理工系学部留学生 | | 2(1) | | | | | | 2(1) |
| 外国政府派遣留学生 | 8(4) | 8(3) | 1 | | | | | 17(7) |
| 鹿児島県費留学生 | | | 1 | | | | | 1 |
| 短期支援制度による留学生※ | | | | | | 7(2) | | 7(2) |
| 私 費 留 学 生 | 82(35) | 39(22) | 18(8) | 1(1) | 1(1) | 25(16) | | 166(83) |
| 計 | 157(61) | 50(26) | 22(8) | 1(1) | 1(1) | 33(19) | 8(3) | 272(119) |
| 連 合 獣 医 学 研 究 科 | | | | | | | | |
| 国 費 留 学 生 | 4 | | | | | | | 4 |
| 私 費 留 学 生 | 1 | | | | | | | 1 |

(注)1. ()は女子を内数で示す。

2. 21世紀東アジア青少年大交流計画奨学金(韓国)2(1)名を含む。

■学部別

(平成21年5月1日現在)

| 学 部 | 国 費 | | 日韓共同理工系 | 外国政府派遣 | 私 費 等 | | 合 計 |
|---------|------|------|---------|--------|--------|--------|--------|
| | 学部学生 | 研究生等 | 学部学生 | 学部学生 | 学部学生 | 研究生等 | |
| 法 文 学 部 | 1 | | | | 3(1) | 17(8) | 21(9) |
| 教 育 学 部 | | 2(1) | | | 2(2) | 17(12) | 21(15) |
| 理 学 部 | | | 1(1) | | 4(3) | | 5(4) |
| 医 学 部 | | | | | 5(3) | | 5(3) |
| 歯 学 部 | | | | | 4(1) | | 4(1) |
| 工 学 部 | | | 1 | 8(3) | 15(7) | 4(2) | 28(12) |
| 農 学 部 | | | | | 2(2) | 5(1) | 7(3) |
| 水 産 学 部 | | | | | 4(3) | 2(1) | 6(4) |
| 合 計 | 1 | 2(1) | 2(1) | 8(3) | 39(22) | 45(24) | 97(51) |

(注)1. ()内は女子を内数で示す。

■大学院別

(平成21年5月1日現在)

| 研 究 科 | 国 費 | | | 外国政府派遣 | | | 私 費 等 | | | 合 計 |
|-----------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| | 修士・博士前期 | 博士・博士後期 | 研 究 生 等 | 修士・博士前期 | 博士・博士後期 | 研 究 生 等 | 修士・博士前期 | 博士・博士後期 | 研 究 生 等 | |
| 人文社会科学研究科 | | 1 | | | | | 11(6) | 3(2) | 2(1) | 17(9) |
| 教育学研究科 | | | | | | | 11(7) | | 1 | 12(7) |
| 医歯学総合研究科 | | 8(4) | | | 1 | | 1 | 7(3) | | 17(7) |
| 保健学研究科 | | | | | | | | 1(1) | | 1(1) |
| 理工学研究科 | 2 | 12(3) | | 1 | 1(1) | 1 | 17(7) | 7(3) | | 41(14) |
| 農学研究科 | 3(3) | | | | | | 3(2) | | 2(2) | 8(7) |
| 水産学研究科 | 5(2) | | 1 | | | | 4(1) | | 2 | 12(3) |
| 連合農学研究科 | | 36(10) | | | 5(3) | | | 17(3) | | 58(16) |
| 合 計 | 10(5) | 57(17) | 1 | 1 | 7(4) | 1 | 47(23) | 35(12) | 7(3) | 166(64) |
| 連合獣医学研究科 | | 4 | | | | | | 1 | | 5 |

(注)1. ()内は女子を内数で示す。

■学内共同教育研究施設別

(平成21年5月1日現在)

| 学内共同教育研究施設 | 国 費 | | | 日韓共同理工学 | | 私 費 等 | | | 合 計 |
|------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|------|
| | 修士・博士前期 | 博士・博士後期 | 研 究 生 等 | 学部学生 | 研 究 生 等 | 修士・博士前期 | 博士・博士後期 | 研 究 生 等 | |
| 留学生センター | | | 8(3) | | | | | | 8(3) |
| 教育センター | | | | | | | | 1(1) | 1(1) |
| 合 計 | | | 8(3) | | | | | 1(1) | 9(4) |

(注)1. ()内は女子を内数で示す。

2. 山口大学連合獣医学研究科は外数。

はじめに

組 織

学部・大学院等

学生等

教育・研究・
社会貢献活動

国際交流

財 務

キャンパス

北米教育研究センター

アメリカ合衆国カリフォルニア州サンノゼ市にあるピクセラ社内に、海外拠点として北米教育研究センターを設置している。平成16年12月に設置されたベンチャービジネスラボラトリーシリコンバレーオフィスを平成20年9月に全学組織である北米教育研究センターへ発展させた。センターは(1)学生および職員の教育および研修、(2)海外の大学および企業等との共同研究または共同事業の推進、(3)セミナー、フォーラム等に関すること、(4)大学間の連携による国際化推進活動等を主な業務とし、主に北米地区における教育、研究および社会貢献に係る国際活動を推進している。

センター長にピクセラ社CEO井手祐二特任教授(本学工学部卒、国際戦略本部アドバイザー兼務)を配置し、本学の大学院生、事務職員を対象としたシリコンバレーセミナーツアー、日米未来フォーラム、国際技術移転フォーラム等を企画、実施している。

一方、ベイエリア地区に拠点を置く日本の大学間のネットワークであるJUNBA(サンフランシスコ・ベイエリア大学間連携ネットワーク)での情報交換や共同事業などにも積極的に参加しており、本学の教育・研究活動の場が更に広がっている。また平成20年4月には、井手特任教授がJUNBA会長に就任し、日本全体の大学の国際化や日米学術交流にも大きく貢献している。



▲北米教育研究センターのあるピクセラ社



▲セミナーツアー

フィリピン大学ビサヤス校リエゾン・オフィス

鹿児島大学水産学部のキャンパスに、同学部と学術交流協定を締結しているフィリピン大学ビサヤス校(UPV)の日本オフィスが平成18年4月に開設された。水産学部のフィリピン・オフィスは平成18年2月にUPVのミヤガオ・キャンパスに開設されており、平成19年12月には両者の協定は大学間協定に改定された。大学間協定大学とリエゾン・オフィスを相互に開設するのは、鹿児島大学としても初めてである。研究室と実験室を併設したオフィスには、フィリピンから新たに採用された准教授が常駐しており、水産資源管理や水圏環境の管理・保全に関する共同研究の拠点となるものと期待されている。

水産学部は、平成10年から「フィリピンにおける水産資源と水圏環境の管理と保全に関する研究」をテーマに、UPVと拠点大学方式による研究交流を行ってきた。さらに、平成20年から「水圏環境の保全と管理」を主なテーマとした、アジア研究教育拠点形成という国際的な事業を開始した。



▲フィリピン大学ビサヤス校

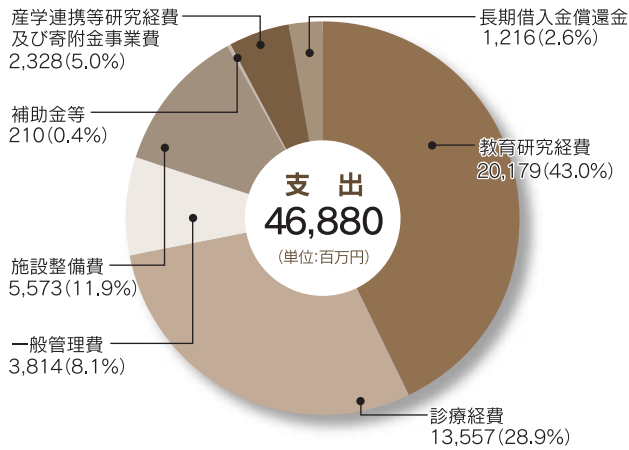
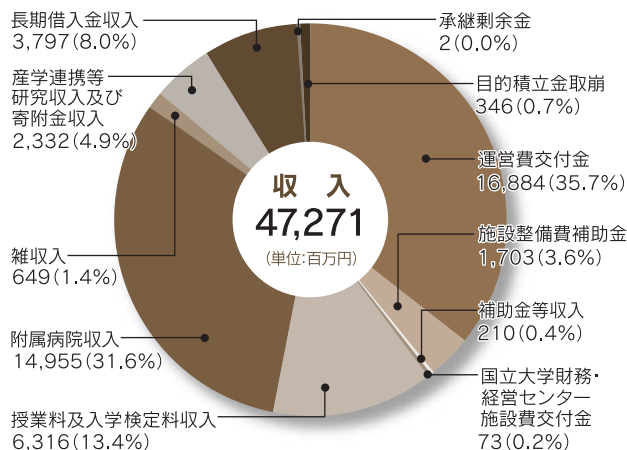


▲ビサヤス校ミヤガオ・キャンパス



■財務状況

【平成20年度収入・支出決算額】



(単位:百万円)

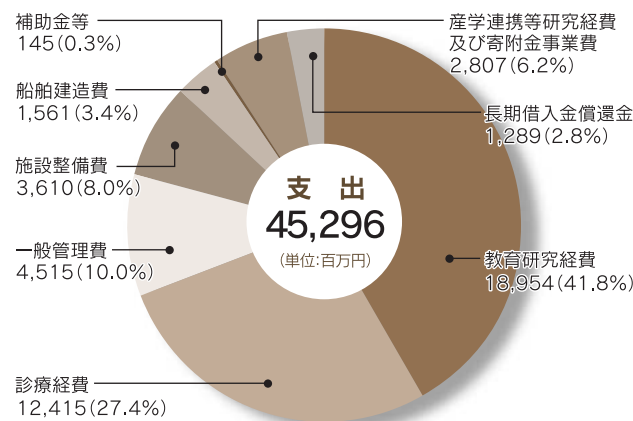
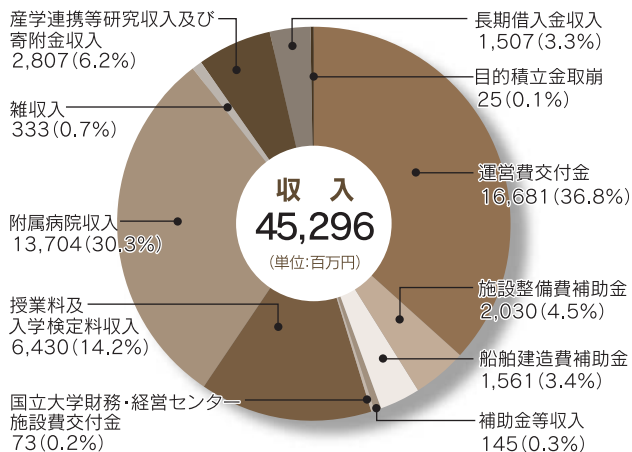
| 収入 | 金額 |
|---------------------|---------------|
| 運営費交付金 | 16,884 |
| 施設整備費補助金 | 1,703 |
| 補助金等収入 | 210 |
| 国立大学財務・経営センター施設費交付金 | 73 |
| 授業料及入学検定料収入 | 6,316 |
| 附属病院収入 | 14,955 |
| 雑収入 | 649 |
| 産学連携等研究収入及び寄附金収入 | 2,332 |
| 長期借入金収入 | 3,797 |
| 承継剰余金 | 2 |
| 目的積立金取崩 | 346 |
| 合計 | 47,271 |

(単位:百万円)

| 支出 | 金額 |
|-------------------|---------------|
| 教育研究経費 | 20,179 |
| 診療経費 | 13,557 |
| 一般管理費 | 3,814 |
| 施設整備費 | 5,573 |
| 補助金等 | 210 |
| 産学連携等研究経費及び寄附金事業費 | 2,328 |
| 長期借入金償還金 | 1,216 |
| 合計 | 46,880 |

(注)千円未満切捨てにより作成。

【平成21年度予算】



(単位:百万円)

| 収入 | 金額 |
|---------------------|---------------|
| 運営費交付金 | 16,681 |
| 施設整備費補助金 | 2,030 |
| 船舶建造費補助金 | 1,561 |
| 補助金等収入 | 145 |
| 国立大学財務・経営センター施設費交付金 | 73 |
| 授業料及入学検定料収入 | 6,430 |
| 附属病院収入 | 13,704 |
| 雑収入 | 333 |
| 産学連携等研究収入及び寄附金収入等 | 2,807 |
| 長期借入金収入 | 1,507 |
| 目的積立金取崩 | 25 |
| 合計 | 45,296 |

(単位:百万円)

| 支出 | 金額 |
|--------------------|---------------|
| 教育研究経費 | 18,954 |
| 診療経費 | 12,415 |
| 一般管理費 | 4,515 |
| 施設整備費 | 3,610 |
| 船舶建造費 | 1,561 |
| 補助金等 | 145 |
| 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等 | 2,807 |
| 長期借入金償還金 | 1,289 |
| 合計 | 45,296 |

はじめに

組織

学部・大学院等

学生等

教育・研究・社会貢献活動

国際交流

財務

キャンパス

■文部科学省科学研究費補助金

【種目別採択状況】

(平成21年度)(単位:千円)

| 研究種目 | 件数 | 金額 | 研究種目 | 件数 | 金額 |
|---------|-----|---------|-------------|-----|---------|
| 基盤研究(S) | 1 | 13,200 | 萌芽研究 | 23 | 30,200 |
| 基盤研究(A) | 5 | 44,000 | 若手研究(A) | 3 | 15,600 |
| 基盤研究(B) | 51 | 198,400 | 若手研究(B) | 82 | 103,800 |
| 基盤研究(C) | 161 | 197,000 | 若手研究スタートアップ | 4 | 4,770 |
| 特定領域研究 | 6 | 33,000 | 合計 | 336 | 639,970 |

【学部等別採択状況】

(単位:千円)

| 学部等 | 平成19年度 | | 平成20年度 | | 平成21年度 | |
|-------------------------------|--------|---------|--------|---------|--------|---------|
| | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 |
| 学内共同教育研究施設等 | 14 | 50,700 | 14 | 46,700 | 10 | 38,100 |
| 法文学部 | 15 | 22,300 | 18 | 24,700 | 25 | 37,600 |
| 教育学部 | 15 | 15,900 | 15 | 16,500 | 19 | 27,480 |
| 理工学研究科(理学系) | 21 | 38,500 | 16 | 26,100 | 18 | 22,000 |
| 医学部 | 9 | 16,100 | 13 | 15,500 | 15 | 19,000 |
| 医学部・歯学部附属病院 | 38 | 55,690 | 43 | 57,630 | 47 | 75,800 |
| 理工学研究科(工学系) | 35 | 64,700 | 34 | 68,700 | 47 | 105,800 |
| 農学部 | 39 | 105,500 | 39 | 86,000 | 35 | 69,400 |
| 水産学部 | 8 | 13,200 | 8 | 8,800 | 7 | 8,100 |
| 理工学研究科 (~21.4理工学研究科(工学系)へ) | 11 | 22,700 | 10 | 16,000 | - | - |
| 医歯学総合研究科 | 107 | 299,300 | 94 | 253,150 | 110 | 233,590 |
| 司法政策研究科 | 2 | 1,200 | 1 | 500 | 1 | 700 |
| 臨床心理学研究科 (~19.3人文社会科学研究科) | 3 | 3,700 | 1 | 700 | 1 | 1,400 |
| 連合農学研究科 | 1 | 1,700 | 1 | 1,000 | 1 | 1,000 |
| 合計 | 318 | 711,190 | 307 | 621,980 | 336 | 639,970 |

(注)件数及び金額は、研究計画調書提出時の所属部局で計上。

■厚生労働省科学研究費補助金

(単位:千円)

| 研究事業名 | 平成19年度 | | 平成20年度 | | 平成21年度 | |
|-------------------|--------|---------------------|--------|---------------------|--------|---------------------|
| | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 |
| こころの健康科学研究事業 | | | 2 | 30,000 | 2 | 26,000 |
| 医療機器開発推進研究事業 | 1 | 42,488 (12,746) | | | 1 | 29,743 (8,922) |
| 基礎研究成果の臨床応用推進研究事業 | 1 | 67,500 (10,641) | 1 | 59,405 (17,821) | | |
| 第3次対がん総合戦略 | 1 | 23,000 | 1 | 25,200 | 1 | 24,750 |
| 難治性疾患克服研究事業 | | | 1 | 33,000 (9,900) | 2 | 65,000 (18,000) |
| 合計 | 3 | 132,988 (23,387) | 5 | 147,605 (27,721) | 6 | 145,493 (26,922) |

(注)下段()書きは、間接経費で外数

■独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構助成金 (単位:千円)

| 研究事業名 | 平成19年度 | |
|------------|--------|--------------|
| | 件数 | 金額 |
| 産業技術研究助成事業 | 1 | 960 (288) |

(注)下段()書きは、間接経費で外数

■奨学寄附金

(単位:千円)

| 学 部 等 | 平成18年度 | | 平成19年度 | | 平成20年度 | |
|---------------|--------|-----------|--------|-----------|--------|-----------|
| | 件 数 | 金 額 | 件 数 | 金 額 | 件 数 | 金 額 |
| 事 務 局 | 8 | 7,550 | 12 | 55,100 | 13 | 1,465 |
| 学内共同教育研究施設 | 19 | 134,481 | 17 | 52,762 | 44 | 40,781 |
| 法文学部・臨床心理学研究科 | 4 | 3,500 | 7 | 4,360 | 15 | 6,573 |
| 教育学部(附属学校含む) | 10 | 5,550 | 138 | 10,980 | 19 | 17,401 |
| 理 学 部 | 13 | 12,009 | 21 | 23,453 | 27 | 23,677 |
| 医学部・保健学研究科 | 25 | 8,437 | 22 | 11,698 | 33 | 13,052 |
| 歯 学 部 | 1 | 100 | 1 | 100 | 1 | 100 |
| 工 学 部 | 101 | 79,111 | 101 | 62,471 | 144 | 149,087 |
| 農 学 部 | 146 | 190,283 | 221 | 187,369 | 167 | 412,840 |
| 水 産 学 部 | 27 | 15,882 | 28 | 18,369 | 19 | 14,202 |
| 医歯学総合研究科 | 813 | 826,458 | 792 | 839,811 | 882 | 864,027 |
| 医学部・歯学部附属病院 | 112 | 73,563 | 109 | 75,210 | 127 | 98,549 |
| 合 計 | 1,279 | 1,356,924 | 1,469 | 1,341,683 | 1,491 | 1,641,759 |

(注)1. 平成20年度の件数、金額には、現物寄附(148件、503,246,761円)を含む。

2. 千円未満切捨てにより作成。

■受託研究

(単位:千円)

| 学 部 等 | 平成18年度 | | 平成19年度 | | 平成20年度 | |
|-----------------------|--------|---------|--------|---------|--------|---------|
| | 件 数 | 金 額 | 件 数 | 金 額 | 件 数 | 金 額 |
| 事 務 局 | 1 | 41,053 | 1 | 48,984 | 2 | 53,609 |
| 学内共同教育研究施設等 | 2 | 21,254 | 2 | 20,140 | 4 | 24,169 |
| 法 文 学 部 | 1 | 1,300 | | | | |
| 教 育 学 部 | 2 | 5,522 | 3 | 8,078 | | |
| 理 学 部 | 5 | 50,624 | 9 | 64,206 | 12 | 92,170 |
| 医学部・保健学研究科 | | | 1 | 288 | | |
| 歯 学 部 | | | | | | |
| 工 学 部 | 182 | 247,328 | 159 | 168,172 | 138 | 76,779 |
| (うち、受託試験) | 153 | 9,726 | 142 | 8,845 | 122 | 6,097 |
| 理 工 学 研 究 科 | | | 10 | 34,689 | 4 | 16,458 |
| 農 学 部 | 403 | 106,535 | 385 | 161,936 | 368 | 184,974 |
| (うち、動物病理組織検査) | 368 | 4,484 | 350 | 4,328 | 323 | 4,801 |
| 水 産 学 部 | 20 | 73,658 | 25 | 53,493 | 23 | 52,085 |
| 医歯学総合研究科 | 213 | 145,460 | 226 | 197,397 | 198 | 273,158 |
| (うち、病理組織検査) | 171 | 46,875 | 189 | 54,005 | 157 | 36,515 |
| 医学部・歯学部附属病院 | 129 | 135,422 | 147 | 111,998 | 152 | 119,497 |
| (うち、医薬品等の臨床研究) | 118 | 129,081 | 135 | 104,713 | 134 | 99,623 |
| 合 計 | 958 | 828,156 | 968 | 869,381 | 901 | 892,900 |
| (うち受託試験・病理組織検査・臨床研究等) | 810 | 190,166 | 816 | 171,891 | 736 | 147,037 |

(注)受託試験・病理組織検査・臨床研究等は、千円未満切捨てにより作成。

■共同研究

(単位:千円)

| 学 部 等 | 平成18年度 | | 平成19年度 | | 平成20年度 | |
|--------------|--------|---------|--------|---------|--------|---------|
| | 件 数 | 金 額 | 件 数 | 金 額 | 件 数 | 金 額 |
| 事 務 局 | 1 | 500 | 2 | 500 | 1 | 0 |
| 学内共同教育研究施設等 | 4 | 5,000 | 4 | 3,000 | 3 | 1,800 |
| 教育学部(附属学校含む) | 2 | 4,150 | 2 | 3,550 | 2 | 3,287 |
| 理 学 部 | 10 | 2,880 | 10 | 975 | 8 | 1,771 |
| 医学部・歯学部附属病院 | 1 | 0 | 3 | 400 | 3 | 0 |
| 医歯学総合研究科 | 22 | 33,368 | 32 | 42,974 | 26 | 33,931 |
| 工 学 部 | 51 | 61,035 | 48 | 88,359 | 62 | 110,670 |
| 農 学 部 | 26 | 32,608 | 32 | 58,044 | 31 | 40,442 |
| 水 産 学 部 | 14 | 13,550 | 15 | 14,742 | 13 | 10,123 |
| 合 計 | 131 | 153,091 | 148 | 212,544 | 149 | 202,024 |

(注)1. 上記額は、契約金額ベースで集計。

2. 共同研究契約については、金額の受入がない契約もあり。(必要な経費は各機関で措置する。)

はじめに

組織

学部・大学院等

学生等

教育・研究・社会貢献活動

国際交流

財務

キャンパス

■土地・建物・船舶

(平成21年5月1日現在)

| 区 分 | 土地 (m ²) | 建物(延面積m ²) | | | 備考(単位:m ²) | |
|--------|----------------------|------------------------|---------|---------|------------------------|------------------------------|
| | | 木 造 | 非木造 | 計 | | |
| 郡元地区 | 事務局 | 233,630 (22) | 33 | 10,389 | 10,422 | |
| | 保健管理センター | | | 561 | 561 | |
| | 附属図書館 | | | 12,703 | 12,703 | |
| | 法文学部 | | | 6,930 | 6,930 | |
| | 理学部 | | | 13,871 | 13,871 | |
| | 工学部 | | | 40,524 | 40,524 | |
| | 農学部 | | 210 | 32,882 | 33,092 | |
| | 共通教育 | | | 19,587 | 19,587 | |
| その他 | | | 10,705 | 10,705 | | |
| 教育学部 | 118,265 | 690 | 42,120 | 42,810 | | |
| 小 計 | 351,895 (22) | 933 | 190,272 | 191,205 | | |
| 桜ヶ丘地区 | 医学部 | 218,726 (2) | | 21,998 | 21,998 | 看護師宿舎 (土地4,431 建物4,127) |
| | 歯学部 | | | 3,115 | 3,115 | |
| | 医歯学総合研究科 | | | 33,261 | 33,261 | |
| | 医学部・歯学部附属病院 | | | 59,231 | 59,231 | |
| | 附属図書館 | | | 1,978 | 1,978 | |
| | フロンティアサイエンス研究推進センター | | | 4,381 | 4,381 | |
| | 亀ヶ原総合グラウンド | | | 52 | 52 | |
| 桜ヶ丘寄宿舎 | | 3,122 | 3,122 | | | |
| 小 計 | 218,726 (2) | | 127,138 | 127,138 | | |
| 下荒田地区 | 水産学部地区 | 49,153 | 93 | 12,089 | 12,182 | 宿舎 (土地3,382 建物2,028) |
| | 国際交流会館(1号館) | | | 1,430 | 1,430 | |
| | 国際交流会館(2号館) | | | 1,259 | 1,259 | |
| | 外国人研究者宿泊施設 | | | 687 | 687 | |
| 小 計 | 49,153 | 93 | 15,465 | 15,558 | | |
| その他 | 唐湊寄宿舎 | 24,696 | | 5,694 | 5,694 | その他宿舎 (土地25,234 建物15,338) |
| | 唐湊果樹園 | 72,682 | | 1,207 | 1,207 | |
| | 唐湊林園 | 9,957 | 19 | | 19 | |
| | 寺山自然教育研究施設 | 301,248 | | 831 | 831 | |
| | 教育学部附属特別支援学校 | 16,776 | 509 | 3,195 | 3,704 | |
| | 桜島火山観測点 | 297 | | 31 | 31 | |
| | 霧島リハビリテーションセンター | 15,425 (123) | 6 | 4,564 | 4,570 | |
| | 高隈演習林 | 30,617,710 | 88 | 1,535 | 1,623 | |
| | 佐多演習林 | 2,975,406 | | 166 | 166 | |
| | 入来牧場 | 1,478,451 (25) | | 3,857 | 3,857 | |
| | 垂水実験地 | 4,622 | 68 | | 68 | |
| | 桜島熔岩実験場 | 372,713 | | | | |
| | 指宿植物試験場 | 40,907 | 313 | 2,246 | 2,559 | |
| | 東町ステーション | 16,902 | | 1,183 | 1,183 | |
| | 鴨池臨海地 | 4,990 (94) | | 1,642 | 1,642 | |
| | 職員会館及び外国人宿泊施設 | 955 | | 717 | 717 | |
| | 磯艇庫 | 407 (202) | | 243 | 243 | |
| | 谷山ふ頭 | (776) | | | | |
| | 平川艇庫 | (595) | | 208 | 208 | |
| | 甌島観測点 | (49) | | 24 | 24 | |
| 伊集院観測点 | (7) | | | | | |
| 屋久島観測点 | (114) | | 40 | 40 | | |
| 串間観測点 | (58) | | 58 | 58 | | |
| 紫尾観測点 | (58) | | 58 | 58 | | |
| 黒島観測点 | (58) | | 58 | 58 | | |
| 佐多観測点 | (58) | | 11 | 11 | | |
| 高岡観測点 | (106) | | 40 | 40 | | |
| 吉松観測点 | (47) | | | | | |
| 田代観測点 | (6) | | | | | |
| その他 | (282) | | 598 | 598 | | |
| 小 計 | 35,954,144 (2,658) | 1,003 | 28,206 | 29,209 | | |
| 合 計 | 36,573,918 (2,682) | 2,029 | 361,081 | 363,110 | 宿舎(土地35,981 建物22,382) | |

(注) 1. 土地欄()内数量は借用地
2. 各地区土地及び建物数量には備考欄宿舎の数量は含まない。

| 船 名 | トン数(トン) | 機 関 | 馬 力 | 長さ(m) | 幅(m) | 深さ(m) | 建造年月日 |
|-------|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------------|
| かごしま丸 | 1,292.75 | ディーゼル | 2,200 | 62.70 | 12.60 | 5.45 | 昭和56年10月30日 |
| 南 星 丸 | 175.00 | 〃 | 1,800 | 34.20 | 7.50 | 3.30 | 平成14年11月28日 |

大学会館

大学会館は、学生相互ならびに学生と職員間の人間関係を緊密にし、かつ、学生の教養を高め、豊かな人間性・社会性を涵養するための課外教育活動を盛んにし、また、その厚生福祉に寄与することを目的に、1号館が昭和47年3月、2・4号館が昭和36年5月、3号館が昭和37年8月に設置された。

開館時間は午前9時から午後9時まで、休館日は日曜日・祝日および12月29日から翌年1月3日までとなっている。



| 建物名称 | 階別 | 施設名 | 用途等 |
|-------------------------------|------------|--------------------|------------------------|
| 1号館 (1,409m ²) | 1 | 軽食堂 | 喫茶、食事 (50席) |
| | | 理髪室 | 理髪 (4台) |
| | 2 | 共用談話室 | 休憩、談話 (52人) |
| | | 音楽鑑賞室 | 音楽鑑賞 (56人) |
| | | 会議室(1・2) | 会議、研究会等 (42人・20人) |
| 3 | 和室(1～5) | 会議および邦楽、茶道・華道等の練習 | |
| 4 | ホール | 音楽会、講演会、研究会等(300人) | |
| | 音楽練習室(1・2) | 音楽等練習 | |
| 2号館 (779m ²) | 1 | 小集会室 | 会議、展示会等 |
| | 2 | サークル連絡室 | サークル活動 |
| 3号館 (422m ²) | 1 | 大集会室 | 音楽会、講演会、映画会、研究会等(500人) |
| | 1 | 厚生センター | 書籍、日用品等の購売 |

課外活動施設

課外活動(サークル)は、大学教育における人間形成の上で必要不可欠であり、各キャンパス毎に課外活動施設を有している。体育系サークルが利用する体育施設、文化系サークルが主に利用する大学会館(1～3号館)以外に、平成14年3月に設置された課外活動共用施設などがある。

課外活動共用施設は、サークル間の交流・連携の場(学生の交流プラザ)としての中庭を囲むようにして、防音設備完備の音楽練習室、シャワー室、共用ラウンジ、共用ミーティング室およびサークル室等を配置し、文化系、体育系合わせて90サークルが使用している。

| 施設名 | 所在地 | 備考 |
|----------|-------|-------------|
| 課外活動共用施設 | 郡元地区 | 文化系・体育系サークル |
| 馬房(厩舎) | 郡元地区 | 馬術 |
| 平川艇庫 | 平川町海岸 | ヨット |
| 磯艇庫 | 磯海岸 | ポート |
| 鴨池艇庫 | 鴨池臨海地 | カッター |



▲課外活動共用施設(サークル棟)

食堂



▲中央食堂



▲郡元南食堂

| 食堂名 | 延面積 | 席数 | 所在地 |
|----------|---------------------|------|-------|
| 中央食堂 | 1,347m ² | 510席 | 郡元地区 |
| 軽食堂(ガロア) | 121m ² | 50席 | 郡元地区 |
| 郡元南食堂 | 882m ² | 190席 | 郡元地区 |
| 桜ヶ丘会館 | 417m ² | 190席 | 桜ヶ丘地区 |
| 水産学部食堂 | 350m ² | 120席 | 下荒田地区 |

はじめに

組織

学部・大学院等

学生等

教育・研究・社会貢献活動

国際交流

財務

キャンパス

国際交流会館

国際交流会館は、本学の外国人留学生および本学において教育・研究に従事する外国人研究者に対し居住の場を提供し、国際交流の促進に資することを目的に1号館が昭和54年4月に、2号館が平成6年10月に設置された。



(1号館)

| 室名 | 面積(m ²) | 室数 |
|------|---------------------|-----|
| 単身室 | 12 | 35室 |
| 夫婦室 | 39 | 3室 |
| 家族室 | 59 | 2室 |
| 主事室 | 14 | |
| 事務室 | 16 | |
| 談話室 | 47 | |
| 娯楽室 | 94 | |
| 和室 | 25 | |
| 補食室 | 5~12 | 4室 |
| 浴室 | 5~8 | 4室 |
| 洗濯室 | 10 | 4室 |
| 管理人室 | 52 | |
| 倉庫 | 7 | |

備考：延面積 1,430m²
建物構造 RC4

(2号館)

| 室名 | 面積(m ²) | 室数 |
|----------|---------------------|-----|
| 単身室 | 12 | 30室 |
| 夫婦室 | 40 | 6室 |
| 家族室 | 56 | 4室 |
| 補食室 | 11 | 4室 |
| 洗濯・シャワー室 | 11 | 4室 |
| ラウンジコーナー | 49 | |
| 応接コーナー | 14 | |

備考：延面積 1,259m²
建物構造 R4

外国人研究者宿泊施設

鹿児島大学を訪問する外国人研究者のための宿泊施設であり下荒田キャンパスに3棟、計22室の単身室がある。A棟は、鹿児島大学創立50周年記念事業の一環で寄付され、平成15年12月に完成した(鉄骨造地上2階、延床面積502m²、計16室)。また、平成21年度からは共同研究終了後に譲渡された建物をB棟・C棟として新たに使用開始した(薄板軽量形鋼造地上2階、延床面積185.48m²、計6室)。



学生寮



| 棟名 | 区分 | 建物 | 延面積(m ²) | 収容定員(人) |
|--------|-----|-------|----------------------|---------|
| 唐湊寄宿舍 | A棟 | 鉄筋5階建 | 1,412 | 76 |
| | B棟 | 〃 | 1,568 | 92 |
| | C棟 | 鉄筋2階建 | 629 | 64 |
| | 女子寮 | 鉄筋4階建 | 1,600 | 81 |
| | 共用棟 | 鉄筋1階建 | 317 | |
| 桜ヶ丘寄宿舍 | | 鉄筋5階建 | 2,696 | 99 |
| 合計 | | | 8,222 | 412 |

体育施設（体育館等）

| 施設名 | 所在地 | 備考 |
|------------------|-------|---------------------|
| 陸上競技場 | 郡元地区 | 400mトラック、夜間照明あり |
| 球技場 | 〃 | 夜間照明あり |
| 亀ヶ原運動場 | 桜ヶ丘地区 | 野球場 |
| 桜ヶ丘グラウンド | 〃 | サッカー・ラグビー場 |
| テニスコート | 郡元地区 | 8面、夜間照明あり |
| 〃 | 桜ヶ丘地区 | 7面 |
| 第1体育館 | 郡元地区 | 1,122m ² |
| 第2体育館 | 〃 | 2,461m ² |
| 桜ヶ丘体育館 | 桜ヶ丘地区 | 1,072m ² |
| 武道館 | 郡元地区 | 391m ² |
| 医・歯学部課外活動施設(武道場) | 桜ヶ丘地区 | 451m ² |
| 弓道場 | 郡元地区 | 39m×14m |
| 〃 | 桜ヶ丘地区 | 38m×12m |
| 室内プール | 郡元地区 | 50m(7コース) |



稲盛会館

稲盛和夫京セラ(株)名誉会長から寄贈されたもので、教育および学術の交流の場として本学の職員その他の関係者の利用に供することにより、本学の教育・研究の進展に資するとともに、学術および文化の向上に寄与することを目的としている。



日本を代表する著名な建築家 安藤忠雄氏の設計
(地下1階～地上3階建、建面積810.40mf、延面積1,628.85mf)



キミ&ケサ メモリアルホール
(稲盛名誉会長のご両親の名前に由来)

はじめに

組織

学部・大学院等

学生等

教育・研究・
社会貢献活動

国際交流

財務

キャンパス

郡元キャンパス

- 法文学部
- 教育学部
- 理学部
- 工学部
- 農学部
- 理工学研究科
- 司法政策研究科
- 臨床心理学研究科
- 連合農学研究科

- 1 北辰通り(大正4年第七高等学校第14回記念祭歌「北辰斜に」に由来)
- 2 銀杏並木通り
- 3 稲盛通り(稲盛和夫京セラ名誉会長の寄贈の稲盛会館にちなんだもの)
- 4 田園通り(附属農場越しに桜島が望めます。)
- 5 みのりの小径
- 6 本部前・緒方通り(初代学長 緒方健三郎氏に由来)
- 7 植物園通り
- 8 ふれあい通り
- 9 教育学部通り
- 10 玉利通り(鹿児島高等農林学校初代校長 玉利喜造博士に由来)
- 11 工学部通り
- 12 理学部通り
- 13 森の小径
- 14 法文学部通り

- 1 インフォメーションセンター
- 2 事務局
- 3 保健管理センター
- 4 事務局車庫、埋蔵文化財調査室
- 5 農学部共通棟(管理室・講義室・学生実験室・セミナー室)
- 6 // 研究棟A(獣医学科実験研究室)
- 7 // 研究棟B(獣医学科実験研究室)
- 8 // 研究棟C(生物資源化学科実験研究室)
- 9 // 研究棟D
(生物生産学科・生物資源化学科・生物環境学科実験研究室)
- 10 農学部研究棟E(生物環境学科・附属演習林実験研究室)
- 11 // 附属動物病院
- 12 軽種馬診療センター
- 13 焼酎学講座実験研究棟(北辰蔵)
- 14 農学部温室
- 15 農学部植物研究実験施設(温室)
- 16 // (硝子室)
- 17 農学部附属農場動物飼育棟
- 18 // 附属農場研究実習棟
- 19 // 低温貯蔵実験棟
- 20 // 水利実験棟
- 21 // 昆虫飼育棟
- 22 共同利用棟(獣医学科実験研究室)
- 23 遺伝子実験施設
(フロンティアサイエンス研究推進センター)
- 24 RI実験施設(アイソトープ総合実験室)
- 25 馬術部馬房
- 26 連合農学研究科棟
- 27 総合研究博物館展示棟(常設展示室)
- 28 大学会館(3号館)
- 29 // (1・2・4号館)
- 30 中央食堂
- 31 ボイラー棟・廃液処理施設
- 32 産学官連携推進機構棟1
- 33 産学官連携推進機構棟2(ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー)
- 34 学術情報基盤センター
- 35 変電所
- 36 工学部情報工学科棟
- 37 // 中央実験工場
- 38 // 電気電子工学科棟



- 39 工学部建築学科棟
- 40 // 応用化学工学科1号棟
- 41 // 機械工学科第一実験棟
- 42 // 機械工学科第二実験棟
- 43 // 機械工学科第三実験棟
- 44 // 機械工学科2号棟
- 45 // 機械工学科1号棟
- 46 // 応用化学工学科2号棟
- 47 // 薬品庫
- 48 // 海洋波動実験棟
- 49 稲盛会館
- 50 工学部管理棟
- 51 倉庫
- 52 工学部海洋土木工学科棟
- 53 // 共通棟(生体工学科)
- 54 理工系総合研究棟
(フロンティアサイエンス研究推進センター・機器分析室)
- 55 理学部1号館(管理室・物理科学科・地球環境科学科・実験研究室・講義室)、理学先端研究棟
- 56 理学部2号館(数理情報科学科・生命化学科・地球環境科学科・実験研究室・講義室)
- 57 理学部3号館
(生命化学科・地球環境科学科・実験研究室・講義室)
- 58 総合研究博物館
- 59 共通教育棟1号館(管理室・講義室・教育センター・就職支援センター・留学生センター・生涯学習教育研究センター・ボランティア支援センター)
- 60 // 2号館(文科研究室・講義室)
- 61 稲盛アカデミー棟
- 62 共通教育棟3号館(理科研究室・講義室・実験室)
- 63 // 4号館(理科研究室・講義室・実験室)
- 64 中央図書館
- 65 総合教育研究棟(多島園研究センター・司法政策研究科・臨床心理学研究科)

はじめに

組織

学部・大学院等

学生等

教育・研究・社会貢献活動

国際交流

財務

キャンパス



- 66 法文学部1号館(管理・研究・講義棟)
- 67 // 2号館(講義棟)
- 68 // 3号館(講義棟)
- 69 課外活動共用施設1(サークル棟)
- 70 屋内プール50m
- 71 弓道場
- 72 課外活動共用施設2(サークル棟)
- 73 第一体育館
- 74 第二体育館
- 75 教育学部体育科実験研究棟
- 76 // 武道場
- 77 郡元南食堂
- 78 教育学部管理棟・理系研究棟
- 79 // 実習棟
- 80 // 第一講義棟
- 81 // 第二講義棟
- 82 // 文系研究棟
- 83 // 附属教育実践総合センター
- 84 // 音楽美術科棟
- 85 // 附属幼稚園
- 86 // 附属小学校
- 87 // 附属小学校家畜舎
- 88 // 附属小学校昆虫飼育棟
- 89 // 附属小学校体育館
- 90 // 附属中学校
- 91 // 附属中学校体育館



はじめに

組織

学部・大学院等

学生等

教育・研究・
社会貢献活動

国際交流

財務

キャンパス

桜ヶ丘キャンパス

医学部
 歯学部
 医歯学総合研究科
 医学部・歯学部附属病院



- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ① 医学部臨床講義棟 ② 医歯学総合研究科棟3 (臨床医学系) ③ // ④ (新臨床医学系) 難治ウイルス病態制御研究センター ④ 医歯学総合研究科棟2 (基礎医学系) ⑤ RI実験施設 ⑥ 動物実験施設 (フロンティアサイエンス研究推進センター) ⑦ 福利厚生施設 (桜ヶ丘会館) ⑧ 学生宿舎 ⑨ 医学部・歯学部附属病院看護師宿舎 ⑩ // 附属病院医科病棟 ⑪ // 附属病院医科診療棟 ⑫ // 附属病院結核感染病棟 ⑬ // 附属病院管理棟 ⑭ 医学部基礎講義実習棟 医歯学総合研究科共同利用研究棟 ⑮ 中央機械棟 ⑯ ポンプ室 ⑰ 附属図書館桜ヶ丘分館 ⑱ サークル棟 ⑲ 実験廃液処理施設 ⑳ 医学部・歯学部附属病院歯科診療棟・病棟 ㉑ 医歯学総合研究科棟1 (歯学系) | <ul style="list-style-type: none"> ㉒ 歯学部講義実習棟 ㉓ 桜ヶ丘体育館 ㉔ 体育器具庫 ㉕ 医学部保健学科研究棟 ㉖ 共通教育棟 ㉗ MRI-CT装置棟 ㉘ 医療情報施設 ㉙ 鶴陵会館 ㉚ 桜ヶ丘武道場 ㉛ 弓道場 ㉜ 患者用立体駐車場 ㉝ さくらっ子保育園 ㉞ 中央診療棟 |
|---|---|



はじめに

組織

学部・大学院等

学生等

教育・研究・
社会貢献活動

国際交流

財務

キャンパス

下荒田キャンパス

水産学部



- ① 管理・研究棟
- ② 資源利用科学棟
- ③ 食品・資源利用学実習棟・UPVリエゾンオフィス・プロジェクト研究室
- ④ 資源育成科学棟
- ⑤ 福利厚生棟
(1F: 食堂・売店、2F: 附属海洋資源環境教育研究センター)
- ⑥ 附属海洋資源環境教育センター実験・実習棟
- ⑦ 講義棟
- ⑧ 大型回流水槽実験棟
- ⑨ 変電室
- ⑩ 車庫・倉庫
- ⑪ 倉庫
- ⑫ サークル棟
- ⑬ 附属図書館水産学部分館
- ⑭ 国際交流会館(1号館)
- ⑮ " (2号館)
- ⑯ 職員宿舎
- ⑰ 外国人研究者宿泊施設A
- ⑱ 外国人研究者宿泊施設B
- ⑲ 外国人研究者宿泊施設C

教育学部附属特別支援学校

下伊敷1丁目



- ① 校舎
- ② 体育館
- ③ 生活訓練棟
- ④ 水遊び場(プール)

学生寮

唐湊3丁目



- ① 男子寄宿舍A棟
- ② " B棟
- ③ " C棟
- ④ 女子寄宿舍
- ⑤ 共用棟

はじめに

組織

学部・大学院等

学生等

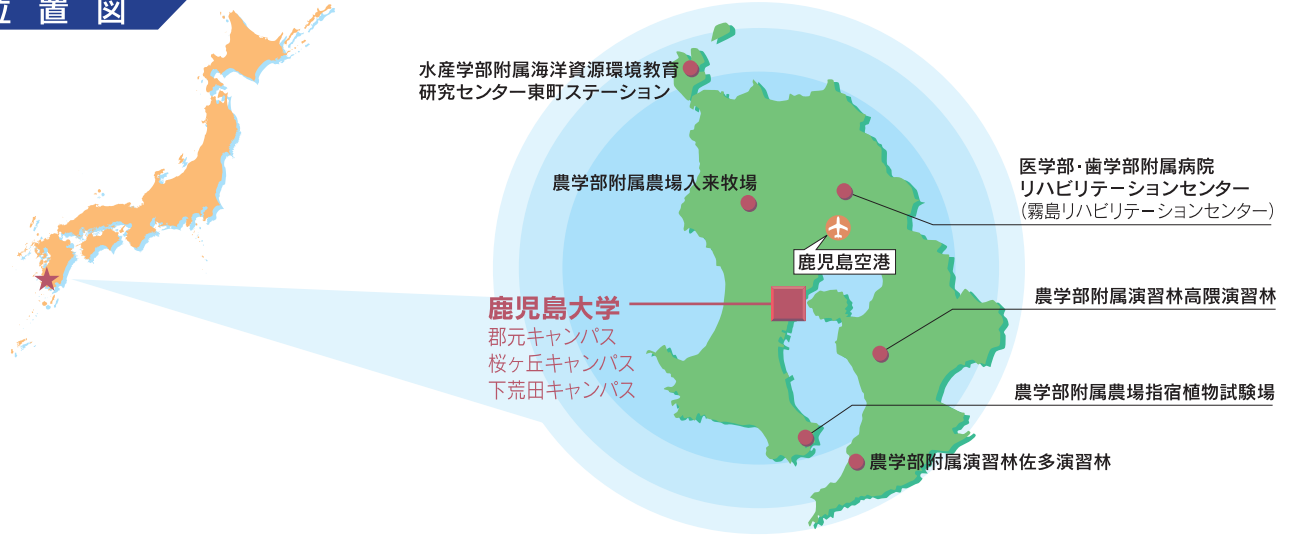
教育・研究・
社会貢献活動

国際交流

財務

キャンパス

位置図



鹿児島市へのアクセス 鹿児島空港から 鹿児島空港リムジンバスで鹿児島中央駅まで約40分

鹿児島市内交通アクセス

1 郡元キャンパス

- | | |
|--------------|---------------------|
| 事務局 | 附属図書館 |
| 法文学部 | 保健管理センター |
| 教育学部 | 産学官連携推進機構 |
| 附属幼稚園 | 多島園研究センター |
| 附属小学校 | フロンティアサイエンス研究推進センター |
| 附属中学校 | 総合研究博物館 |
| 附属教育実践総合センター | 稲盛アカデミー |
| 理学部 | 留学生センター |
| 工学部 | 学術情報基盤センター |
| 農学部 | 生涯学習教育研究センター |
| 理工学研究科 | 教育センター |
| 司法政策研究科 | 埋蔵文化財調査室 |
| 臨床心理学研究科 | インフォメーションセンター |
| 連合農学研究科 | ボランティア支援センター |

- 市電**
- 1系 騎射場電停下車
 - 2系 唐湊電停下車
 - 工学部前電停下車
- 市営バス <鹿児島中央駅経由>**
- 鹿大正門前下車・鹿大法文学部前下車
 - 9 武岡・鴨池港線
 - 11 鴨池・冷水線
 - 20 緑ヶ丘・鴨池港線
- 徒歩**
- 鹿児島中央駅から電車通り沿いに歩いて25分

2 桜ヶ丘キャンパス

- 医学部 歯学部 大学院医歯学総合研究科
 大学院保健学研究科 医学部・歯学部附属病院

- 市電**
- 1系 脇田電停下車 ※シャトルバス有り
- 市営バス <鹿児島中央駅経由>**
- 大学院前下車 18 大学院線
- 鹿児島交通 <鹿児島中央駅経由>**
- 大学院前下車 17 18 19 桜ヶ丘方面
- JR <指宿枕崎線>**
- 宇宿駅下車 ※シャトルバス有り

3 下荒田キャンパス

- 水産学部
- 市電**
- 1系 騎射場電停下車 徒歩5分
- 市営バス <鹿児島中央駅経由>**
- 体育館前下車 徒歩約5分
 - 11 鴨池・冷水線
 - 18 大学院線
- 水産学部前下車 27 県庁・与次郎線**



はじめに

組織

学部・大学院等

学生等

教育・研究・社会貢献活動

国際交流

財務

キャンパス

●所在地一覧●

| | | | |
|--------------------------|-----------|---|----------------------------|
| 【事務局】 | 〒890-8580 | 鹿児島市郡元一丁目21番24号 | ☎099(285)7111(代表) |
| 【法文学部】 | 〒890-0065 | 〃 郡元一丁目21番30号 | ☎099(285)7111(代表) |
| 【教育学部】 | 〒890-0065 | 〃 郡元一丁目20番6号 | ☎099(285)7111(代表) |
| 附属幼稚園 | 〒890-0065 | 〃 郡元一丁目20番15号 | ☎099(285)7990 |
| 附属小学校 | 〒890-0065 | 〃 郡元一丁目20番15号 | ☎099(285)7962 |
| 附属中学校 | 〒890-0065 | 〃 郡元一丁目20番35号 | ☎099(285)7932 |
| 附属特別支援学校 | 〒890-0005 | 〃 下伊敷一丁目10番1号 | ☎099(224)6257 |
| 附属教育実践総合センター | 〒890-0065 | 〃 郡元一丁目20番6号 | ☎099(285)7111(代表) |
| 【理工学研究科】 | 〒890-0065 | 〃 郡元一丁目21番40号 | ☎099(285)7111(代表) |
| 附属南西島弧地震火山観測所 | 〒892-0871 | 〃 吉野町10861 | ☎099(244)7411 |
| 【理学部・理工学研究科(理学系)】 | 〒890-0065 | 〃 郡元一丁目21番35号 | ☎099(285)7111(代表) |
| 【工学部・理工学研究科(工学系)】 | 〒890-0065 | 〃 郡元一丁目21番40号 | ☎099(285)7111(代表) |
| 【農学部】 | 〒890-0065 | 〃 郡元一丁目21番24号 | ☎099(285)7111(代表) |
| 附属農場 | 〒890-0065 | 〃 郡元一丁目21番24号 | ☎099(285)8771 |
| 唐湊果樹園 | 〒890-0081 | 〃 唐湊三丁目32番1号 | ☎099(254)1042 |
| 指宿植物試験場 | 〒891-0402 | 指宿市十町1291番地 | ☎0993(22)2848 |
| 入来牧場 | 〒895-1402 | 薩摩川内市入来町浦之名字大谷4018-3 | ☎0996(44)2204 |
| 附属演習林 | 〒890-0065 | 鹿児島市郡元一丁目21番24号 | ☎099(285)8744 |
| 高隈演習林 | 〒891-2101 | 垂水市海潟3237番地 | ☎0994(32)6329 |
| 佐多演習林 | 〒893-2604 | 肝属郡南大隅町佐多大字馬籠349番地 | |
| 附属動物病院 | 〒890-0065 | 鹿児島市郡元一丁目21番24号 | ☎099(285)8750 |
| 【水産学部】 | 〒890-0056 | 〃 下荒田四丁目50番20号 | ☎099(286)4111(代表) |
| 附属海洋資源環境教育研究センター | 〒890-0056 | 〃 下荒田四丁目50番20号 | ☎099(286)4296 |
| 附属海洋資源環境教育研究センター東町ステーション | 〒899-1403 | 出水郡長島町諸浦字蛤潟1620-3 | ☎0996(64)5013 |
| 【医歯学総合研究科】 | 〒890-8544 | 鹿児島市桜ヶ丘八丁目35番1号 | ☎099(275)5111(代表) |
| 附属難治ウイルス病態制御研究センター | 〒890-8544 | 〃 桜ヶ丘八丁目35番1号 | ☎099(275)5111(代表) |
| 【医学部】 | 〒890-8544 | 〃 桜ヶ丘八丁目35番1号 | ☎099(275)5111(代表) |
| 【歯学部】 | 〒890-8544 | 〃 桜ヶ丘八丁目35番1号 | ☎099(275)5111(代表) |
| 【医学部・歯学部附属病院】 | 〒890-8520 | 〃 桜ヶ丘八丁目35番1号 | ☎099(275)5111(代表) |
| 霧島リハビリテーションセンター | 〒899-6603 | 霧島市牧園町高千穂3930-7 | ☎0995(78)2538 |
| 【司法政策研究科】 | 〒890-0065 | 鹿児島市郡元一丁目21番30号 | ☎099(285)7111(代表) |
| 【臨床心理学研究科】 | 〒890-0065 | 〃 郡元一丁目21番30号 | ☎099(285)7111(代表) |
| 【連合農学研究科】 | 〒890-0065 | 〃 郡元一丁目21番24号 | ☎099(285)7111(代表) |
| 【附属図書館】 | 〒890-0065 | 〃 郡元一丁目21番35号 | ☎099(285)7415 |
| 桜ヶ丘分館 | 〒890-8532 | 〃 桜ヶ丘八丁目35番1号 | ☎099(275)5201 |
| 水産学部分館 | 〒890-0056 | 〃 下荒田四丁目50番20号 | ☎099(286)4051 |
| 【保健管理センター】 | 〒890-8580 | 〃 郡元一丁目21番24号 | ☎099(285)7385 |
| 【多島園研究センター】 | 〒890-8580 | 〃 郡元一丁目21番24号 | ☎099(285)7394 |
| 【留学生センター】 | 〒890-0065 | 〃 郡元一丁目21番35号 | ☎099(285)3601 |
| 【総合研究博物館】 | 〒890-0065 | 〃 郡元一丁目21番30号 | ☎099(285)8141 |
| 【学術情報基盤センター】 | 〒890-0065 | 〃 郡元一丁目21番35号 | ☎099(285)7474 |
| 【生涯学習教育研究センター】 | 〒890-0065 | 〃 郡元一丁目21番30号 | ☎099(285)7294 |
| 【教育センター】 | 〒890-0065 | 〃 郡元一丁目21番30号 | ☎099(285)8821 |
| 【稲盛アカデミー】 | 〒890-0065 | 〃 郡元一丁目21番30号 | ☎099(285)3751 |
| 【フロンティアサイエンス研究推進センター】 | 〒890-0065 | 〃 郡元一丁目21番24号 | ☎099(285)3583 |
| 先端医療開発分野 | 〒890-8520 | 〃 桜ヶ丘八丁目35番1号 | ☎099(275)6357 |
| アイソトープ総合実験施設 | 〒890-0065 | 〃 郡元一丁目21番24号 | ☎099(285)3594 |
| 遺伝子実験施設 | 〒890-0065 | 〃 郡元一丁目21番24号 | ☎099(285)3581 |
| 動物実験施設 | 〒890-8520 | 〃 桜ヶ丘八丁目35番1号 | ☎099(275)5500 |
| 機器分析施設 | 〒890-0065 | 〃 郡元一丁目21番40号 | ☎099(285)7188 |
| 【産学官連携推進機構】 | 〒890-0065 | 〃 郡元一丁目21番40号 | |
| 産学官連携部門 | 〒890-0065 | 〃 郡元一丁目21番40号 | ☎099(285)8491 |
| 知的財産部門 | 〒890-0065 | 〃 郡元一丁目21番40号 | ☎099(285)3881 |
| ベンチャービジネス部門 | 〒890-0065 | 〃 郡元一丁目21番40号 | ☎099(285)3630 |
| 管理部門 | 〒890-0065 | 〃 郡元一丁目21番40号 | ☎099(285)7106 |
| 【埋蔵文化財調査室】 | 〒890-8580 | 〃 郡元一丁目21番24号 | ☎099(285)7270 |
| 【就職支援センター】 | 〒890-0065 | 〃 郡元一丁目21番30号 | ☎099(285)7321・7341 |
| 【ボランティア支援センター】 | 〒890-0065 | 〃 郡元一丁目21番30号 | ☎099(285)3146・3147 |
| 【稲盛会館】 | 〒890-0065 | 〃 郡元一丁目21番40号 | ☎099(285)7111(代表) |
| 【大学会館】 | 〒890-8580 | 〃 郡元一丁目21番24号 | ☎099(285)7324 |
| 【学生寮】 | 〒890-0081 | 〃 唐湊三丁目3番1号 | ☎099(251)3238・099(254)9098 |
| 【国際交流会館(1号館・2号館)】 | 〒890-0056 | 〃 下荒田四丁目50番20号 | ☎099(252)7551 |
| 【職員会館(天心荘)】 | 〒890-0082 | 〃 紫原三丁目20番19号 | ☎099(252)0577 |
| 【外国人研究員等宿泊施設】 | 〒890-0082 | 〃 紫原三丁目20番19号 | |
| 【外国人研究者宿泊施設】 | 〒890-0056 | 〃 下荒田四丁目50番20号 | |
| 【東京リエゾンオフィス】 | 〒108-0023 | 東京都港区芝浦三丁目3番6号キャンパス・イノベーションセンター(CIC)607号室 | |
| 【北米教育研究センター】 | | Pixera Corporation, 633 Giguere Court San Jose, CA 95133, USAアメリカ合衆国カリフォルニア州サンノゼ市ピクセラ社本社内 | |

はじめに

組織

学部・大学院等

学生等

教育・研究・社会貢献活動

国際交流

財務

キャンパス



【編集・発行】
鹿児島大学総務部広報室

〒890-8580 鹿児島市郡元1丁目21番24号
代表電話 099(285)7111 FAX 099(285)3854
URL <http://www.kagoshima-u.ac.jp/>

●
【発行日】平成21年6月